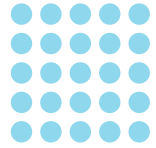


シラバス



2023(令和5)年度

# 学修要項

第6学年

北里大学医学部

## 2023年度 医学部 第6学年開講科目

科目名	期間	必修・選択	科目責任者	頁
消化器内科実習	3週	このうち3科目を選択必修とする※	草野 央	3
循環器内科実習	3週		阿古 潤哉	6
脳神経内科実習	3週		西山 和利	10
血液内科実習	3週		鈴木 隆浩	13
呼吸器内科実習	3週		猶木 克彦	16
内分泌代謝内科実習	3週		宮塚 健	18
腎臓内科実習	3週		竹内 康雄	22
膠原病・感染内科実習	3週		山岡 邦宏	25
外科実習	3週		比企 直樹	27
産婦人科実習	3週		落合 大吾・加藤 一喜	31
小児科実習	3週		石倉 健司	33
公衆衛生実習	3週		堤 明純	37
臨床検査診断学実習	3週		狩野 有作	40
救命救急医学実習	3週		浅利 靖	42
形成外科・美容外科実習	3週		武田 啓	44
心臓血管外科実習	3週		宮地 鑑	46
呼吸器外科実習	3週		佐藤 之俊	48
脳神経外科実習	3週		隈部 俊宏	50
放射線科実習：画像診断学実習	3週		井上 優介	52
放射線科実習：放射線腫瘍学実習	3週		石山 博條	55
耳鼻咽喉科・頭頸部外科実習	3週		山下 拓	57
眼科実習	3週		庄司 信行	59
整形外科実習	3週		高相 晶士	61
泌尿器科実習	3週		岩村 正嗣	63
皮膚科実習	3週		天羽 康之	68
精神科実習	3週		稲田 健	70
麻酔科実習	3週		岡本 浩嗣	72
病理実習	3週		三枝 信・村雲 芳樹	74
総合診療医学実習	3週		青山 直善	79
法医学実習	3週		佐藤 文子	81
東洋医学実習	3週	星野 卓之	83	
臨床解剖学実習	3週	助川 浩士	85	
臨床実習 (KMC・北研)	3週	各単位主任教授・教育委員長	87	
学外実習 I～IV	3週	教育委員長		
総合講義	前・後	必修	教育委員長	114

※ 1 学外実習（海外）は最大5期間認める。学外実習（国内）は、最大2期間認める。

※ 2 北里研究所病院及び北里大学メディカルセンター（KMC）での実習は、学内実習として扱う。

※ 3 各科目シラバスの「教育担当」に付されている\*記号は、当該科目に関連する実務経験（医師、学校以外での就業経験者等）のある教員を示す。

※ 4 各科目シラバスの右上に記載されている英数字は、科目ナンバリングを示す。



# 消化器内科実習

実習 M302-CM15

## Gastroenterology(Clinical Clerkship)

科目責任者	草野 央
教育担当	草野 央*・日高 央*・別當 朋広*
実務経験のある教員	草野 央ほか： 大学病院での診療経験を踏まえ、特に消化器系疾患の治療に重点を置き、より実践に則した知識を習得できるよう指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：○ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力：○ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
授業の目的	北里大学の消化器内科学は、上部消化管・化学療法グループ、下部消化管グループ、胆膵グループ、肝臓グループの4つの部門から構成されている。そして最近の目覚ましい医学の進歩により、それぞれのグループで学ぶ内容は年々深化しているが、4、5年生の病棟実習でそのすべてを網羅するには時間が十分とは言えない。 クリニカル・クラークシップにおいては、より深く実践に即した知識の取得を目標とする。
定員	第1期間：6名 第2期間：6名 第3期間：6名 第4期間：6名 第5期間：6名 第6期間：6名
教育内容 教育方法	(1) 3週間の実習の内訳は2週を病棟実習、1週を検査実習（上部・下部内視鏡、ERCP、超音波内視鏡、各種の内視鏡治療、腹部血管造影、ラジオ波焼灼療法等）とする。なお、ERCPや腹部血管造影などの検査見学では放射線管理区域に立ち入る可能性があるため、放射線ガラスバッジを着用すること。 (2) 病棟実習期間中は、実習生1名に担当指導医（病棟医）1名を配置させる。 (3) 病棟実習では、各1週間に1例（合計2例）の患者を受け持ち、教授回診でプレゼンテーションを行う。 (4) 病棟実習中に担当した患者の、該当する各グループチャートに参加し、患者の診断・治療計画にも参画させる。 (5) 病棟実習中には担当指導医（病棟医）と相談した上で、担当患者以外の患者への診療や外来、検査へ自由に参加してよい。 (6) 検査実習中に参加する検査はオリエンテーション時に配布される検査スケジュール表を参考に科目責任者あるいは教育担当と相談した上で自由に決定してよい。 (7) 毎週火曜日に開催される教授回診、毎週木曜日（16:30～）に開催されるX-Pカンファレンスに参加し、様々な消化器疾患の診断や治療プロセスについて学ぶ。 (8) 学生カンファレンス（最終週・水曜日14:00～）では、病棟実習で担当した患者もしくは検査実習で見学した患者から1例を選択し、5分程度のプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションの内容に関する口頭試問を実施して実習に対するフィードバックを行う。 (9) 実習中の時間配分は、基本的に主治医、指導医からの指導時間やカンファレンス、講義以外は自由である。ただし、直接連絡をとれる体制にしておくこと。
準備学習 (予習・復習)	予習：消化器内科学および内科学全般の総合的な臨床的知識とOSCEを前提とした診断技術を、実習前に再確認すること。 復習：その日に学んだ知識（検査や治療内容）について疑問点を整理し、翌日以降の臨床実習に繋げること。 毎日の予習に1時間、復習に2時間が必要と考える。

<b>到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 清潔な身なりをし、社会人、医療に携わるものとして適切なふるまいをすることができる。</li> <li>(2) 院内感染の予防に配慮し、自己管理を含めた適切な行動をとることができる。</li> <li>(3) 患者の持つ医学的、社会的・心理的問題点を発見することができる。</li> <li>(4) 適切な医療面接、基本的な身体診察を実施し、異常所見に気づくことができる。</li> <li>(5) 消化器領域における、各種検査の目的・方法・診断的意義とその限界および偶発症を説明できる。</li> <li>(6) 内視鏡治療の適応や方法とその限界および偶発症を説明できる。</li> <li>(7) 診断に基づいた適切な治療計画を組み立てることができる。</li> <li>(8) 症例の問題点をまとめ、要点をプレゼンテーションすることができる。</li> <li>(9) 自己の学習を振り返り、改善に努めることができる。</li> <li>(10) チーム医療を理解し、チームの一員として適切に行動することができる。</li> </ul>
<b>評価方法</b>	学生カンファレンスのプレゼンテーション (50%) と、実習態度 (50%) によって評価する。
<b>初回集合場所・時間</b>	本館 3F 内視鏡読影室 第1週月曜日 11時 (担当：草野)

消化器内科 選択実習 週間スケジュール表 5M～6M

		午前	午後
月	病棟班	病棟実習	胆膵チャート(16:30～)(岩井・奥脇・渡辺真・安達・石崎・花岡)
	検査班	検査実習(草野・別當)	上部総合読影会(17:00～) <自由参加>
火	病棟班	Post CC OSCE 対策講義(3 週目 9:00～)(草野) 草野教授回診(10:00～)	下部チャート(16:00～)(小林・池原・横山・別當・金澤・堀井)
	検査班	Post CC OSCE 対策講義(3 週目 9:00～)(草野) 検査実習(草野・別當)	下部総合読影会(16:30～) <自由参加>
水	病棟班	Post CC OSCE 対策講義(3 週目 9:00～)(横山) 病棟実習	上部チャート(16:00～)(石戸・渡辺晃・和田拓・古江)
	検査班	Post CC OSCE 対策講義(3 週目 9:00～)(横山) 外来見学(9:30～)(草野)	胆膵(17:00～)/肝カンファレンス(17:00～)<隔週・自由参加>
木	病棟班	病棟実習	日高診療教授回診(13:00～) 肝チャート(15:30～)(日高・窪田・岩崎) *XP カンファレンス(16:30～)
	検査班	検査実習(草野・日高・別當)	*XP カンファレンス(16:30～)
金	病棟班	病棟実習	学生カンファレンス(2 週目 15:00～)(草野・日高・別當)
	検査班	検査実習(草野・別當)	学生カンファレンス(2 週目 15:00～)(草野・日高・別當)

※ 実習初日は 8 時 15 分より、病院 2F 専門外来裏消化器内科カンファレンスルームでオリエンテーション(別當)を行うので全員集合すること。

※ A 班(2 名、病棟→病棟→検査)、B 班(2 名、病棟→検査→病棟)、C 班(2 名、検査→病棟→病棟)

※ 肝、胆膵、下部、上部の各チャートは、11W or 11E 病棟のカンファレンスルームで行う(開催場所は指導医に確認すること)。

※ 総合読影会(上部・下部)は内視鏡読影室で開催する。肝・胆膵カンファレンスは原則として臨床講義室 6 番で開催するが、変更される場合があるので教育担当に確認すること。

※ 外来見学(検査班、水曜日 9:30～)は、内科専門外来 11 番ブースで行う。

※ Post CC OSCE 対策講義(3 週目のみ)の開催場所は前日までに各担当(草野・横山)に確認すること。

# 循環器内科実習

実習 M302-CM15

## Cardio-angiology(Clinical Clerkship)

科目責任者	阿古 潤哉
教育担当	阿古 潤哉・庭野 慎一*
実務経験のある教員	阿古 潤哉ほか： 臨床経験を踏まえ、循環器病学及び内科学における総合的な臨床的知識と技術、精神性の基本を身につける事を目標に指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理： 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力： 5. チーム医療：○ 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全： 9. 国際貢献：
実習の目的	循環器病学及び内科学における総合的な臨床的知識と技術、精神性の基本を身につける事を目的とする。 基本的な診断手技や治療手技に関しても、許される範囲内で可能な限り参画する。 また、「患者さんから学ぶ」というマインドを確かなものとするため、症例に即した臨床的・基礎的研究テーマを検索し、自らまとめて報告する。また、それをチーム医療内でディベートする能力を磨くために、プレゼンテーションと討論ができるようにしたい。
定員	各期間 5名
教育内容 教育方法	①入院診療：循環器内科主治医チームに所属して、入院患者を直接担当し、受け持ち患者について、基本的な実地診療を主治医や直接指導医の下に行う。また、診断、治療及び、その判断プロセスに自主的に参加する。 1) 12誘導心電図や簡単な心エコーなど、患者さんに対して非侵襲的な検査については自主的に積極的に指導医から教わり、患者さんに実践すること。 2) 直接指導医、主治医と、診断や治療プロセスについて、コミュニケーションをしっかりと行い、ディベートできるようにする。さらに、患者さんへのインフォームドコンセントのプロセス及び方法を学ぶ。 3) 実習中の時間配分は、基本的に主治医や直接指導医やカンファレンス以外は、自由である。受け持ち以外の検査や治療を見学する。5年の小講義に出席も可能。ただし、図書館に行くなど、病棟を離れるときには、直接指導医と連絡をとれる体制にしておくこと。 ②代表的な高度な手技：受け持ち患者を中心に見学する。そして、専門的なグループカンファレンスにも積極的に参加する。 ③研究テーマ：担当症例に即した(1)臨床的な課題、(2)トピックス的(基礎医学的)な課題について実習期間中にレポートを提出する。さらに、最終日にプレゼンテーションを行うので、資料を準備すること。 *研究テーマに関しては、主治医や指導医から授かるよりも、自らテーマを選んで、主治医や指導医と相談して決定することが望ましい。 ④各種カンファレンスについて、積極的に参加すること。受け持ち患者については必ず参加して、積極的に質問し、討論に加わり、ディベートすること。また、主治医が認めれば、カンファレンスでプレゼンテーションを行ってもよい。その場で学生に直接フィードバックを行う。
準備学習	循環器病学及び内科学における総合的な臨床的知識と OSCE を前提とした診断技術を必ず再確認すること。 予習・復習に2時間を要する。
到達目標	単に循環器病学の勉強ばかりではなく、実際の患者を通じての医師・社会人としてのふまげができる。 また、学んだ循環器病学臨床をより深く理解し、説明することができ、さらにはチーム医療内で討論できるようになる。症例等に関し適切にプレゼンテーションできる。

<p><b>評価基準</b></p>	<p>①総合評価（下記参照）、②レポート、③回診、④主治医、直接指導医の評価      ≪総合評価≫      最終週末曜日 14:00～16:00      担当者：阿古／庭野      場 所：医学部 403 研究室      指定されたテーマのうち、ひとつを選んで、10 分間程度でプレゼンテーションする。      発表のためにコンピューターによるスライド提示を行ってもよい。紙ベースで説明するのであれば、担当者、他の学生の分も準備すること。      各発表後に総評を含め、合否判定する。(100%)</p>
<p><b>実施場所</b></p>	<p>北里大学病院 心臓血管センター</p>
<p><b>初回集合場所・時間</b></p>	<p>東館 4N カンファレンスルーム・午前 8 時</p>
<p><b>各項目の詳細</b></p>	<p>1) オリエンテーション      第 1 週月曜日 8:00 集合 4N- カンファ 担当者：庭野      概要：循環器内科におけるクリニカルクラークシップの説明、担当主治医団の紹介、最初の受け持ち患者と研究テーマの指定</p> <p>2) 患者受け持ちと診療技術の見学      実習中常時、担当者：病棟主治医及び受持医      概要：指導を受ける主治医団の受け持ち患者を常時 1 名担当し、自分自身の独立したカルテを作成する。検査結果など必要に応じてコピー可。診断や治療方針決定のキーとなる検査や治療手技、検討会、病状説明には可能な限り参加する。受け持ち患者が退院した場合は、主治医に次の受け持ち患者の指定を受ける。作成したカルテの原本は実習終了時循環器内科に提出する。</p> <p>3) 研究テーマ      実習中常時、担当者：庭野・病棟主治医      概要：受け持ち患者に関連して研究テーマの指定を受ける。第 1 週に臨床的テーマ、第 2 週にそのテーマに沿った研究的課題を協議の上決定する。テーマは教科書的な解釈のみならず、最近の新しい診療水準を網羅した内容で総合的にレポートを作成する。レポートは第 3 週の水曜日までの主治医に提出する。</p> <p>4) 各種カンファレンス・検討会      予定表指定日時、担当者：各検討会司会者      概要：患者の検査結果・治療方針について各種の議論が行われている。受け持ち患者に関連する内容は必ず聞く。主治医団との相談の上、プレゼンテーションを行っても良い。また他の患者の検討も可能な限り聴く。</p> <p>5) 各種検査見学      予定表指定日時、集合場所      担当者：* 心臓カテーテル検査：目黒                * 電気生理学的検査：庭野                * 心エコー検査：小坂橋      概要：自分の受け持ちに関わらず、検査及び治療手技を一貫して見学する。適宜予習・質問などにより内容の理解に努める。各検査項目について 400 字程度の感想レポートを提出する。</p> <p>6) 総合評価      第三週木曜日 14:00 403 研究室      担当者：阿古・庭野      概要：指定されたテーマのうち、1 つを選んで約 10 分間で発表する。発表のためスライドやコンピュータ提示を含めた準備をしても良い。形式は自由である。各発表後、総評を受け合否判定を受ける。</p> <p>7) 食会・検討会（水曜日）      実習中はスタッフに準じた扱いをするため、各種会合にスタッフ同様に参加する。</p>



	<p>8) 総括・意見交換 第三週木曜日 14:00 403 研究室 担当者：阿古・庭野 研究テーマについて討論しながら、実習の総括並びに意見交換を行う。</p> <p>9) その他 実習中の時間配分は、特に指定を受けている部分以外は自由である。受け持ち以外の患者の治療手技を見学する、指導主治医の外来を見学する、研究テーマについて図書館で調べるなど自由に企画して構わない。ただし、必ず直接指導に当たっている主治医ないし受け持ち医のいずれかが緊急に連絡を取り得る状態にしておく必要がある。また5年生のベッドサイド実習で行われている小講義を希望により聴講することも可能である。学生諸君の自主的かつ効率的な実習企画を期待する。</p>
--	---

2023-2024年循環器内科学クリニックラークンシップ週間予定表

	AM8:00-8:30	AM8:30-9:30	AM	PM 13:00-	PM
1w 月	オリエンテーション 4Nカンファ [庭野]	心カチカンファ 4Nカンファ			
火	ICU/CCU回診	心エコー実習[小坂橋] 9:00-10:00			17:30-4Nカンファ 合同カンファ
水	ICU/CCU回診		12:30-403研究室 昼食会	教授回診 [阿古]13:30-4N病棟	15:00-4Nカンファ室 抄読会&レクチャー(総回診後)
木	ICU/CCU回診	EPS見学[心カチ室] 9:15-11:00 [深谷]			
金	ICU/CCU回診	心カチ見学[心カチ室] 9:15-10:30 [下浜]			
2w 月	ICU/CCU回診	心カチカンファ 4Nカンファ			
火	ICU/CCU回診			心リハ心臓教室見学[4S奥] 15:15-[前川]	17:30-4Nカンファ 合同カンファ
水	ICU/CCU回診		12:30-403研究室 昼食会	教授回診 [阿古]13:30-4N病棟	15:00-4Nカンファ室 抄読会&レクチャー(総回診後)
木	ICU/CCU回診	ストラクチャーインテンバ見学 9:15-11:00[目黒]			
金	ICU/CCU回診	心リハ見学[心リハ室] 9:30-11:00[前川]			
3w 月	ICU/CCU回診	心カチカンファ 4Nカンファ			
火	ICU/CCU回診				17:30-4Nカンファ 合同カンファ
水	ICU/CCU回診		12:30-403研究室 昼食会	教授回診 [阿古]13:30-4N病棟	15:00-4Nカンファ室 抄読会&レクチャー(総回診後)
木	ICU/CCU回診			発表会 403研究室 14:00-[庭野]	
金	ICU/CCU回診				

注：この予定表は枠を提示するための「仮日程」であり、実際の日程ではありません。

# 脳神経内科実習

実習 M302-CM15

## Clinical neurology (clinical clerkship)

科目責任者	西山 和利
教育担当	西山 和利*、永井 真貴子*、北村 英二*
担当者	飯塚 高浩、阿久津 二夫、金子 淳太郎、井島 大輔、中村 幹昭、永井 俊行、長島 誠、木村 文将、飯塚 雅貴、臼井 耕太郎
実務経験のある教員	西山 和利ほか： 臨床経験を活かして脳神経内科実習をより実践的なものにし、卒業を目前にした学生の満足度を高める。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：○
授業の目的	臨床実習を通じて患者との接し方や病歴聴取の方法を学び、神経学的所見、検査所見、画像所見などから病巣診断と鑑別診断ができることを目的とする。本実習では神経診察法を学び、神経学的診断の過程を理解することを最大の目標としている。第5、6学年の実習は clinical clerkship 方式を用いて行われる。受け持ち患者の担当医として治療内容や検査内容を把握し、積極的に診療に参加することにより、実践的な診断技術や適切な治療を選択する能力の習得を目標とする。同時に脳神経内科の疾患のみならず、合併する病態に対しても内科医として総合的な診療能力を身に付ける。
定員	総受入数：36人 学内受入数：36人（各期間6人まで受け入れ可能） 学外での実習は、各期間1名ずつ北里研究所病院で受け入れ可能である。 学外での実習のスケジュール、内容については、希望者毎に相談して決定する。 希望者は事前に当科担当者まで問い合わせさせていただきたい。
教育内容 教育方法	1) 基本的事項：脳神経内科のスタッフと共に担当医として複数患者を診療する。診察、検査、診断、病状説明、治療に加えて、その判断プロセスに自主的に参加する。各学生は病棟の脳神経内科スタッフと同様に科内のチームに配属される。実習期間中は脳神経内科スタッフとチームの一員として過ごし、担当医とともに患者の回診を行い、担当した患者については、毎日診察を行う。診察内容、考察、知識について、脳神経内科スタッフからフィードバックを受ける。 2) 手技の実施：担当患者の血圧測定や心電図検査を行う。針筋電図検査などの神経生理検査や腰椎穿刺検査に積極的に参加し、検査手技を学習する。採血については学生同士での練習を可とする。 3) 外来・検査見学：外来診療、および針筋電図検査、脳波検査、MRI、脳血管撮影、リハビリテーション等を見学してその診療プロセスを学習する。 4) 教授回診、症例検討会、講演会等に参加し、診断能力の向上や最新知識の習得に努める。 5) 希望者は脳血管撮影検査、脳血管内治療も見学する。脳血管撮影検査、脳血管内治療は放射線管理区域内での実習である。 実習成果については試問時にフィードバックされる。
準備学習 (予習・復習)	実習開始前に第3学年時に修了した「神経系診断・治療学」、第4学年の臨床実習入門、OSCEの神経診察マニュアル、第5学年の臨床実習資料、「ベッドサイドの神経の診かた」、Moodle 掲示の動画教材等で神経学的診察法を復習する（1～2時間）。実習終了後は理解が不十分な知識や、実習で学んだ知識について復習し、整理する（1～2時間）。
到達目標	1) 病歴聴取や神経診察手技を習得し、その意義を理解できる。 2) 卒業時 OSCE 試験のレベルでの神経診察手技ができる。 3) 神経学的所見と病歴から診断に至る過程を説明できる。 4) 代表的な神経・筋疾患について充分に理解し説明できる。 5) 受け持ち症例について深く学び、診療チーム内で討論できる。

評価基準	<p>A：レポート作成。25%。          B：各チームの教育担当医師（講師以上）から日々の回診やカンファレンス等で診療技術や病態に関する理解度に対する評価を受ける。25%。          C：最終日の西山教授による試問。50%。</p>
初回集合場所・時間	<p>本館 8E 病棟カンファレンスルーム・午前 8 時 30 分          その後、午前 9 時 30 分から本館 2 階の内科専門外来脳神経内科カンファレンスルームでオリエンテーションを受ける。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習中のスケジュールは指定がある部分以外は自由である。</li> <li>・直接指導にあたる担当医と日々のスケジュールの確認を行う。</li> <li>・毎朝午前 8 時半からの病棟新患カンファレンスと夕方のチームカンファレンス、および回診に必ず参加する。</li> <li>・毎週木曜日のチャートカンファレンス、教授回診、症例検討会、薬剤情報提供、抄読会に必ず参加する。</li> <li>・病棟のスタッフと相談した上で、担当患者以外の診療への参加や、外来見学、検査見学は自由である。</li> <li>・脳卒中ホットライン対応時は、その日のホットライン担当チームに所属している学生の見学を可とする。</li> <li>・5 年生の BSL 実習で行われているクルズスや研修医向けのクルズスに参加することも可能である。</li> <li>・担当医と緊急に連絡を取り得る状態にしておく（脳卒中ホットライン対応等の連絡が入る可能性あり）</li> <li>・脳血管撮影検査、脳血管内治療は放射線管理区域内での実習である。</li> </ul>

2023年度 脳神経内科 第5・6学年 選択実習スケジュール

17時

曜日	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
月	脳カンファ 8:30~(BE OR)	15分 個人学習 (小グループ or 自習)	神経実習	神経実習			神経実習	神経実習	神経実習 チームチャート
火	脳カンファ 8:30~(BE OR)		神経実習				神経実習	神経実習	神経実習 チームチャート
水	脳カンファ 8:30~(BE OR)		神経実習				神経実習	神経実習	神経実習 チームチャート
木		8:45~ 勉強会 (臨床研修医1 or PE)	8:15~ チェート回診 (臨床研修医1 or PE)					13:30~ 飯後回診 BE OR	飯後回診 (臨床研修医1 or PE)
金	脳カンファ 7:45~(本部BE OR)	脳カンファ 8:30~(BE OR)	神経実習					神経実習	神経実習 チームチャート

月	脳カンファ 8:30~(BE OR)		神経実習					神経実習	神経実習 チームチャート
火	脳カンファ 8:30~(BE OR)		神経実習					神経実習	神経実習 チームチャート
水	脳カンファ 8:30~(BE OR)		神経実習					神経実習	神経実習 チームチャート
木		8:45~ 勉強会 (臨床研修医1 or PE)	8:15~ チェート回診 (臨床研修医1 or PE)					13:30~ 飯後回診 BE OR	飯後回診 (臨床研修医1 or PE)
金	脳カンファ (BE OR)	脳カンファ (BE OR)	神経実習					神経実習	神経実習 チームチャート

月	脳カンファ 8:30~(BE OR)		神経実習					神経実習	神経実習 チームチャート
火	脳カンファ 8:30~(BE OR)		神経実習					神経実習	神経実習 チームチャート
水	脳カンファ 8:30~(BE OR)		神経実習					神経実習	神経実習 チームチャート
木		8:45~ 勉強会 (臨床研修医1 or PE)	8:15~ チェート回診 (臨床研修医1 or PE)					13:30~ 飯後回診 BE OR	飯後回診 (臨床研修医1 or PE)
金	脳カンファ 7:45~(本部BE OR)	脳カンファ 8:30~(BE OR)	神経実習					飯後：西山(術所:①, ② or ③)	

選択実習の目的は、病歴聴取や神経診察法の重要性を学び、病歴診断ならびに病因診断の概念を理解することである。

初日は病歴カンファレンスに参加するところから始まるが、午前8:30から開始するため少し前に8名病棟に集合すること。

体調管理には細心の注意を払い、発熱や感冒様症状をはじめとしたCOVID-19を疑う症状がある時は、発熱せず医学部に連絡して自宅などで待機すること。

病歴ならびに医学部内では短時間の飲食の機会を設けて際マスクを着用すること、特に患者の2m以内に入る場合にマスク不着用は厳禁。

クルススの開催場所

①: 内科専門外来 脳神経内科カンファレンスルーム

②: 西館脳神経内科外来

③: 医学部の階集団室

試問について

・担当症例のレポートを提出し、プレゼンテーション、質疑応答を行う

・レポートは病歴要約の形式で作成する。病歴、神経学的所見、病歴診断、病因診断を必ず記載する。その他は自由記載(鑑別診断や治療方針など)

# 血液内科実習

実習 M302-CM15

## Hematology (Clinical Clerkship)

科目責任者	鈴木 隆浩
教育担当	鈴木 隆浩*・鎌田 浩稔*・田寺 範行*・道下 雄介*・横山 真喜* 羽山 慧以*・泉山 和久*
実務経験のある教員	鈴木 隆浩ほか： 実際に診療を行っている病棟に学生を配置し、血液疾患の診療実務業務を行う医師から直接学生に指導を行う。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：
授業の目的	医療に携わるものとしての適切なふるまいを身につけるとともに、血液疾患を理解し、診断・治療技術を習得することを目的とする。 また、抗腫瘍剤の使用や血液疾患に特徴的な免疫不全状態への対応法を身につける。 患者診療チームの一員として診断・治療計画の策定に加わることで、より実践的な診療技術を身につけ、5年生で行われた血液内科実習（必修）で得た知識と経験をさらに発展させることを目標とする。
定員	受入数：1グループ4名／3週間 × 6期間 総計：24名
到達目標	1. 身なりや言動に気を配り、社会人・医療に関わる人間として相応しいふるまいをすることができる。 2. 毎日患者を訪問して医療面接・診察を行い、患者の背景事情を把握し、状態の変化に気を配ることができる。 3. 易感染状態にある患者の診療について説明できる。 4. 骨髄検査や髄液検査など、血液疾患で行われる検査について説明できる。 5. さまざまな抗腫瘍剤の取り扱いについて説明できる。 6. 頻度の高い血液疾患の症候・検査法・診断法・治療法について説明できる。 7. 症例の問題点をまとめ、適切にプレゼンテーションすることができる。 8. 診療に携わっているチーム医療について説明できる。 9. 適宜論文報告などを参照し、診断・治療方針について適切な判断を下すことができる。 10. 医療倫理・リスクマネジメントの実際について説明できる。 11. POMRの形式に基づいて診療録を作成することができる。 12. 診療チームの一員として所見をとり、検査結果を解釈し、治療提案を行うことができる。
教育内容	1. 末梢血像・骨髄像の判読をマスターする。 2. 患者を受け持ち、化学療法・感染症対策の実際を学ぶ。 3. 主要な血液疾患の診療の実際を学ぶ。 4. 問題症例については、論文等を参考にしながら担当医と一緒に適切な治療方針を考える。 5. 外来実習 実習中は、随時担当教員による実習態度へのフィードバックを行い、学生からの質問事項があれば、それに回答する。 6. 地域の中でどのように血液疾患の診療が行われているか、その現状と課題について学ぶ。
評価基準	1. 口頭試問（教授）（症例プレゼンテーションおよび質問への回答）20% 2. 課題レポート・症例サマリーレポート 20% 3. カルテ記載 30% 4. 指導医の評価点（患者・医療従事者とのコミュニケーションなど総合的評価）30%
初回集合場所	午前11時 病院本館13E病棟 学生実習室

<p><b>準備学習 (予習・復習)</b></p>	<p>1. 5年生の臨床実習で取得した電子カルテの書き方、プレゼンテーションの方法を復習しておく。</p> <p>2. 本実習では受け持ち症例については検査・説明・治療の場で、チームの一員として診療に参加する。これまでに配布された講義資料や参考図書だけでなく、関連する論文を読むこと。これにより、医療現場がどのようにして最新最適な治療を取り入れているのかを実体験することができる。</p> <p>予習・復習あわせて2時間の学習を要する。</p>
<p><b>参考図書</b></p>	<p>『病気がみえる Vol.5 血液』（第2版）鈴木隆浩ほか 監修（MEDIC MEDIA）2017</p> <p>『血液内科クリニカルスタンダード』（第3版）東原、須永 編（文光堂）2016</p> <p>『内科学』（第12版）矢崎義雄 総編集（朝倉書店）2022</p> <p>『三輪血液病学』浅野、池田、内山 編（文光堂）2006</p> <p>『血液細胞アトラス』三輪史朗（文光堂）</p>
<p><b>注意事項・ 連絡事項</b></p>	<p>1. 血液内科では免疫不全患者を診察する機会が多い。このため、実習に際しては手指の消毒など感染予防に十分な注意を払うこと。</p> <p>2. 発熱時など感染症の疑いがある場合は、実習に参加してはならない。教務課に連絡して欠席の手続きをとり、しかるべき医学的対応をとること。これは患者を含めた周囲への感染予防上重要なことである。</p> <p>3. 担当チームの一人として毎日受け持ち患者を訪問し、病状の変化に気を配ること。出席および実習態度は評価の重要な基準となる。</p> <p>4. 外来実習は1名ずつ3週間に分けて行う。なお、診療の都合により中止になる場合がある。</p> <p>5. 血液関連学会や研究会への出席も可。積極的な参加を期待する。</p>

## 2023年度 血液内科実習(選択実習)スケジュール表

日時	曜日	午前	午後	その他の行事
第1週	月	11:00～12:00 オリエンテーション・総論・患者紹介 :病棟テーマ/13E学	15:00～16:00 マルクカンファ・問題症例検討会/13E CR	
	火	9:00～12:00 専門外来1名: 9:00～12:00 内科総合外来1名:	病棟実習	
	水	9:00～12:00 専門外来1名: 9:00～12:00 内科総合外来1名:	病棟実習	
	木	9:00～12:00 専門外来1名: 9:00～12:00 内科総合外来1名:	14:00～17:00 チャートラウンド・学生プレゼン/13E CR 科長回診:鈴木	
	金	9:00～15:00 FACS 解析実習2名(希望者):医学部 M3-401B	15:00～16:00 週間まとめ:担当教員(鎌田・田寺・道下・横山・羽山・泉山)/13E学	
第2週	月	病棟実習	15:00～16:00 マルクカンファ・問題症例検討会/13E CR	
	火	9:00～12:00 専門外来1名: 9:00～12:00 内科総合外来1名:	病棟実習	
	水	9:00～12:00 専門外来1名: 9:00～12:00 内科総合外来1名:	病棟実習	
	木	9:00～12:00 専門外来1名: 9:00～12:00 内科総合外来1名:	14:00～17:00 チャートラウンド・学生プレゼン/13E CR 科長回診:鈴木	
	金	9:00～15:00 FACS 解析実習2名(希望者):医学部 M3-401B	15:00～16:00 週間まとめ:担当教員(鎌田・田寺・道下・横山・羽山・泉山)/13E学	
第3週	月	病棟実習	15:00～16:00 マルクカンファ・問題症例検討会/13E CR	
	火	9:00～12:00 専門外来1名: 9:00～12:00 内科総合外来1名:	病棟実習	
	水	9:00～12:00 専門外来1名: 9:00～12:00 内科総合外来1名:	病棟実習	
	木	9:00～12:00 専門外来1名: 9:00～12:00 内科総合外来1名:	14:00～17:00 チャートラウンド・学生プレゼン/13E CR 科長回診:鈴木	
	金	教授試問:鈴木/医学部 S 教室(時間未定)	12:00～13:00 3 週間のまとめ:担当教員(鎌田・田寺・道下・横山・羽山・泉山)/13E学	

●13E学:13E学生実習室 ●13E CR:13E医師室	●専門外来:病院2階 ●内科総合外来:病院1階	●FACS実習及び解析:医学部M3棟4階・401B研究室 ●マルク鏡検:病院本館2階 検査部(迅速検査・血液検査)
*病棟実習は担当医と一緒に受持ち患者の診療に当たる。		*FACS実習に関する注意事項 ①希望者は第1週中にオリエンテーション医師グループ担当医師に申し出る。 ②当日は9:00～9:30に13Eにて採血(A管)を行い、実習に持参する。 ③測定1日目(半日)、結果解析2日目(半日)で2日間の実習となる。

### <血液内科 担当医> G●担当:○

- 上記日程中に小講義(録画)の視聴を適宜行う。①白血病 ②骨髄増殖性腫瘍
- 病棟実習では、診療チームの一員として担当医と一緒に受持ち患者の診療にあたる。毎日カルテ記載を行うこと(カルテは点数評価対象)。
- 上記予定は変更される場合があるので、実習時に配布される各班用の予定表を必ず確認すること。
- 各学生は実習期間中に、専門外来と総合外来をそれぞれ少なくとも1回見学し、血液内科の再診・初診診療を勉強する。

\*各グループは輪番制で血液内科教員(鎌田・田寺・道下・横山・羽山・泉山)がグループ担当となる。自分のグループの担当教員については実習時に配布される各班用の予定表を参照のこと。

「病棟実習」と記載されている時間は、受持ち患者について診療あるいは情報収集を行う時間である。「休み」ではないことを肝に銘じておくこと。



# 呼吸器内科実習

実習 M302-CM15

## Respiratory Medicine(Clinical Clerkship)

科目責任者	猶木 克彦
教育担当	猶木 克彦*・楠原 政一郎*・掛川 未希子*
担当者	佐藤 崇*・中原 喜朗*・曾根 英之*・貝塚 宣樹* 横場 正典(兼)*・三藤 久(兼)*佐々木 治一郎(兼)*
実務経験のある教員	猶木 克彦ほか： 臨床現場での実践を踏まえ、呼吸器疾患患者さんの診断・治療の実際、チーム医療の実際を習得できるよう指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：○ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力：○ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
授業の目的	①北里大学呼吸器内科の臨床教育を通して、一般内科及び呼吸器内科専門医としてのトレーニングを実体験し、個々の症例が持つ固有の特性を総合的に把握した上での医療の重要性を理解する。 ②良好な患者・医師関係の形成について実習を通して修得する。 ③チーム医療における医師の役割と責任について考え、理解する。 ④学外の病院（呼吸器内科スタッフが勤務）では、内科全般に関しての実習を予定する。
受け入れ人数 (各期間人数)	学内受入数（第1・2・3・4・5・6期間）3人 学外受入数（第1期間）1人 北里研究所病院（東京都港区白金） 学外受入数（第3・5・6期間）1人 けいゆう病院（神奈川県横浜市西区みなとみらい）
教育内容 教育方法	①病棟実習 学生は実習期間中、病棟医・主治医と常に行動を共にし、数名の患者さんの準受持医として実習を行う。 教科書的知識は自己学習を必須の前提とし、指導者と共に総合的診療について議論する。 i. 回診時の症例提示 ii. Chart Conference iii. 担当症例プレゼンテーション ②検査・画像診断・症例検討 i. 気管支鏡検査 ii. 胸腔鏡検査 iii. 呼吸機能検査 iv. 症例検討会 v. Chest Conference ③処置・緊急対応 病棟内及び呼吸器外来において、病棟チーフや受持医、主治医と行動する。 i. 胸水穿刺・胸腔ドレーン挿入 ii. 呼吸管理 など。 ④外来化学療法センター見学 ⑤感染管理室見学 ⑥受け持ち患者のカルテ・レポート作成および学生間でのプレゼンテーション終了後に良い点、改善点をフィードバックする。
準備学習 (予習・復習)	呼吸機能および画像検査の理解。 呼吸器感染症、アレルギー性肺疾患、間質性肺疾患、閉塞性肺疾患、肺腫瘍、胸膜・縦隔疾患に対する診断と治療。 予習・復習あわせて1日あたり2時間の自主学習を要する。
到達目標	(1) 病歴および身体所見から病態を把握できる。 (2) 患者情報を要約して問題点を抽出できる。 (3) チーム医療を理解して行動できる。 (4) 症例の適切なプレゼンテーションができる。 (5) 患者、スタッフとのコミュニケーションがとれる。
評価基準	医学部専任・兼任教員、病棟チーフ、病棟医、受持医、看護師による評価、及び症例プレゼンテーションにより総合的に評価する。(実習態度30%、毎週の質疑応答30%、プレゼンテーション40%)

学外実施について	<p>けいゆう病院、北里研究所病院では呼吸器内科に限定されることはなく、一般内科として実習を行う。</p> <p>同病院は卒後臨床研修病院で、他大学医学部学生の臨床実習も行っており、臨床教育を受けるのに適した環境にある。</p> <p>なお、学外の病院での実習を希望する際は、事前に科目責任者または教育担当者と簡単な面談を行う為、実習開始前に科目責任者又は教育担当者へ連絡をすること。</p>
初回集合場所・時間	東館 5S 病棟カンファレンスルーム・13:20

## 2023-2024 年 呼吸器内科選択臨床実習スケジュール表

教育担当 楠原政一郎  
掛川未希子

	AM	PM
月	2・3 週目 9:00～病棟実習（病棟チーフ）	<b>1 週目 13：20～オリエンテーション・症例紹介（5S；掛川）</b> <b>13:30～15:00 教授回診（5N 学生実習室；猶木）</b> <b>16:00～17:00 Chest Conference（5S；楠原）</b>
火	9:00～病棟実習（病棟チーフ）	13:00～病棟実習（病棟チーフ）
水	<b>7:30～8:30 呼吸器合同カンファレンス（5N；楠原、病棟チーフ）</b> <b>9:00～12:00 気管支鏡検査（本館 3 階内視鏡センター；三藤）</b> <b>◇10:30～11:30 感染ラウンド（本館 2 階感染管理室；高山）</b> <b>◇9:00～12:00 外来化学療法センター見学（本館 2 階外来化学療法センター；佐々木）</b>	13:00～病棟実習（病棟チーフ）
木	9:00～12:00 胸腔鏡検査（本館 3 階内視鏡センター；三藤） <u>不定期</u>	13:00～病棟実習（病棟チーフ） <b>1・2 週目 13:00～14:00 担当症例検討・質疑（5S；楠原）</b> <b>3 週目 13:00～14:00 担当症例プレゼンテーション・評価（5S；掛川）</b> <b>15:00～17:00 Chart Conference（5S；病棟チーフ、担当スタッフ）</b>
金	9:00～12:00 外来実習（本館 1 階内科総合外来；掛川） <u>1名</u> 9:00～病棟実習（病棟チーフ）	13:00～病棟実習（病棟チーフ）

# 内分泌代謝内科実習

実習 M302-CM15

Department of Endocrinology, Diabetes and Metabolism(Clinical Clerkship)

科目責任者	宮塚 健
教育担当	宮塚 健*・市川 雷師*・林 哲範*・鈴木 陽彦*・田口 朋*・的場 健太* 廣瀬 正俊*
実務経験のある教員	宮塚 健・市川 雷師・林 哲範・正木 嗣人・鈴木 陽彦・田口 朋： 臨床経験を踏まえ、実際の患者診察を行い、内分泌代謝疾患の診断における身体所見の取り方について実習を行う
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：○
授業の目的	よき医師となるために必要な基本的事項を学ぶ (1) 理論的な思考過程 (2) 病変のみにとらわれず、患者の肉体と精神を一体として把握する (3) 望ましい人間関係の確立 (4) 一般的診察法及び診断、治療に要する基礎的知識・手技
総受け入れ人数(各期間人数)	総受け入れ数 12 人 (各期間 2 人)
教育内容 教育方法	(1) 外来診察 総合外来・専門外来・糖尿病腎症外来 (チーム医療) をそれぞれ見学する。 (2) 入院診察 数名の患者を担当する。 病棟医の指導のもとに担当医として実際の診察を行う。 毎日、担当患者の診察 (問診・身体所見)、診療録の記載 (特にアセスメントとプラン) を行う。 担当患者の特殊な検査 (内分泌学的負荷試験など) やインフォームドコンセントなどに積極的に参加する。 担当医として病棟回診やチャートカンファレンスでプレゼンテーションを行う。 (3) 手技 担当患者のバイタル測定を行う。 病棟医や研修医とともに血液検査 (採血)、心電図検査を行う。 (4) 症例検討会 隔週で行われる症例検討会に参加し、その疾患の病態や理解を深める。 担当症例の際はプレゼンテーションを行う。 (5) 糖尿病診療におけるチーム医療の実践 糖尿病教室や他職種とのミーティングに参加し、糖尿病患者への教育の重要性について学ぶ。 診療録の添削、症例ディスカッションを通じて学生にフィードバックを行う。 (6) 北里研究所病院での実習 (選択制) 希望者は実習の 1 週目に北里研究所病院での実習を行う。 実習内容については、選択実習 (KMC・北研) のシラバス参照。
準備学習 (予習・復習)	(予習) 必要時間 1～2 時間/コマ ・ 3 年生の内分泌・代謝系診断・治療学の講義と 4 年生の臨床実習全般の知識/技能/態度を復習しておくこと (内分泌代謝内科学の領域に限らない)。 特に内分泌疾患のそれぞれの病態生理と診断方法 (内分泌負荷試験の原理等) を確認する。 ・ 糖尿病をはじめとする内分泌代謝疾患 (慢性疾患) がどのような経過を辿り、どのように患者さんの生活に関わっているかを自分なりに考えておくこと。 (復習) 必要時間 1～2 時間/コマ ・ 受け持った症例の診療録を作成し、経験した疾患の病態生理・診断方法、治療を確認し、翌日以降の臨床実習に繋げること。

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受け持った症例の病歴聴取・身体診察所見を適切に行い、また検査所見を正確に解釈・説明することができ、かつ臨床上の問題点を提起し（プロブレムリストの作成）、科学的根拠に基づく医学（EBM）を用いた診療や治療に結びつけることができる。</li> <li>・ 内分泌疾患・糖尿病の各々の病態生理・診断法・治療について説明できる。</li> <li>・ 症例検討会に参加してガイドラインや論文からの情報収集法を学び、それを実践に応用できる。</li> </ul>
評価基準	<p>下記の採点をもとに、科目責任者が可否を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① カルテ作成 20 点</li> <li>② 臨床推論能力評価 20 点</li> <li>③ 症例ディスカッション 20 点</li> <li>④ チャートでのプレゼンテーション 20 点</li> <li>⑤ 実習実施状況 20 点</li> </ol> <p>※北研での実習を選択肢した場合には、北研での実習について評価に組み入れる。</p>
初回集合場所・時間	<p>東館 7N 病棟内分泌代謝内科カンファレンスルーム・9:30</p> <p>その他詳細については初回集合時にオリエンテーションを行い連絡する。</p> <p>※北研での実習選択者は初回の集合場所について北研のシラバスのスケジュールに従う。</p> <p>2 週目以降の北里大学病院での実習については、上記の通り 7N 病棟内分泌代謝内科カンファレンスルームに 9:30 まで集合すること。</p>
参考図書	<p>(1) 教科書</p> <p>『Mosby's Guide to Physical Examination』 Seidel H. M. 7th, ed. Mosby 2011</p> <p>『身体所見のとりかた』 第 2 版 川上義和 (文光堂)</p> <p>『内科学』 矢崎義雄ほか (朝倉書店)</p> <p>『HARRISON'S PRINCIPLES of INTERNAL MEDICINE』 20th, ed McGrawHill 2015</p> <p>『POS 医療と医学教育革新のための新しいシステム』 日野原重明 (医学書院)</p> <p>(2) 学生参考図書</p> <p>『JOSLIN'S DIABETES MELLITUS』 14th, ed. Kahn 他 1 名編 (LEA&amp;FEBIGER) 2005</p> <p>『WILLIAMS' TEXTBOOK OF ENDOCRINOLOGY』 12th, ed. Kronenberg 他 3 名編 (SAUNDERS) 2011</p> <p>『Werner &amp; Ingbar's THE THYROID』 10th, ed. Braverman 他 1 名編 (Wolters Kluwer) 2013</p> <p>『糖尿病診療ガイドライン 2019』 日本糖尿病学会編 (南江堂)</p> <p>『高齢者糖尿病診療ガイドライン 2017』 日本糖尿病学会編 (南江堂)</p> <p>『糖尿病食事療法のための食品交換表第 7 版』 日本糖尿病学会編 (文光堂)</p> <p>『内分泌代謝学』 斎藤寿一ほか (中外医学社)</p>
A V 資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 患者診察の基礎 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イリノイ診断学ビデオプログラム 第 1 巻 一般診察法：基本技術 WB I29 v.1</li> <li>・ 医師のための上手なインタビューテクニック (2 巻) WB I71 v.1</li> <li>WB I71 v.2</li> </ul> </li> <li>② 基礎医学関連 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目で見る身体のしくみシリーズ</li> <li>ホルモン QT Melli v.12</li> <li>・ 身体のしくみシリーズ</li> <li>内分泌系の構造と働き QT Sh69 v.8</li> </ul> </li> <li>③ 臨床医学関連 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目で見る病気シリーズ</li> <li>v.17 内分泌疾患と糖尿病 WB Ki59 v.17</li> <li>・ A Team Approach to Patient Management WK T253</li> </ul> </li> </ol>

内分泌代謝内科選択実習スケジュール1 (北里大学病院での実習のみ)

月	火	水	木	金	土	日
1 週 目	9:30 オリエンテーション ジョン・担当医紹介・ 患者紹介など (市川) 12:30 チャートカンファレン ス・病棟科長回診 (宮塚)	9:00～病棟実習  13:00～小講義 (田口)	9:00～病棟実習  13:00～小講義 (鈴木)	9:00～病棟実習  13:00～小講義 (市川)	9:00～病棟実習  13:00～小講義 (市川)	休
2 週 目	9:00～病棟実習  12:30 チャートカンファレン ス・病棟科長回診 (presentation) (宮塚)	9:00～病棟実習 9:30 糖尿病外来見学 (守屋)  16:10～症例検討会 (市川・林・鈴木・ 田口・的場・廣瀬)	9:00～病棟実習 9:30 糖尿病外来見学 (守屋)  16:10～症例検討会 (市川・林・鈴木・ 田口・的場・廣瀬)	9:00～病棟実習  13:00～小講義 (的場)	9:00～病棟実習  13:00～4年生症例デー スカッション参加 (守屋・市川)	休
3 週 目	9:00～病棟実習  12:30 チャートカンファレン ス・病棟科長回診 (presentation) (宮塚)	9:00～病棟実習 9:30 糖尿病外来見学 (守屋)	9:00～病棟実習 10:00～教授面談 (宮塚)  13:15 糖尿病教室オリエ ンテーション 13:30 外来糖尿病教室見 学 (鈴木)	9:00～病棟実習	9:00～病棟実習	休

## 内分泌代謝内科選択実習スケジュール2（北里研究所病院での実習を含む場合）

月	火	水	木	金	土	日
1 週 目	北里研究所病院 7:50 オリエンテーション （病院 4 階医局前集 合） 北研シラバス参照	北里研究所病院 8:30～実習 北研シラバス参照	北里研究所病院 8:30～実習 北研シラバス参照	北里研究所病院 8:30～実習 北研シラバス参照	北里研究所病院 8:30～病棟実習 北研シラバス参照	休
2 週 目	北里大学病院 9:30 オリエンテーション ・担当医紹介・ 患者紹介など （市川） 12:30 病棟科長回診 チャートカンファレン ス （宮塚）	北里大学病院 9:00～病棟実習 13:00～小講義 （林）	北里大学病院 9:00～病棟実習 9:30 糖尿病外来見学 （守屋） 13:00～小講義 （田口） 16:10～症例検討会 （市川・林・正木・ 鈴木・田口）	北里大学病院 9:00～病棟実習 13:00～小講義 （鈴木） 13:00～小講義 （的場）	北里大学病院 9:00～病棟実習 13:00～4 年生症例デイ スカッション参加 （守屋・市川）	休
3 週 目	北里大学病院 9:00～病棟実習 12:30 病棟科長回診 （presentation） チャートカンファレ ンス（presentation） （宮塚）	北里大学病院 9:00～病棟実習 9:30 糖尿病外来見学 （守屋）	北里大学病院 9:00～病棟実習 9:30 糖尿病外来見学 （宮塚） 13:15 糖尿病教室オリエ ンテーション 13:30 外来糖尿病教室見 学 （鈴木）	北里大学病院 9:00～病棟実習 10:00～教授面談 （宮塚） 13:00～小講義 （市川）	北里大学病院 9:00～病棟実習 13:00～小講義 （市川）	休

実習期間中に必ず 1 回は担当指導医の総合外来および専門外来を見学する。

# 腎臓内科実習

実習 M302-CM15

## Clinical Training for Division of Nephrology (Clinical Clerkship)

科目責任者	竹内 康雄
担当者	竹内 康雄* (北里大学病院 腎臓内科)、長場 泰* (北里メディカルセンター:KMC 腎臓内科)、 福田 誠一* (北里研究所病院 腎臓内科)
実務経験のある教員	(北里大学病院) 竹内康雄、守屋利佳、青山東五、内藤正吉、宮坂竜馬、和田幸寛。 (KMC) 長場泰、島田芳隆 (北里研究所病院) 福田誠一、高畑尚、澤田彩： 臨床経験を踏まえ多くの腎疾患の鑑別診断、治療について、患者様個別な病態、治療を討論する
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学：◎ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療：◎ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：○
授業の目的	1) 北里の各病院の一員であることを自覚し、医療に携わるものとしての適切な言動、行動を身に着ける。 2) 自分の担当患者の疾患について、先ず典型的な経過、症状、問診事項、診察所見、検査所見を把握し、疾患の成立過程と一般的な治療手段と選択を学ぶ。担当症例については、POMR形式で診療録を記載する。 3) 2) を基にして他の学生が担当している患者についても適切な治療方法を考察する過程を学ぶ。 4) 医学部4年生への指導を行う。
受入れ人数	各期間ともに1期間4名。基本スケジュールは、相模原本病院、KMC、北里研究所病院でのスケジュールを確認のこと。
教育内容 教育方法	担当：(本院) 竹内、青山、内藤、鎌田、宮坂、和田、佐野景、松田 (KMC) 長場、島田 (北里研究所病院) 福田、高畑、荒尾 *) KMC、北里研究所病院は各々のプログラムを確認してください 1) 内科の基本的診察法 (問診、視診、触診、聴診、打診) を繰り返して身に付ける。 2) 問題志向型診療を実践し、診断・治療への科学的アプローチを身に付ける。 3) 基本の手技 (バイタルサインのチェック、静脈採血、末梢静脈ラインの確保など) の見学を行う (*実施については臨床実習統括委員会の指針に従う) 4) 学生1名に対し、レジデント1～2名を1チームとする。指導医は腎臓内科スタッフが担当するが、指導医と各症例についてディスカッションを毎日行う。 5) 4年生のOSCE、担当症例指導を行う。 症例プレゼンテーション後には講評を行い、再度検討する。
準備学習 (予習・復習)	予習：以下の鑑別疾患の発症機序、臨床症状、鑑別の方法、確定診断、除外診断の方法を予習する。 徴候：血尿、蛋白尿、浮腫、高血圧、頻尿、多尿、急性腎炎症候群、急速進行性腎炎症候群、慢性腎炎症候群、ネフローゼ症候群、急性腎不全、慢性腎不全、高尿酸血症、(電解質異常) 高低Na血症、高低K血症、高低Ca血症等、酸塩基平衡異常について、腎尿路系I, II テキストの腎臓内科担当 (竹内、佐野、青山) 部分を予習する。 復習：学習内容、考察事項などをPOMR形式で日ごとに記載する。その際に参考図書を使用する。 予習・復習に150分を充てること。 参考図書：『内科学書』第9版 (中山書店) 『新臨床内科学』高久史磨、尾形悦郎監修 (医学書院) [病歴、身体所見などの鑑別診断用図書] 『内科診断学』福井次矢、奈良信雄編 (医学書院) [臨床検査所見の鑑別診断用図書] 『臨床検査法提要』金井正光編 (金原出版) [腎疾患の知識] 『講義録 腎臓学』木村健二郎、富野康日己編 (メジカルビュー社) 『専門医のための腎臓病学』下条文武、内山 聖、富野康日己編 (医学書院)

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 清潔な身なりをし、社会人、医療に携わるものとして適切なふるまいをすることができる。</li> <li>2) 院内感染の予防に配慮し、自己管理についても適切な行動をとることができる。</li> <li>3) 基本的な医療面接、基本的な身体診察を実施し、担当患者の問題の解決手順を計画、提示できる。</li> <li>4) POMR の形式に基づいて診療録を作成することができる。</li> <li>5) 腎疾患の診療にかかわる様々な職種について述べるることができる。</li> <li>6) <u>症例の問題点をまとめ、要点をプレゼンテーションすることができる。</u></li> <li>7) <u>自己の学習を振り返り、改善に努めることができる。</u></li> <li>8) <u>4年生の臨床実習学生に対し適切なアドバイスができる。</u></li> </ol>
評価基準	<p>(北里大学病院本院) * ) KMC、北里研究所病院は各々のプログラムを確認してください          スタッフとの症例検討と口頭試問:80点 (竹内、青山、内藤、宮坂、和田、佐野景、松田、守屋) 簡易 OSCE ; 10点 (竹内)          症例プレゼンテーション : 10点 (竹内)</p>
学外実習について	<p>近隣の連携施設 (さがみ循環器クリニック、ニーレンクリニック、淵野辺病院、相模大野内科腎クリニック、国立相模原病院) にて第3週目 (1週間) 行う予定である。          コロナ感染状況悪化など、事情により中止もある。</p>
初回集合場所・時間	<p>東館 6N カンファレンスルーム 9時</p>
実習における注意事項	<p>担当となる患者の信頼を得られるよう、社会人として言葉使い、態度等に配慮すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病歴聴取、身体診察、問題リスト作成と問題解決へのアプローチを、支援を受けながら自ら実施する。診療録への記載時には必ず署名をする。</li> <li>・ 診療チームの一員として屋根瓦式の診療教育を受ける。<b>4年生には積極的にアドバイスする。</b></li> </ul>



腎臓内科 CC：北里大学病院本院の基本スケジュール：以下を2週間行う

3週目は外部施設での実習に充てる

(国立相模原、ニーレンクリニック、さがみ循環器クリニック、相模大野内科腎クリニック  
森下記念病院、腎健クリニックなど)

KMC 希望者は KMC 以外の週に充てる

	AM	PM
月	9:00~ 実習オリエンテーション (守屋) 各主治医について実習開始 担当患者の診療開始	
火	8:15~浄化センターカンファ (内藤、鎌田、佐野) *担当症例検討	
水	8:15~浄化センターカンファ (青山、和田、宮坂、佐野) 10:30~ 腎生検見学 *担当症例検討	13:00~15:30 腎内科入院患者カンファ (6N) 腎生検病理カンファ (竹内、青山、内藤、鎌田、阿部、宮坂)
木	*担当症例検討	14:00~ 論文抄読会 (竹内) (臨床講義室)
金	*担当症例検討	13:00~ 担当患者カンファと試問 (竹内) (6N)

- 1) 主治医が診療している患者さんについて、最低 1 人は毎日問診、診察を行うようにする。担当患者は主治医より指示される。診療録は学生用カルテに記載していただき、退院の際、あるいは実習終了日に科長へ提出する。なるべく多くの人数は担当することが望ましい。実際にお会いしない患者さんでも主治医が診ている患者さんは把握するように努める
- 2) 担当症例検討:主治医、受け持ち医と患者のカンファレンスを行うことですが、その時々によって時間も違うので担当医に確認するか、ご自身で質問をする。
- 3) 主治医の予定に合わせて外来見学を行う。
- 4) 試問では担当患者の詳細について説明する。
- 5) 主治医、スタッフの状況でスケジュールは変更になるため、その都度連絡する。  
院内 PHS は必ず携帯し、連絡が取れるようにしておく。

Rheumatology and Infectious Diseases(Clinical Clerkship)

科目責任者	山岡 邦宏
教育担当	山岡 邦宏*・和田 達彦*・奥 健志*
担当者	有沼良幸*・松枝 佑*・田中 知樹*
実務経験のある教員	<p>山岡 邦宏：臨床経験と初期研修医の指導経験を活かし、クリニカルクラークシップをコーディネートする。</p> <p>奥 健志：北海道大学にて学生教育に従事しプログラム作成にも関与しており、臨床経験や初期研修医指導経験も豊富な教員である。</p> <p>有沼 良幸：2015年4月から2017年3月：米国 The Feinstein Institute for Medical Research, The Center for Autoimmune and Musculoskeletal Disease, Postdoctoral fellow にて Neuroscience の研究に従事：本実習では臨床免疫実習において、免疫学的検査を実験を通じて理解してもらう手助けをする。また、OSCE 評価者としての実務経験も豊富である。</p> <p>和田 達彦：北里大学病院 危機管理部 感染管理室に従事した実務経験を有する：本実習では感染症実習において、抗菌薬適正使用のみならず、院内感染対策に対する実技修得の手助けをする。</p>
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	<p>1. プロフェッショナルリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学：○</p> <p>2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○</p> <p>3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：○</p>
授業の目的	<p>膠原病・感染症は全身性疾患で、その診断・治療は全身諸臓器を注意深く診ることから始まる。病棟で患者を受け持ち、全身を診るスキルを会得するだけでなく、検査所見（微生物・免疫学的検査）を含めて総合的に診断する能力を身につける。さらに、消化器病変、循環器病変、呼吸器病変、腎病変、神経病変、糖尿病などの他の分野についても知識を総動員して診療にあたることを習得する。また、特に免疫抑制剤、生物学的製剤や分子標的薬、抗菌薬、抗ウイルス薬の使い方について理解を深めるべく学習する。</p>
教育内容 教育方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病棟で患者1名ずつを病棟医の下で受け持ち、診察・カルテ記載、許される範囲の処置を実際に行う。また、チャート回診・教授回診では、実際の受け持ち医の代行として受け持ち患者のプレゼンテーションを行うとともに、その治療方針などについて積極的に討論に参加する。(ただし、新型コロナウイルス感染症：COVID-19等により病棟実習が叶わない場合は、WEBでの講義やディスカッションに切り替える)</li> <li>2) 主治医の外来及び病棟回診に同席し、実際に診察法と診療計画を学習する。(ただし、COVID-19等の流行期は外来同席は中止する。)</li> <li>3) 症例から Clinical question を抽出し、科学的根拠を基に考察し、プレゼンテーションを行う。</li> <li>4) 膠原病・リウマチの治療（ステロイド、免疫抑制薬、生物学的製剤の使い方）の小講義や臨床免疫実習により専門的な知識を得る。</li> <li>5) 感染症の診断・治療、AST ラウンド等に医師リンクスタッフとともに同行し、思考プロセスの知識を得て、対策および抗菌薬選択を行う。(ただし、COVID-19等の流行期は中止する。)</li> <li>6) 実習期間中に機会があれば学外の研究会に参加し、専門家の講演などを通じて最先端の知識に触れる。(ただし、COVID-19等の流行期は中止する。)</li> <li>7) 実習期間中、各教育担当者とともに Post-CC OSCE 対策として、日々の診察と臨床推論とプレゼンテーションのスキルアップを行う。</li> <li>8) 最終プレゼンテーションでは、パワーポイントを用い、本実習内で抱いた Clinical question に対して、文献などを用いて解決した内容を、5分以内で、1枚にまとめあげて発表することで、科学的根拠による知識、臨床研究等文献に対する興味、人前での発表に対する自身をつけてゆく。Clinical question は3つまでとすることで、まとめ上げる能力向上をはかる。</li> <li>9) フィードバック             <ol style="list-style-type: none"> <li>(ア) カルテ記載は添削して返却する。</li> <li>(イ) OSCE は一人一人に講評と不十分もしくは誤っている診察技術への指導や修正を OSCE の直後に行う。</li> <li>(ウ) 口頭試問は一人一人に講評と指導を口頭試問の直後に行う。</li> </ol> </li> </ol>

定 員	各期間ともに1期間3名。
準 備 学 習 (予習・復習)	第3学年で学習した感染症・免疫系診断・治療学の内容を復習する(40分)とともに、第4学年で学習した臨床各科の全般的な知識についても復習しておくこと(60分)。さらに第5学年の総合試験(第1回)についても、自分の間違えたところを教科書などで確認し、知識を補っておくこと(30分)。 感染症・免疫系診断・治療学の各講義の復習に15分程度かけること。また、Post-CC OSCE対策に150分はかけること。 参考図書『リウマチ・膠原病診療ガイド―病態・病理から診療のTipsまで』廣畑俊成 著(文光堂・2016年)
到 達 目 標	膠原病・感染内科実習 3週間で以下の能力を修得することを到達目標とする。( )内は関連するディプロマポリシー 1. 患者の病歴や生活歴などを聴取でき、患者の経過情報を多職種から得る能力(1, 2, 5) 2. リウマチ・膠原病、感染症患者への医療面接・身体診察を行い、問題点の抽出、担当医とディスカッションのできる能力(2, 3, 4, 5) 3. 臨床免疫学的検査方法の原理や方法を、実習を通して理解し、研究への視野を広げられる能力(3, 4) 4. リウマチ・膠原病、感染症患者の診療中で生じたClinical questionに対して、文献などで考察をし、限られた実習内で解決のできる能力(4) 5. 地域特性に基づいたアンチバイオグラムを活用し、抗菌薬適正使用、二次予防、感染対策を説明することができる能力(7, 8)
評 価 基 準	①受け持ち患者のプレゼンテーション(10%) ②病棟における実習態度(10%) ③3週目木曜日のプレゼンテーションと質疑応答(80%) 以上を総合して評価する。
初 回 集 合 場 所 ・ 時 間	1号館7N病棟カンファレンスルーム・9:00

2023年度選択実習(第50期生) 膠原病・感染内科実習 スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	第1週 9:00 7Nカンファレンスルームにてオリエンテーション  第2・3週 病棟・外来実習	9:00 教授回診 東館3階 会議室2	病棟・外来実習	病棟・外来実習	9:00~チャート回診 7Nカンファレンスルーム
午後	9:00-16:00 病棟実習	13:00 教授回診 14:00-15:00 (2週目) 教授講義 7N学生実習室 14:00-15:00 (3週目) 最終プレゼンテーション 7N学生実習室	病棟・外来実習	病棟実習 第1・2週	病棟実習
教育担当者	膠原病・リウマチの治療 Post-CC OSCE対策 松枝佑先生	臨床免疫実習 Post-CC OSCE対策 有沼良幸先生	膠原病・リウマチ診療 Post-CC OSCE対策 田中知樹先生	感染症診療・対策実習 Post-CC OSCE対策 和田達彦先生	膠原病・リウマチ診療の総復習、Post-CC OSCE対策 奥健志先生

- ・実習内容や開始時間に変更される可能性がある。変更がある場合は担当者より連絡する。
- ・各教育担当者には第1週目教授回診後に連絡を取り、実習中の予定を決めること
- ・最終プレゼンテーションについて  
5分以内のプレゼンテーションを行うこと。内容は、本実習内で抱いたClinical questionに対して、文献などを用いて解決することとする。パワーポイント1枚にまとめて、Clinical questionは3つまでとする。
- ・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行により病棟実習が叶わない場合には、オンライン講義とする。

Surgery(Clinical Clerkship)

科目責任者	比企 直樹
教育担当	比企 直樹*・久保 任史*・田中 俊道*
実務経験のある教員	比企 直樹ほか： 臨床経験を踏まえ、病歴の聴取、理学所見、各種臨床検査の計画と検査手技、検査結果の評価、鑑別診断、治療方針の決定と具体的治療法（手術）術前術中術後管理、術後合併症と、その予防・診断・治療、予後などについて指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：○
授業の目的	診療チームに一員として加わり、指導医、受持医の指導、監視のもとに一定の医行為を行い、実際に患者を診察することで、医師として最低限の知識や診療技術・患者への接し方を習得する。
教育内容	診療グループ（上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺甲状腺、小児外科）のいずれかに配属し、グループの一員として日々の診療にあたる。各期間で2名（希望制）は1週間北里大学メディカルセンターで実習を行う。 個々の患者を通して、病歴の聴取、理学所見、各種臨床検査の計画と検査手技、検査結果の評価、鑑別診断、治療方針の決定と具体的治療法（手術）術前術中術後管理、術後合併症と、その予防・診断・治療、予後などについて学ぶ。 治療方針がEBMに基づいていることを学ぶ。 <b>外科新世紀カンファレンス（開催日時 要確認）</b> を通して、分析および批判的思考を含む、科学的方法の原則を学び、医学研究法の種類を理解し、EBMの成立過程を学ぶ。 複数の患者を同時に診療することにより、行うべきことの優先度、効率よい診療についても習得する。
教育方法	(1) 各診療グループの一員として、日々の診療にあたる。受持ちスタッフ・レジデントと行動を共にする。 (2) 「手術の適応」「合併症」「術野の解剖・生理」を中心に深く修得する。 (3) 何でも質問すること。周囲の医師は忙しいように見えても教えることは義務であり、彼らの為に確実に役に立つ。 (4) 手術症例患者を含め3週間に2～3人程度の受け持ちを決め指導医より紹介を受け、診察、問診を行う。 (5) 担当患者についての経験した出来事、疑問に思ったことについて1日1回、担当医あるいは指導医と話し合いを持つ。指導医は調べる事項があれば学生に指示する。 (6) 3週間の終わりにおいて、全員で口頭試問と臨床実施試験（OSCE）を受ける。また、担当した患者、疾患に関連したレポートを作成し、最終日の口頭試問の前に提出する。 (7) 毎週行われる外科モーニングカンファレンスに参加する。また、各診療グループの術前検討会に積極的に参加する。 <b>カンファレンス 7:45 水曜日 Web 開催（本館 3階 臨床講義室 1もしくは各科 CR）</b> <b>（上記開始時間と開催場所は適宜変更となる場合があるため、担当医に確認すること）</b> <b>【フィードバック】</b> ①チャートカンファレンスにおけるプレゼンテーションは、その都度内容についてフィードバックされる。 ②症例サマリー、カルテの記載内容は、担当教員によりフィードバックされる。
準備学習（予習・復習）	『予習』（約3時間） これまでに学んだ外科に関する講義内容を必ず復習しておく。 基本的診療手技（診療法、静脈採血、導尿、創の管理、抜糸、手洗い、ガウンテクニック、切開、縫合法）などについて理解しておく。 『復習』（約3時間） その日に学んだ検査・処理・手術などについて、疑問点を整理し担当医への確認や教科書・資料などを通してきちんと理解する。

<b>参考図書</b>	(1) 教科書 『標準外科学』第16版(医学書院) (2) 参考図書 『標準小児外科学』第8版(医学書院)
<b>到達目標</b>	(1) 患者と良好な関係を持ち、面接、問診を行い必要な情報を聴取し記載できる。 (2) 前記問診に基づき適切な診療により、身体所見を正確に取り記載できる。 (3) 診断に必要な検査計画について考察、理解することができる。 (4) 収集した情報(問診、身体所見、検査結果)を解釈し、治療計画方針がEBMに基づいているかを理解できる。 (5) 治療(手術)が必要な場合、治療(手術)に必要な術前検査の計画を立て実施指示ができる。 (6) 患者やその家族に対する、検査の結果や治療についてのインフォームドコンセントの重要性を理解できる。 (7) 手術におけるガウンテクニックなどの清潔操作、手術における多くの医療スタッフの役割を理解できる。 (8) 術中の解剖学を理解するとともに、止血法、剥離法、臓器の扱い、切除標本の取扱い、縫合について技法を観察する。 (9) 手術後の呼吸循環を含む全身管理、輸液法についての指示を理解できる。 (10) 術後の患者の苦痛の緩和について理解できる。合併症予防の為の計画を理解できる。 (11) 手術後患者の創、ドレーン、胃管、ストーマなどに関して管理処理ができる。 (12) 悪性腫瘍の患者について、その心理的、社会的、苦痛について理解できる。思いやりや優しさを持つ。 (13) カンファレンスに積極的に参加し、その検討の内容を理解し、疑問点について積極的に発言できる。 (14) 患者の診療に必要な知識を医師、教科書、文献等から積極的に収集できる。 (15) 患者の情報を過不足なくまとめ、プレゼンテーションできる。 (16) EBMが確立される過程で、どのように研究が立案され行われてきたかを理解できる。
<b>評価基準</b>	実習態度(70%)：担当患者に関わる態度、手術見学の頻度、担当患者以外の患者病態に対する質疑等 口頭試問(30%)：実習最終日に行う。各自作成したレポートを用いたプレゼンテーション並びに口頭試問(1名 発表3～4分 質疑2分前後)
<b>受け入れ人数</b>	9名/期間 上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺内分泌、小児外科のいずれかに配属となる。 各部署の配属人数は原則2名までとする。 配属グループはあらかじめ学生の希望を確認し可能な限り意向に沿うよう努めるが、配属人数を踏まえ必ずしも希望通りになるとは限らない。
<b>初回集合場所・時間</b>	IPE棟 スキルラボ 9:00

## 2023年度 Clinical Clerkship 外科実習 予定表

### 1週目

曜日/時間	AM①	AM②	PM(13:00～17:00)
月	オリエンテーション(各期間の担当教員) 9:00～ スキルスラボ	手術・検査・病棟回診(各担当教員)	手術・検査(各担当教員)
火	チャートカンファレンス(比企、内藤、隈元、三階) (各科CR 開始時間は各科で確認)	手術・検査・病棟回診(各担当教員)	手術・検査(各担当教員)
水	モーニングカンファレンス(7:45～ 各CR zoom) (自己紹介)	チャートカンファレンス(隈元、比企) (各科CR 開始時間は各科で確認)	手術・検査(各担当教員)
木、金	チャートカンファレンス(比企、内藤、隈元、三階) (各科CR 開始時間は各科で確認)	手術・検査・病棟回診(各担当教員)	手術・検査(各担当教員)

### 2週目

曜日/時間	AM①	AM②	PM(13:00～17:00)
月、火	チャートカンファレンス(比企、内藤、隈元、三階) (各科CR 開始時間は各科で確認)	手術・検査・病棟回診(各担当教員)	手術・検査(各担当教員)
水	モーニングカンファレンス(7:45～ 各CR zoom)	チャートカンファレンス(隈元、比企) (各科CR 開始時間は各科で確認)	手術・検査(各担当教員)
木、金	チャートカンファレンス(比企、内藤、隈元、三階) (各科CR 開始時間は各科で確認)	手術・検査・病棟回診(各担当教員)	手術・検査(各担当教員)

### 3週目

曜日/時間	AM①	AM②	PM(13:00～17:00)
月、火	チャートカンファレンス(比企、内藤、隈元、三階) (各科CR 開始時間は各科で確認)	手術・検査・病棟回診(各担当教員)	手術・検査(各担当教員)
水	モーニングカンファレンス(7:45～ 各CR zoom)	チャートカンファレンス(隈元、比企) (各科CR 開始時間は各科で確認)	手術・検査(各担当教員)
木	チャートカンファレンス(比企、内藤、隈元、三階) (各科CR 開始時間は各科で確認)	手術・検査・病棟回診(各担当教員)	手術・検査(各担当教員)
金	チャートカンファレンス(比企、内藤、隈元、三階) (各科CR 開始時間は各科で確認)	口頭試問 (9:00～12:00) 口頭試問:臨床講義室① もしくはスキルスラボ	

・上記以外に 1. カルテ記載 2. 担当となった症例をまとめたレポートを提出する。(課題は変更となる可能性がある、担当医に要確認)

・担当患者さんのスケジュールを優先する(手術、IC、処置など)。

そのために実習必須事項に参加できない場合は担当教員と相談する。

・病棟回診については病棟チーフと相談する。

・朝のチャートは担当患者さんのグループに参加する。

・上記予定はあくまで原則である。予定が変わる場合があるので、オリエンテーション時に担当教員に確認する。

総合担当医師:久保任史(PHS:16197) もしくは 田中俊道(PHS:17815)

## 2023年度 Clinical Clerkship 乳腺外科実習 予定表

### 1週目

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
朝チャート		8:30	外科カンファ7:45	8:00	7:30
AM	オリエンテーション9:00	手術(乳腺)	手術(甲状腺)	手術(乳腺)	手術(乳腺) 手術(甲状腺)
PM		手術(乳腺)	手術(甲状腺)	手術(乳腺)	手術(乳腺) 手術(甲状腺)
カンファ		乳腺術前カンファ(16:00)			

### 2週目

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
朝チャート	術前カンファ8:00	8:30	外科カンファ7:45	8:00	7:30
AM		手術(乳腺)	手術(甲状腺)	手術(乳腺)	手術(乳腺) 手術(甲状腺)
PM		手術(乳腺)	手術(甲状腺)	手術(乳腺)	手術(乳腺) 手術(甲状腺)
カンファ	甲状腺術前(チャート後)	乳腺術前カンファ(16:00)			

### 3週目

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
朝チャート	術前カンファ8:00	8:30	外科カンファ7:45	8:00	口頭試問(9:00~12:00)
AM		手術(乳腺)	手術(甲状腺)	手術(乳腺)	口頭試問:臨床講義室① or IPE棟 5F スキルラボ
PM		手術(乳腺)	手術(甲状腺)	手術(乳腺)	
カンファ	甲状腺術前(チャート後)	乳腺術前カンファ(16:00)			

乳腺受け持ち患者	化学療法施行 手術患者	1人担当 一週目木、金曜手術患者 二週目火、木、金曜患者 三週目火、木曜手術患者
	センチネル注射 マンモトーム生検	術前発表(一週目火曜) 術前発表(二週目火曜) 1回見学(水、木曜) 1回見学(火曜午後)
甲状腺受け持ち	手術患者	一週目水、金曜手術患者 二週目水、金曜手術患者 三週目水、金曜手術患者
	甲状腺細胞診	1回見学(木13:00頃)

## 2023年度 Clinical Clerkship 小児外科 週間予定表

曜日	開始時間	実習内容	実習場所・担当者など
月	8:00	オリエンテーション・回診	本館3階小児外科カンファレンス室(田中・高安)
	要確認①	外来見学	本館3階小児総合外来(田中・高安)
	13:00	消化管造影検査	1号館造影透視室(田中・高安)
	要確認②	術前検討会	本館3階小児外科カンファレンス室(田中・高安)
火、木	7:30	チャートカンファレンス	本館3階小児外科カンファレンス室(田中・高安)
	8:00	手術見学	手術室
水	7:45	外科モーニングカンファレンス	本館3階小児外科カンファレンス室(高安)
	8:30	チャートカンファレンス	本館3階小児外科カンファレンス室(高安)
	要確認①	外来見学	本館3階小児総合外来(高安)
	要確認②	術後検討会	本館3階小児外科カンファレンス室(田中・高安)
金	7:30	チャートカンファレンス	本館3階小児外科カンファレンス室(田中)
	要確認①	外来見学	本館3階小児総合外来(田中)
	9:00	口頭試問(消化器、乳腺甲状腺 合同)	臨床講義室① もしくは IPE棟 5F スキルラボ

上記以外に

1. 実習日程、実習場所に変更となることがあります。特に『要確認②』となっている実習は、当日朝のカンファレンスで担当教官に時間の確認をして下さい。
2. 毎朝のチャートカンファレンスでは適宜質疑応答が行われる他、受け持ち患者さんがいる場合プレゼンテーションを行って下さい。
3. 手術は少なくとも1症例は手洗いして参加するようにして下さい。
4. 週1回は外来見学をして下さい。4-5Mの実習期間と重なる場合、見学は午後になります。日時については担当教官に確認して下さい(要確認①)。
5. 担当患者さんのスケジュールを優先して下さい(手術、IC、処置など)。
6. 3年生の講義「外科学総論(田中潔先生)」で配布した小児外科資料を持参して下さい。
7. 小児外科は救急患者対応が多いため、適宜診察や処置に参加することがあります。
8. 実習期間中に抄読会が論文の発表を行っていただきます。詳しくは担当教官に確認して下さい。

## Obstetrics and Gynecology(Clinical Clerkship)

科目責任者	落合 大吾・加藤 一喜
教育担当	加藤 一喜*、服部 響子*、古川 正義*
実務経験のある教員	加藤一喜、服部響子、古川正義： 大学病院および関連病院において、臨床経験を踏まえ、産婦人科各種疾患の診断、治療や妊娠・分娩、新生児の取扱いにつき指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全： 9. 国際貢献：
授業の目的	既に5年次臨床実習で産婦人科学の基礎的な内容を履修していること、また同時期に第5学年の臨床実習が行われていることを踏まえ、選択実習においては産婦人科の3つのセクション（周産期医学、婦人科腫瘍学、生殖医学）を、より深く、より実践的に学び、理解することを目的とする。
定員	<b>学内受入数</b> 学外受入数 (1)6人/第1, 2, 3, 4, 5, 6期間 (2)各期間の第3週に関連病院で実習を行います。
到達目標	妊娠、分娩、産褥の正常経過を理解し、説明できる。 妊娠、分娩、産褥における主たる合併症を理解し、説明できる。 生殖生理学を理解し、生殖補助医療について説明できる。 婦人科腫瘍学を理解し、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、について説明できる。
教育内容 教育方法	(1)3週間の実習期間のうち大半は学内で履修するが、4-5日は別表の関連病院4施設での学外研修を行う。各施設とも学生は1名あるいは2名で出向する。これら関連病院は症例数も豊富で、産婦人科診療の実地を学ぶことが出来ると考えられる。 最終日に口頭試問を行い、フィードバックを行う。
準備学習 (予習・復習)	生殖機能・妊娠分娩系IおよびIIの内容を復習し、産婦人科各疾患、病態の概要のみならず治療法までも含めて理解を深めておくこと。実習で見学、経験した疾患や検査法に関しては、教科書の関連箇所を通読しておくこと。(1h程度)
評価基準	口頭試問30%、レポート30%、症例提示20%、実習態度20%にて総合評価を行う。なお、欠席は減点の対象とする。
学外実習	コース(1)(2)とも学外実習を含む。「教育内容・教育方法」の項参照。
初回集合場所・時間	産科実習週：6W 産科分娩監視室 10:00 婦人科実習週：7W 婦人科学生実習室 8:00



## 2023-2024 選択実習週間スケジュール

Aコース 2名		月	火	水	木	金	土・日
1週め	KU	KU	KU	KU	KU	KU	
	産科	産科	産科	産科	産科	産科	
2週め	KU	KU	KU	KU	KU	KU	
	婦人科	婦人科	婦人科	婦人科	婦人科	婦人科	
3週め	KS	KS	KS	KS	KS	KU	
						口頭試問(加藤先生)	

1週め	KU	KU	KU	KU	KU	
	婦人科	婦人科	婦人科	婦人科	婦人科	
2週め	KU	KU	KU	KU	KU	
	産科	産科	産科	産科	産科	
3週め	JS	JS	JS	JS	KU	
					口頭試問(加藤先生)	

1週め	KU	KU	KU	KU	KU	
	産科	産科	産科	産科	産科	
2週め	KU	KU	KU	KU	KU	
	婦人科	婦人科	婦人科	婦人科	婦人科	
3週め	KMC	KMC	KMC	KMC	KU	
					口頭試問(加藤先生)	

1週め	KU	KU	KU	KU	KU	
	婦人科	婦人科	婦人科	婦人科	婦人科	
2週め	KU	KU	KU	KU	KU	
	産科	産科	産科	産科	産科	
3週め	北研	北研	北研	北研	KU	
					口頭試問(加藤先生)	

KU: 北里大学病院  
 KS: 独立行政法人国立病院機構相模原病院  
 JS: JCHO相模野病院  
 H: 堀病院  
 KMC: 北里大学メディカルセンター  
 北研: 北里研究所病院

KMC実習は寮の用意あり、前泊、後泊可。  
 KMCへの移動はシャトル利用可。帰りは19:00シャトル又は電車で。シャトルは要予約。

堀病院の実習は、先方の都合により、なしとなる可能性もあります(その場合は大学病院で実習)

# 小児科実習

実習 M302-CM15

## Pediatrics(Clinical Clerkship)

科目責任者	石倉 健司
教育担当	石倉 健司*、高梨 学*、奥田 雄介*、土岐 平*、江波戸 孝輔*
実務経験のある教員	<p>石倉 健司：北里大学医学部小児科学の主任教授であり、小児腎臓分野の専門家である。実務経験のある担当者が細やかに指導することにより、学生が5年次の実習よりもさらに深く、安全に臨床診療に参加できるように指導する。</p> <p>高梨 学：北里大学医学部小児科学の診療講師であり、小児循環器分野の専門家である。小児循環器分野に関する幅広い知見を有し、関連する授業を展開する。学生指導の評価の統括を行う。</p> <p>奥田 雄介：北里大学医学部小児科学の診療講師であり、小児腎臓分野の専門家である。小児腎臓分野に関する幅広い知見を有し、関連する授業を展開する。臨床の現場で治療・療育の実際などについて指導する。</p> <p>土岐 平：北里大学医学部小児科学の助教であり、小児神経分野の専門家である。小児神経分野に関する幅広い知見を有し、関連する授業を展開する。臨床の現場で治療・療育の実際などについて指導する。</p> <p>江波戸孝輔：北里大学医学部小児科学の助教であり、小児免疫分野の専門家である。小児免疫分野に関する幅広い知見を有し、関連する授業を展開する。臨床の現場で治療・療育の実際などについて指導する。</p>
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	<p>1. プロフェッショナルリズムと倫理：◎      4. 知的探究と自立的学習：○      7. 予防医学：○</p> <p>2. コミュニケーション能力：◎            5. チーム医療：◎                            8. 地域医療：○</p> <p>3. 医学的知識と技術：○                    6. 医療の質と安全：○                    9. 国際貢献：○</p>
授業の目的	<p>体験型学習を通して、以下の点を習得することを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科医の日々を体験する。</li> <li>・小児科に特徴的な疾患の診断・治療・予後を実際の患児を通して学ぶ。</li> <li>・小児科の特殊な手技を見学・体験する。</li> <li>・正常な成長・発達を理解する。</li> <li>・患児への接し方や両親の思いを踏まえた対応を学ぶ。</li> </ul>
定 員	各期間 3名
教育内容 教育方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来中心コース（2週間の外来研修＋1週間のPICUまたは小児病棟研修）</li> <li>・ 急性期病棟中心コース（1週間の外来研修＋1週間のPICUと1週間の小児病棟研修）</li> <li>・ 慢性期病棟中心コース（1週間の外来研修＋1週間の小児在宅支援部門と1週間の小児病棟研修）</li> </ul> <p>上記のいずれかを選択をする。</p> <p>外来研修</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>小児科一般外来にて問診と診察を行い、患者のproblemの理解、身体所見の把握、必要な検査や処置の選択、診断の確定、治療の選択を行い、患者指導を加えて外来カルテを作成する。</li> <li>希望する専門外来にて興味ある疾患を選択し、自宅で過ごす病児や家族への指導方法を理解する。担当医の指導のもとに一般外来のようにカルテ作成を行う場合もあり。</li> </ol> <p>NICU研修</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>出生した正常新生児が日齢0から退院する日齢4までに体外環境に適応していく様子を理解する。（哺乳、体温調節、ビタミンK投与、新生児マスキング検査など）</li> <li>未熟児、新生児に見られる興味ある疾患について症例を選択して担当し、受持ち医と共に行動して診察に当たる。採血や手技の見学をし、可能な範囲で介助をしたり検体を選ぶ等の実務に当たる。輸液量や処方量などについて具体的に理解する。また、実習中は主治医・受持ち医の指導のもとで朝または夕方のラウンドにて症例のプレゼンテーションを行う。</li> </ol> <p>小児病棟研修</p> <p>入院中の興味ある疾患の患児を選択して担当し、受持ち医と共に行動して診察に当たる。採血や手技の見学をし、可能な範囲で介助をしたり検体を選ぶ等の実務に当たる。輸液量や処方量などについて具体的に理解する。また、実習中は主治医・受持ち医の指導のもとで朝または夕方のラウンドにて症例のプレゼンテーションを行う。</p>

	<p>小児在宅支援センター（あすばら）</p> <p>午前中は、朝の回診、病棟医や看護師、PT/OT、薬剤師とともにメディカルショートステイや在宅移行支援の患児のための業務を行う。また、病棟運営会議や患者検討会にも積極的に参加する。午後は、病棟医や看護師、保育士とともにデイケアを中心とした療育を行う。夕方のサインアウトに参加する。</p> <p>その他</p> <p>小児科セミナー開催時には積極的に参加 特に興味のある検査（心エコー検査 心臓カテーテル検査 脳波・筋電図検査 腎生検等）があれば選択可能とする。受持ちの患児が検査を行う場合には積極的に同席する。 2021年度より放射線診療従事者登録（放射線ガラスバッジの着用義務）を予定しており、心臓カテーテル検査などの放射線管理区域に立ち入る実習の際は着用すること。</p> <p>課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法 次回の授業で、課題の中の特徴的な見解や誤解についてコメントする。 もしくは、課題回収後に添削し、教務課を通し返却する。</p>
準備学習 (予習・復習)	<p>予習：3年次までの基礎医学ならびに成長発達系の見直しと5年次までのBSLの復習をする。 各疾患の特徴を把握、専門用語の意味等を理解しておく。配布資料等の指示された部分について目を通しておく。</p> <p>復習：日々のサインアウトにおける知識や経験の整理、各自で学習ノートを作成し記録する。</p> <p>予習・復習の時間について 学生の習熟度によるがおおよそ20時間前後必要である。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科医としての日常を経験する。</li> <li>・小児の特性を理解し、小児の診察ができるようになる。独特の手法や検査を担当医とともに行える。</li> <li>・病児の気持ち、親の気持ちを理解することができる。</li> <li>・医療チームの一員として診療や治療に参加することができる。カンファレンスなどでは、積極的に議論に参加することができる。</li> </ul>
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟スタッフによる病棟実習内容の評価（20%）</li> <li>・病棟スタッフによる入院時カルテの評価（20%）</li> <li>・発達検査のレポート提出（20%）</li> <li>・外来スタッフによる作成した外来カルテの評価（20%）</li> <li>・あすばらにおけるレポート提出と口頭試問（20%）</li> </ul>
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北里大学病院（小児病棟、NICU、あすばら、小児系外来）</li> <li>・北里大学メディカルセンター（小児病棟、小児科外来）</li> <li>・院外実習（小児科クリニック、メディカルセンター、相模原療育園など）→新型コロナウイルス感染症の流行状況により変化しうる。</li> </ul>
初回集合場所・時間	本館3F小児科外来カンファレンスルーム 7時50分 時間厳守
その他注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の内容は、フレキシブルに変更可能とする。小児科教育担当者に相談して欲しい。</li> <li>・患者及び家族と接するので、身なりを整え、清潔に留意する。</li> <li>・発熱発疹性疾患、下痢、嘔吐等の消化器疾患を認めた時、実習開始前には教務課、実習中は小児科教育担当者に届け出ること。</li> <li>・心臓カテーテル検査など放射線管理区域に立ち入る実習を行うこともあるため、その際は放射線ガラスバッジを必ず着用すること。</li> <li>・時間厳守を徹底すること。やむを得ない事情により遅れる場合、必ず実習先機関および小児科教育担当者に連絡すること。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の流行状況に伴い、実習などを中止することもありうる。その時の状況に応じて、フレキシブルに対応する。</li> <li>・病棟内や病院内で流行感染症などが発生した場合には、臨時でオンラインを使用した授業形態に適宜変更することがありうる。</li> </ul>

## 慢性期病棟中心コース:

病棟実習	1週目				
	月	火	水	木	金
AM	オリエンテーション	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	一般外来
	土岐	[指定された病棟医の指導のもと、毎日病棟で実習をしてください]			9時大学病院外来
PM	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟
		教授回診 14時から			

病棟実習	2週目				
	月	火	水	木	金
AM	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	一般外来
		[指定された病棟医の指導のもと、毎日病棟で実習をしてください]			9時大学病院外来
PM	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟
		教授回診 14時から			

病棟実習	3週目				
	月	火	水	木	金
AM	あすばら	あすばら	あすばら	あすばら	あすばら
		[指定された病棟医の指導のもと、毎日病棟で実習をしてください]			
PM	あすばら	あすばら	あすばら	あすばら	あすばら
		小児科病棟教授回診 14時から			

- \* 担当患者の評価ができるようになったら、午前中に一般外来の見学も可能。
- \* 実習期間中は常時ひとり以上の患児を選んで担当する。夕方のサインアウトでchiefに評価・指導を受ける。
- \* コロナウイルス感染症の状況により院外実習の有無が変更する可能性あり。

## 急性期病棟中心コース例①

病棟実習	1週目				
	月	火	水	木	金
AM	オリエンテーション	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	一般外来
	土岐	[指定された病棟医の指導のもと、毎日病棟で実習をしてください]			9時大学病院外来
PM	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟
		教授回診 14時から			

病棟実習	2週目				
	月	火	水	木	金
AM	オリエンテーション	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	一般外来
	小児科病棟	[指定された病棟医の指導のもと、毎日病棟で実習をしてください]			9時大学病院外来
PM	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟
		教授回診 14時から			

病棟実習	3週目				
	月	火	水	木	金
AM	PICU	PICU	PICU	PICU	PICU
		[指定された病棟医の指導のもと、毎日病棟で実習をしてください]			
PM	PICU	小児科病棟	PICU	PICU	PICU
		教授回診 14時から			

- \* 病棟実習について2週間で担当患者は1~2人程度 PICUから大部屋に転棟しても担当継続。
- \* 担当患者の評価ができるようになったら、午前中に一般外来の見学も可能。
- \* 実習期間中は常時ひとり以上の患児を選んで担当する。夕方のサインアウトで指導医に評価・指導を受ける。
- \* コロナウイルス感染症の状況により院外実習の有無が変更する可能性あり。

## 急性期病棟中心コース例②

病棟実習	1週目				
	月	火	水	木	金
AM	オリエンテーション	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	一般外来
	土岐	[指定された病棟医の指導のもと、毎日病棟で実習をしてください]			9時大学病院外来
PM	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟
		教授回診 14時から			

病棟実習	2週目				
	月	火	水	木	金
AM	オリエンテーション	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	一般外来
	小児科病棟	[指定された病棟医の指導のもと、毎日病棟で実習をしてください]			9時大学病院外来
PM	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟	小児科病棟
		教授回診 14時から			

病棟実習	3週目				
	月	火	水	木	金
AM	NICU	NICU	NICU	NICU	NICU
		[指定された病棟医の指導のもと、毎日病棟で実習をしてください]			
PM	NICU	小児科病棟	小児科病棟	NICU	NICU
		教授回診 14時から	教授回診 13時から		

- \* 病棟実習について2週間で担当患者は1～2人程度 PICUから大部屋に転棟しても担当継続。
- \* 担当患者の評価ができるようになったら、午前中に一般外来の見学も可能。
- \* 実習期間中は常時ひとり以上の患児を選んで担当する。夕方のサインアウトで指導医に評価・指導を受ける。
- \* コロナウイルス感染症の状況により院外実習の有無が変更する可能性あり。

## 外来中心コース例

病棟実習	1週目				
	月	火	水	木	金
AM	オリエンテーション	小児科病棟			
	土岐	小児科一般外来			
PM	小児科専門外来	小児科専門外来	小児科専門外来	小児科専門外来	発達・予防接種評価
		教授回診14時から			土岐

外来実習(院外)	2週目				
	月	火	水	木	金
AM	小児科病棟				
	小児科一般外来				
PM	小児科専門外来	小児科専門外来	小児科専門外来	小児科専門外来	発達・予防接種評価
		教授回診14時から			土岐

病棟実習	3週目				
	月	火	水	木	金
AM	小児科病棟				
	小児科一般外来				
PM	小児科専門外来	小児科専門外来	小児科専門外来	小児科専門外来	発達・予防接種評価
		教授回診14時から			土岐

- \* 健常児の発達評価と予防接種歴を確認、今後の計画等について金曜日に評価(最低1週間1患者を選ぶ)。
- \* 9時以降に小児科一般外来を見学する予定だが、受け持ち患者の発達評価や特別な検査を見学しても良い。
- \* コロナウイルス感染症の状況により院外実習の有無が変更する可能性あり。

## Public and Community Health (Clinical Clerkship)

科目責任者	堤 明純
教育担当	堤 明純*、引地 博之*、渡辺 和広*、松崎 慶一*、堀口 兵剛*、武藤 剛*、土肥 直樹* (非常勤)
実務経験のある教員	堤 明純ほか： 地域医療および臨床心理の臨床経験、産業医実務経験を踏まえ、地域医療、産業医実務、保健行政の意義・仕組み、予防活動について教授する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：◎ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療：◎ 3. 医学的知識と技術：○ 6. 医療の質と安全： 9. 国際貢献：
授業の目的	<b>【内郷診療所】</b> 地域社会で求められる保健・医療・福祉・介護の機能、体制を踏まえ、地域における医療や保健活動を体験的に学び、地域医療の最前線における各々の現状や連携の必要性について理解を深める。 <b>【相模原市保健所】</b> 地域保健活動の拠点である保健所での実習を通じて、医師だけではなく、歯科医師、獣医師、保健師、薬剤師、管理栄養士などの専門職が連携して、「公衆衛生」が、実際にどのように実践をされているのかについて体験することで、保健所業務への理解を深める。 <b>【産業医実習】</b> 産業医が勤務している事業所を複数訪問し、産業医業務の実務について理解を深める。
教育内容	<b>【内郷診療所】</b> 診療所外来実習には、外来見学（一般外来、健康診断・がん検診、上部消化管内視鏡、腹部エコー）だけではなく、機会があれば、往診見学（緩和ケア、看取り）、学校保健実習（小学校、中学校での健康診断）、要介護認定審査会への出席、等も含まれる。これらの見学を通じて、地域医療を担う医師の幅広い活動の実際を体験する。在宅医療実習では、終日、訪問看護ステーションの看護師に同行し、地域医療の重要な担い手である看護師の視点から、厚生労働省が推進している在宅医療の実際を見学し、体験する。実習場所が遠方（相模原市緑区）であることから、原則、実習期間中（日曜日（前泊）から木曜日まで）、近くの旅館の宿泊となる。そのための、宿泊費、交通費は自己負担となるため注意すること。 <b>【相模原市保健所】</b> 保健所・地域保健実習には、地域保健だけではなく、医事・薬事、生活衛生、食品衛生、疾病対策（感染症対策・難病事業）、生活習慣病対策、介護、母子保健、等が含まれる。単に医師の業務だけではなく、保健所に在籍している他の専門職の業務も体験し、幅広い視点での地域保健を体験する。できるだけ実習者の希望に添ったプログラムとするために、どのような実習を希望するか、事前に簡単な希望事項を提出してもらう。4月（日程未定）に県内の保健所で実習を行う学生を対象に、県下の保健所で一斉に、終日オリエンテーションが行われる予定である。参加を希望し、日程の調整がつくようであれば、実習担当者まで相談のこと。 <b>【産業医実習】</b> 産業医実習では、産業医が勤務している事業所を複数訪問する。その中で、産業医の日常業務である各種面談（長時間労働者面談、高ストレス者面談、健康相談、健康診断後の面談等）、職場巡視、安全衛生委員会への出席、等、産業医業務の多様な実務について体験する。また、複数の産業医と接することにより、専門性によって異なる産業医業務についても体験する。

教育方法	<p><b>【内郷診療所】</b> 診療所外来見学、在宅医療見学、各種会議への参加を主とし、実習で学習、経験した内容を踏まえて、テーマに応じたレポートの作成を通じて、参考文献などを参照し地域医療への理解を深める。</p> <p><b>【相模原市保健所】</b> 各事業の担当者に同行して、活動の様子を見学、体験することを主とし、実習で学習、経験した内容を踏まえて、テーマに応じたレポートの作成を通じて、参考文献などを参照し保健所活動への理解を深める。</p> <p><b>【産業医実習】</b> 産業医に同行して、活動の様子を見学、体験することを主とし、実習で学習、経験した内容を踏まえて、テーマに応じたレポートの作成を通じて、参考文献などを参照し産業医活動への理解を深める。</p>
定員	各期間 1名
準備学習 (予習・復習)	<p><b>【予習】</b> 各テーマの実習前には、下記参考図書を通読し地域保健、産業保健についての概要を把握できるように努める（毎日1時間）。 参考図書： 「臨床医のためのパブリックヘルス」中外医学社（内郷診療所・相模原保健所） 「労働衛生のしおり」中央労働災害防止協会（産業医実習） 両書籍ともに、公衆衛生学単位の研究室に常備されている。</p> <p><b>【復習】</b> 実習期間中その日の実習の振り返りを行い、各テーマのレポート作成に備える（1時間）。各テーマでレポート（各テーマ：1000字程度）を作成し、実習最終日の総括の時に提出すること（総括は提出されたレポートをもとに、口頭試問及び教員から実務経験に基づくコメントを行う）。</p>
到達目標	<p>①わが国の地域医療、地域保健、産業保健の現状、国際保健活動の貢献について、実習で経験した具体的な事例に基づいて、説明できる。</p> <p>②わが国の保健医療政策の課題と、その解決のために必要とされる医系技官に必要な経験や知識について、実習で経験した具体的な事例に基づいて、説明できる。</p>
評価基準	<p>以下のテーマに関するレポートの提出とレポートの内容を踏まえた最終日の討論により判定する（レポート70%、口頭試問30%）。なお、欠席は減点する。</p> <p>レポートの内容は、以下の通りとする。</p> <p><b>【内郷診療所】</b>「地域医療に求められる医師のマインドとスキルを考える」  <b>【相模原市保健所】</b>「保健所における医師の業務と他の専門職の関わり」  <b>【産業医実習】</b>「産業医業務に求められる医師のマインドとスキルとは何か」</p>
初回集合場所・時間	実習実施が決まり次第、改めてオリエンテーションを行う。
実習における注意事項	<p>実習実施が決まり次第、改めてオリエンテーションを行います。</p> <p>内郷診療所は、実習場所が遠方（相模原市緑区）であることから、希望に応じて、実習期間中（日曜日（前泊）から木曜日まで）、近くの旅館の宿泊となります。宿泊費、交通費は自己負担となるため注意してください。</p> <p>実習先との調整によっては、同一施設の2週間の実習に変更となる可能性があります。その際は、できるだけバリエーションに富む実習となるよう配慮します。</p> <p>「内郷診療所」実習においては、相模原市立診療所を含む近隣の診療所と連携した実習を調整し、バリエーションに富む実習となるよう配慮します。</p> <p>相模原赤十字訪問看護ステーションの実習では、コロナ感染症対策として以下の準備をしていただきます：・手洗い後のハンカチ・靴下4足（1日に3～4件の訪問を予定しており、訪問毎に靴下を履き替えます）。必要に応じて、追加指示をします。</p>

## 実習スケジュール表

### 【内郷診療所】

曜日/時間	AM	PM
月	診療所外来実習（土肥所長）	診療所外来実習（土肥所長）
火	診療所外来実習（土肥所長）	診療所外来実習（土肥所長）
水	在宅医療実習 （相模原赤十字訪問看護ステーション）	在宅看護実習 （相模原赤十字訪問看護ステーション）
木	相模原市立診療所	相模原市立診療所
金	診療所外来実習（土肥所長）	診療所外来実習・まとめ（土肥所長）
土		

【備考】本実習は日曜日の前泊を含めて金曜日まで5泊の宿泊を伴う実習としている。診療所近くの宿泊先は紹介するが、食費、交通費、宿泊費は自己負担となることは留意すること。実習期間の調整により、実習期間が2週間に及ぶ場合は、近隣の他診療所と組み合わせた実習になることがある。

### 【相模原市保健所】

曜日/時間	AM	PM
月	保健所・地域保健実習	保健所・地域保健実習
火	保健所・地域保健実習	保健所・地域保健実習
水	保健所・地域保健実習	保健所・地域保健実習
木	保健所・地域保健実習	保健所・地域保健実習
金	保健所・地域保健実習	保健所・地域保健実習

### 【産業保健実習】

曜日/時間	AM	PM
月	産業保健実習	産業保健実習
火	産業保健実習	産業保健実習
水	産業保健実習	産業保健実習
木	産業保健実習	産業保健実習
金	産業保健実習	産業保健実習

	期間	第1週	第2週	第3週
選択実習1	12月4日-12月22日	調整中	調整中	調整中
選択実習2	1月4日-1月19日	調整中	調整中	調整中
選択実習3	1月22日-2月9日	調整中	調整中	調整中
選択実習4	4月1日-4月19日	調整中	調整中	調整中
選択実習5	5月7日-5月24日	調整中	調整中	調整中
選択実習6	5月27日-6月14日	調整中	調整中	調整中

【備考】各実習の最終日（12月22日、1月19日、2月9日、4月19日、5月24日、6月14日）は、レポート作成、実習全体の総括とする。総括は、公衆衛生学教室で実施する。「調整中」については、実習先との日程調整の上、「内郷診療所」「相模原市保健所」「産業実習」が、1週間ずついずれかの組み合わせとなる予定である。最終的なスケジュールは、オリエンテーションの時に説明する。



# 臨床検査診断学実習

実習 M302-CM15

## Laboratory Medicine(Clinical Clerkship)

科目責任者	狩野 有作
教育担当	狩野 有作*・大谷 慎一*・中村 正樹*・正木 嗣人*
実務経験のある教員	担当教員は、大学病院臨床検査部長及び主任医として骨髄像鏡検、免疫電気泳動判読、超音波検査責任医等の臨床検査業務、並びに臨床検査部の精度管理業務を担当している。これらの実務経験に基づき、実践的な臨床検査診断学実習を実施する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：○ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学：◎ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：
授業の目的	①医師として習得すべき検体・生理検査の手技、臨床的意義を学び、適切で効率的な検査診断法を習得する。 ②種々の症例の検査データを解析することにより、病態解析、臨床医学の理解を深める。
定員	4人
教育内容 教育方法	北里大学病院臨床検査部で実地臨床を経験する。臨床検査として重要な検体検査及び生理検査（心電図検査、トレッドミル検査、ホルター心電図、心臓超音波検査、腹部・頸動脈・表在超音波検査等）について実地臨床を経験する。 北里大学病院輸血部で血液型検査、交差適合試験等について実地臨床を経験する。 学生へのフィードバックについては、検査手技の実施直後に行う。
準備学習 (予習・復習)	第5年次臨床検査診断学臨床実習における講義・実習内容を復習し、臨床検査に関する知識を整理する。 各項目につき予習・復習に3時間が必要と考える。
到達目標	(1) 医師として習得すべき臨床検査を実施し、結果を判読できる。 (2) 基本的臨床検査の手技、臨床的意義を理解し、適切で効率的な臨床検査の利用ができる。 (3) 検査データを適切に解釈できる。
評価基準	実習態度 50% 口頭試問 50%
学外実習について	無し
初回集合場所・時間	本館 2F 臨床検査部学生実習室・午前9時
実習における注意事項	患者、医療従事者（臨床検査技師）に対して、誠実な対応を心掛けること。

## 2023年度 臨床検査診断学選択実習予定表

	担当	午前 (9:00~12:00)	担当	午後 (13:00~16:00)
月	正木 (16120)	R-CPC (本館2階学生実習室) 内分泌疾患の免疫および生化学検査、内分泌負荷試験のデータの解釈の仕方を学ぶ。	狩野 (16690)	腹部・頸動脈・表在超音波検査 (本館2階学生実習室) 腹部・頸動脈・表在超音波検査を実施し、検査結果を記載できるようにする。
火		課題研究	西川	薬物血中濃度 (TDM) 検査 (本館2階学生実習室) TDMの臨床的意義について学ぶ。
水	大谷 (16699)	心電図検査 (本館2階学生実習室) 心電図検査を実施し、検査結果を解釈できるようにする。	大谷 (16699)	輸血検査 (本館2階輸血部) 血液型、交差適合試験、不規則抗体検査を実施し、検査結果を解釈できるようにする。
木		課題研究	中村 (16704)	微生物・遺伝子検査 (本館2階学生実習室) 感染症の検査方法を知り、検査結果を正しく解釈できるようにする。
金	狩野 (16690)	腹部・頸動脈・表在超音波検査 (本館2階学生実習室) 腹部・頸動脈・表在超音波検査を実施し、検査結果を記載できるようにする。		課題研究

\*学生は午前9時、午後1時に本館2階臨床検査部学生実習室に集合すること。

# 救命救急医学実習

実習 M302-CM15

## Emergency Medicine(Clinical Clerkship)

科目責任者	浅利 靖
教育担当	北村 遼一*、栗原 祐太郎*、長田 真由子*
実務経験のある教員	浅利 靖ほか： 指導教員は全て大学病院救命救急・災害医療センターでの診療の実務経験があり、心肺蘇生、外傷初期診療、臓器別診療科の枠に囚われない重症患者の初期診療、ドクターカー出動による事故現場での診療や、災害時対応、多数傷病者対応、入院後の重症患者の集中治療管理などを日々、実践している。実習では、5年時の実習で行った心肺蘇生、外傷の初期診療、集中治療室での重症患者の管理のポイントを踏まえた上で、チーム制での診療体制の一員として、各チームに迎え入れ、各チーム病棟医の指導の下、外来での初期診療や集中治療管理について、担当医として、診療に参加して貰う。3次救急よりも重症度は低いものの、common diseaseを中心とした、多数の患者の診察を行う2次輪番病院の当直に、実習として参加して貰う。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：◎ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療：◎ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：◎
授業の目的	緊急度と重症度を判断し、診断と治療を同時に実施する救命救急医療の実際を学ぶため診療チームの一員となり、救命医療とチーム医療について理解する。救命救急外来では、外来診療チームのメンバーとして与えられた役割を担当する。救命救急ICUでは、AチームかBチームのどちらかに所属し、初期研修医、病棟医などと行動を共にし重症患者の呼吸管理、循環管理、体液管理、栄養管理、さらに看護師、薬剤師、栄養士など多職種の専門家とのチーム医療を学び理解する。さらに、3次救急よりも重症度は低いものの、common diseaseを中心とした、多数の患者の診察を行う2次輪番病院の当直に、実習として参加して貰う。又、3週間のうちいずれかの日程で救急車同乗実習を行い（希望者）、プレホスピタルの重要性と現場での安全管理について学び理解する（※）。※新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、中止とせざるを得ない場合がある。
定員	2人
教育内容 教育方法	救命救急・災害医療センターの平素の診療にチームの一員として参加し、診断、鑑別診断を上級医の指導のもと考え、可能な手技は担当して役割を持ちながら救急診療に参加する。救急医、病棟医、初期研修医などから屋根瓦方式で指導を受ける。なお、当直や交代勤務を体験し、医師として患者中心の医療を行うことも学ぶ。さらに、3次救急よりも重症度は低いものの、common diseaseを中心とした、多数の患者の診察を行う2次輪番病院の当直に、実習として参加して貰う。又、3週間のうち1週間は救急車同乗実習を行い、プレホスピタルの重要性と現場での安全管理について学び理解する（※）。※新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、中止とせざるを得ない場合がある。教えることは学習に役立つので、同期間に救急での実習を行う5年次医学生に対して、先輩として指導を行う。 実習全体を通じて、まず自分の考えを述べさせ、実際の診療に参加させ、実際の診療を通じて、最初に述べた見解に対するfeed backを常に行い、この作業を繰り返すことで、臨床医としての成長過程を体験し、知識を経験を通して定着させることを学ばせる。 尚、症例に応じて、救急外来血管造影検査室における、重症外傷などに対するIVR、急性心筋梗塞などに対するPCI、放射線透視装置を利用した各種手技などの際には、放射線管理区域外（操作室や前室）からの見学実習を行うことがあるが、原則として放射線管理区域内での実習は行わない。 学ぶべき内容を以下に示す。 ① 心筋梗塞、脳血管障害、中毒、熱傷、など頻度の多い救急患者の初期診療について学ぶ。 ② 外傷患者の診療についてはFASTなどの侵襲の低い実技を体得したうえで致死性の損傷の鑑別診断を習得する。 ③ 心肺蘇生法BLSについては教えられるようになる。 ④ 重篤患者の呼吸・循環管理・感染症・栄養管理などの全身管理、人工呼吸器・持続的腎代替療法（CRRT）・体外循環（ECMO）等、各種蘇生デバイスについて学ぶ。 ⑤ 災害や多数傷病者発生時の医療体制について学ぶ。 ⑥ 感染管理、清潔不潔の概念、標準予防策などについて学ぶ。

	<p>⑦ 救急医療システム及び救急救命士やメディカルコントロールなどのプレホスピタルについて学ぶ。</p> <p>⑧ 看護師、薬剤師、栄養士など多職種の特任者とのチーム医療を学ぶ</p>
準備学習 (予習・復習)	<p>予習：4年次、5年次に学んだ重症外傷の致死性損傷、心肺蘇生法、中毒の初期診療、災害時の医療体制・トリアージ、我が国の救急医療システムについての基礎知識について復習しておく。(1時間程度)</p> <p>復習：救急外来で診療に携わった頻度の多い救急症例について、教科書を読み、基本的知識を復習する。これにより知識を定着させることができる。また、国家試験の救急医学の過去に出題された問題について救急実習中に目を通す。(30分程度)</p>
到達目標	<p>① 救急診療でのチーム医療の重要性について説明できる。</p> <p>② 外傷診療での標準の手順を実践できる。</p> <p>③ 外傷診療でのFASTを実践できる。</p> <p>④ 心肺蘇生法BLSは指導ができる。</p> <p>⑤ 心肺蘇生に使用する救急医薬品について説明できる。</p> <p>⑥ 重症患者の集中治療管理(呼吸・循環管理、感染症、栄養管理など)について説明できる。</p> <p>⑦ 標準予防策を実践できる。</p> <p>⑧ メディカルコントロールの意義を説明できる。</p> <p>⑨ 災害時、および多数傷病者受入れ時のポイントを説明できる。</p> <p>⑩ チーム医療のポイント・役割・重要性について説明できる。</p>
評価基準	<p>実習態度(20%)、口頭試問(20%)、各チーム病棟医や教育担当者による評価(40%)、2次輪番病院実習担当者による外部評価(20%)などにより総合的に判断する。</p>
実施場所	<p>少なくとも1週間は救命救急・災害医療センターの救命救急外来と救命救急ICUで実習する。また、関連医療機関での2次輪番病院におけるER実習や救急車同乗実習などを行う。</p>
初回集合場所・時間	<p>救命救急・災害医療センター 1階 救命救急センター受付 午前9時30分集合</p>

6年次臨床実習スケジュール:担当 北村、栗原、長田

	午前		午後		
月曜日	9:30～ オリエンテーション (栗原・長田)	10:00～12:00 外来診療、ミニレクチャー (服部)	13:00～16:00 外来診療・ICU管理 (丸木・岡崎)		当直実習 ※
火曜日	8:30～ カンファレンス (丸橋)	10:00～12:00 外来診療、ミニレクチャー (長田)	外傷診療実習の指導 (笠原・秋永)		当直実習 ※
水曜日	8:30～17:00 消防署での救急車同乗実習※ または 2次救急医療機関での外来診療実習※				当直実習 ※
木曜日	8:30～ カンファレンス (丸橋)	10:00～12:00 外来診療、ミニレクチャー (増田)	13:00～16:00 外来診療、CPR実習の指導 (鈴木・高橋)		当直実習 ※
金曜日	8:30～ カンファレンス (栗原)	10:00～12:00 外来診療、ミニレクチャー (北村)	13:00～ ICU管理 (金)	*16:00～ 口頭試問(浅利) *最終週のみ	

※救急車同乗実習、2次救急医療機関での外来実習、当直実習は希望者のみ

(回数や時間は希望に応じて調整可・オリエンテーション時に希望を聴取します。)

その他、上記スケジュールはあくまで一例であり、実際にはオリエンテーションにより個々の希望を聴取し、

希望を最大限反映する形でスケジュールを臨機応変に変更することが可能である。

また、新型コロナウイルス感染症の流行状況次第ではスケジュールが変更されることがある。

# 形成外科・美容外科実習

実習 M302-CM15

## Plastic Surgery(Clinical Clerkship)

科目責任者	武田 啓
教育担当	武田 啓*・根本 充*・柏木 慎也*・杉本 孝之*・熊澤 憲一*・杉本 佳香* 君塚 幸子*・下村 実貴子*・和唐 純平*・田中 瑞希*
実務経験のある教員	武田 啓ほか： 臨床経験を踏まえ、形成外科領域特有の診断および治療法について解説し指導を行う。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：○ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：○ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：○
実習の目的	講義・臨床実習を通じて勉強した知識を実際の臨床の場に反映する。さらに機能的・形態的改善を目指す形成外科学の特徴について理解を深める。医師と患者との人間関係を知ること、医師としての人間形成を養う。
定員	総受入数 学内受入数 ※学外中止者受入数 5人 5人 1人
教育内容 教育方法	スタッフ-レジデント-初期研修医のシステムで診療を行っているため、その一員となって診断や治療に参加する。その中で基本的な医療行為を修得し、今までの知識を整理する。 ①組織移植と創傷治癒の基本について説明できる。 ②皮膚腫瘍における形成外科的治療について説明できる。 ③健康長寿を目指すアンチエイジング医学について説明できる。 ④手の基本的な解剖・機能について説明できる。 ⑤代表的な手外科疾患について説明できる。 ⑥顔面外傷として中顔面・下顔面の各種骨折の病態について説明できる。 ⑦熱傷の診断と治療について説明できる。 ⑧口唇口蓋裂の病態・症候について説明できる。 ⑨当院における口唇口蓋裂の手術治療・チーム医療について説明できる。 ⑩眼瞼の疾患、特に加齢性眼瞼下垂症について眼瞼の解剖を含め治療について説明できる。 提出されたレポートは、教育担当者よりコメントを記入し返却する。
準備学習 (予習・復習)	第4学年時配布の救急・侵襲医療系シラバス（テキスト）の形成外科・美容外科分野に相当する項目を理解しておくこと。 代表的な形成外科疾患（熱傷、顔面骨折、皮膚悪性腫瘍、手外科、口唇口蓋裂、加齢性眼瞼下垂症、等）の治療について説明できるように予習しておくこと。 予習：30分程度 復習：2時間程度
到達目標	・形成外科の扱う疾患について説明できる。 ・創傷治療の基本を概説できる。 ・口唇口蓋裂、皮膚腫瘍外科、などのチーム医療を理解し、説明できる。 ・形成手術の適応について理解できる。 ・形成手術のデザインや計画の立て方が説明できる。
評価基準	実習態度（60%）、レポート等の課題評価（40%）。
初回集合場所・時間	本館 13W 形成外科・美容外科スタッフルーム 7時45分

形成外科・美容外科 6M週間スケジュール表

曜日/時間	AM			12:00	PM		
	7:45	9:00	11:00		13:00	15:00	17:00
月	病棟 (チーフ)	カンファレンス	外来 (武田・熊澤・田中・チーフ)	昼休み	外来・病棟 (武田・熊澤・田中・チーフ)	手術 (杉本孝・杉本佳・君塚)	
火	病棟 (チーフ)	カンファレンス	外来 (下村)	昼休み	回診・カンファレンス (全員)		
水	病棟 (チーフ)	カンファレンス	外来 (杉本孝・杉本佳・君塚・下村・チーフ)	昼休み	外来・病棟 (杉本孝・杉本佳・君塚・下村・チーフ)	手術 (根本・柏木・熊澤・和唐)	
木	病棟 (チーフ)	カンファレンス	外来 (柏木・和唐・田中・チーフ)	昼休み	外来・病棟 (柏木・和唐・田中・チーフ)	手術 (武田・熊澤・杉本佳・下村)	
金	病棟 (チーフ)	カンファレンス	外来 (根本・新美・田中・チーフ)	昼休み	外来・病棟 (根本・新美・田中・チーフ)	手術 (柏木・熊澤)	

( )内は指導者

# 心臓血管外科実習

実習 M302-CM15

## Cardiovascular Surgery(Clinical Clerkship)

科目責任者	宮地 鑑
教育担当	宮地 鑑*・北村 律*・美島 利昭*
実務経験のある教員	宮地 鑑ほか： 臨床経験を踏まえ心臓血管外科手術の周術期管理について概説する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力：○ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術： 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：
授業の目的	心臓血管外科学における実際の臨床現場を体験することにより、外科治療が必要な心臓病並びに胸部・腹部大動脈疾患及び末梢動脈疾患について、診断の進め方・病態の把握・外科的治療法とその適応、周術期管理の実践について学ぶ。
定 員	各期間 計3名
教育内容 教育方法	(1) 各人1名程度の患者を、研修医または病棟医と共に受け持ち、術前検査から手術及び術後管理まで担当する。 (2) 当科では、成人心臓外科チーム、小児心臓外科チーム及び末梢動脈チームに分かれて診療しており、病棟や仕事内容もかなり異なるので、同時に複数のチームの実習は行えない。したがって期間を分けて複数のチームでの実習を行うか、希望によって成人、小児、血管のみ実習することになる。 (3) 実習は原則として北里大学病院で行うが、希望があれば選択実習期間中に他院（心臓血管外科専門施設）における見学実習も可能である。 (4) 希望者には、開心術当日の当直実習も行っている。 放射線管理区域内での実習について： 手術室において、スワンガンツカテーテルの構造と、透視下での挿入の実際を見学し理解する。 フィードバック方法：口頭試問などで評価。
準備学習 (予習・復習)	予習(1時間程度)：5年次の臨床実習における臨床講義・実習の内容を復習する。それによって初めて、見学から参加へと学習内容をレベルアップすることが可能となる。手術にも多く参加するので、手洗い法・清潔操作については、基礎を身に付けておくことが肝要である。 手術症例に関しては、当日朝までに術前検査結果、画像所見を可能な限り暗記し、予定術式の内容と起こり得る合併症を理解しておく。 復習(1時間程度)：見学した手術はなるべく図画で表現できるようにする。不明な点は指導医に質問し、翌日に持ち越さないようにする。教科書などで学習した内容はノートに残す。
到達目標	①心臓血管外科手術の術前画像診断が理解できる。 ②周術期の患者管理について理解できる。 ③手術適応について正しく解説できる。
評価基準	実習レポート(50%)並びに口頭試問(50%)
学外実習について	学外実習を希望する場合は、できるだけ早期に実習担当者に連絡すること。なお、各病院に行く交通費は学生負担である。
初回集合場所・時間	成人心臓チーム・末梢動脈チーム：1号館4N病棟カンファレンス室前 AM 8:00 小児心臓チーム：PICU AM 8:00
実習における注意事項	心臓外科チームの一員になったつもりで、受動的ではなく能動的姿勢で実習に臨むこと。分からないことは不消化のままにせず、何でも指導医に聞くこと。

## 週間スケジュール表

心臓血管外科学

実習教育担当 北村 律

曜日／時間	AM		PM				
	8:00	9:00	11:00	13:00	15:00	17:00	18:00
月	回診・病棟実習 手術実習(成人)			小児術前カンファレンス 手術実習(成人)・術後管理		術後管理及びカンファレンス	
火	総回診(8:15 GICU) 手術実習(小児・血管)			手術実習(小児・血管)・ 術後管理		小児循環器カンファレンス(16:00～) 成人循環器カンファレンス(17:30～)	
水	回診・病棟実習 手術実習(成人)			手術実習(成人)・術後管理		手術症例検討会 手術報告、学会予行など	
木	回診・病棟実習 手術実習(小児・成人)			手術実習(小児・成人)・ 術後管理		術後管理	
金	回診・病棟実習 手術実習(血管)			病棟実習 手術実習(血管)		研究会・講演会など	
土	休み			休み			

【備考】 毎朝 8:30 から本館 2 階心臓血管外科外来カンファレンスルームにて当直報告・手術報告・諸連絡等の申し送りをを行う。

毎火曜日の総回診は 8:15 GICU から開始するので、GICU で待機すること。

毎水曜日 18:00 からの手術症例検討会は本館 3 階臨床講義室 No. 5 で行う。



# 呼吸器外科実習

実習 M302-CM15

## Thoracic Surgery(Clinical Clerkship)

科目責任者	佐藤 之俊
教育担当	佐藤 之俊*・神谷 紀輝*・塩見 和*・三窪 将史*・内藤 雅仁*・園田 大*
実務経験のある教員	佐藤 之俊ほか： 臨床実習を踏まえ、呼吸器外科全体の理解が深まるよう指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：○
授業の目的	臨床現場の実体験を通じ呼吸器外科全体の理解を深める。
定員	各期間ともに2人
教育内容 教育方法	(1) 手術を受ける患者さんの術前からの担当を受持医・主治医とともに行き、術前検査・手術・術後管理・退院指導を担当する。 (2) 指定された課題についてテキストや文献等を参考にまとめ、学会発表形式でプレゼンテーション並びに質疑応答を行う。 (3) 希望者には呼吸器外科専門施設への学外見学実習を行う。(がん研有明病院、聖隷横浜病院など) (4) スケジュールが合えばウェットラボ研修を行う。 (5) 術前検査・手術・術後管理・退院指導それぞれの場面で評価をフィードバックする。 (6) プレゼンテーションについてはその質疑応答で評価をフィードバックする。
準備学習 (予習・復習)	「予習」 ・実習前にテキストを読み(約1時間)、胸部解剖(筋肉、血管、神経)を確認する(約2時間)。 ・パワーポイントを使用したプレゼンテーション方法を確認する(約1時間)。 ・肺癌、縦隔腫瘍、自然気胸、転移性肺腫瘍についての知識をテキスト等を読んで調べておく(約2時間)。 「復習」 ・実習後、経験した呼吸器外科疾患(肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、気胸等)についてテキストの指示された部分に再度目を通す(約1時間)。 ・実習の初日に指定された課題についてパワーポイントを使用したプレゼンテーションを作成し、評価日に発表する(約2時間)。
到達目標	(1) 呼吸器外科系主要疾患の臨床検査(血液検査、胸部エックス線写真、胸部CT、その他画像検査)の基本的な適応と役割を説明でき、診断・読影を正しい手順で行える。 (2) 担当者の指導の下に、カルテ記載を行う(バイタルサイン、症状を確認し記載する)。 (3) 外科的な基本手技(無菌操作、手術時の手洗い、ガウンテクニック、基本的な縫合と抜糸、創の消毒など)実践あるいは補助できる。 (4) 術前・術中・術後管理について概説できる。 (5) 医療安全と感染予防に係る基本事項を概説できる。
評価基準	カルテ作成(15点)、無菌操作・ガウンテクニック・縫合・結紮等の手技(20点)、症例サマリー(15点)、口頭試問(実習最終週に課題についてプレゼンテーションと質疑応答を行う)(50点)。
学外実習について	学外実習可能。希望者は早期に実習担当者に申し出ること。 学会、研究会などへの出席は随時可能か判断する。
初回集合場所・時間	東館5Nカンファレンスルーム・朝8:00
実習における注意事項	患者、医療従事者に対して、社会人としての行動と誠実な対応を心がけること。 より実践的な臨床実習を行うため、系別講義や臨床実習で学んだ知識が要求される。
スケジュール	呼吸器外科のタイムスケジュールは別紙参照。

	7:30	8:00	9:00	16:30	17:00
月		8:00～ 5N-CR 抄読会、チャート 回診	手術見学・病棟実習・小講義 [三窪将史、玉川 達、近藤泰人、園田 大]		
火		8:00～ 5N-CR 術後カンファレンス 回診	手術見学・病棟実習・小講義 [内藤雅仁、玉川 達、近藤泰人、園田 大]	第3火曜日 17:00～18:00 呼吸器外科病理カンファレンス [三窪将史、玉川 達]	
水	7:30～ 5N-CR 呼吸器センターカンファレンス [神谷紀輝、佐藤之俊]		病棟実習・気管支鏡・小講義 [塩見和、玉川 達、近藤泰人、 園田 大]	16:30～ 5N-CR 呼吸器外科術前カンファレンス [佐藤之俊、神谷紀輝、玉川 達、近藤泰人、 園田 大]	
木		8:00～ 5N-CR チャート、回診	手術見学・病棟実習・小講義 [内藤雅仁、玉川 達、近藤泰人、園田 大]		
金		8:00～ 5N-CR 術後カンファレンス、 回診	病棟実習・気管支鏡・小講義 [塩見和、玉川 達]	最終週の PC プレゼンテーショ ンと質疑応答（対面あるいは ZOOM） [佐藤之俊]	

## Neurosurgery (Clinical Clerkship)

科目責任者	隈部 俊宏
教育担当	隈部 俊宏*・佐藤 澄人*・秀 拓一郎*・小泉 寛之*・柴原 一陽*
実務経験のある教員	隈部 俊宏：脳腫瘍治療、特に手術療法の実際を詳細に説明する。 佐藤 澄人：術中モニタリング・機能的定位脳手術の実際を詳細に説明する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：○ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：○
授業の目的	1) これからの医師として必要な脳神経外科の知識を深め、診断診療の実際を習得する。外来で指導者のもと、病歴聴取、診察を行う。 2) 中枢神経系の構造、機能とその病態を理解し、神経学的診察が出来る。 3) 疾患、特に①脳卒中、②中枢および末梢神経系腫瘍、③脊椎・脊髄疾患、④小児・先天奇形、⑤外傷、⑥機能的疾患（パーキンソン病、三叉神経痛、てんかんなど）に対する診断、治療について実習する。特に①②は日本人死亡原因の上位を占める重要な疾患であり、実臨床を通してできるだけ多くの知識を修得する。 4) 研究室において、microsurgeryの基本的な技術を練習する（微小血管吻合術など）。 5) 最先端の technology（例：neuroimaging, neuronavigator, 腫瘍の遺伝子解析、テララーメイド化学療法、神経内視鏡手術、radiosurgery, 覚醒下開頭手術等）を見学し、脳神経外科を理解する。 6) 無症候性疾患（未破裂脳動脈瘤、脳腫瘍など）の自然歴と治療リスクについて推論し、患者への説明事項を概説できる。 7) 医療安全・感染管理について考え、実践する。 8) 手術に参加して脳神経外科の基本手技を体験する。
定員	総受入数 学内受入数 学外受入数 18人 3人/期間 0人
教育内容 教育方法	北里大学病院脳神経外科の病棟、外来、手術室、研究室を中心に指導教員と共に行動する。希望により、救命救急センター脳神経外科グループのカンファレンスや、北里大学メディカルセンター脳神経外科で1週間実習することができる。 将来いずれの診療科に進もうとも、見逃してはならない重要な脳神経疾患など、生涯役に立つ知識及び基本的考え方を修得する。 経験した症例についてプレゼンテーションを行い、教育スタッフがそれに対して講評する。
準備学習	基本的な疾患知識、検査実技等はある程度理解できているものとして実習をすすめる。 神経系の解剖生理については重点的に教育する。 本コース終了時にはCT、MRIなど画像所見がある程度読影できることを1つの目標とする。 予習・復習は各1時間程度行うこと。
評価方法	期間中に経験した症例に関して、学術的内容を考察した内容を口頭とスライドを用いて発表し、それに対して教授を含めた脳神経外科医が複数人で評価する。 1) 実習態度・基本的知識 (30%) 2) 症例検討における思考過程・プレゼンテーション (30%) 3) 症例・学術的考察の発表 (40%)
学外実施について	国内の施設で希望があれば随所で可能であり、相手先との交渉も含めて配慮する。 早めに脳神経外科担当者に連絡すること。原則として費用は自己負担とする。 (1日以上派遣がある場合、①機関名、②施設長承諾の有無、③教育担当者承諾の有無、④教育担当者の教員としての資格の有無、⑤施設との協定の必要性の有無、⑥評価法の確立の有無、⑦費用負担の有無、⑧学生の負担について)
初回集合場所・時間	本館8W病棟カンファレンスルーム 7:15 A.M.

2023 年度 脳神経外科 週間予定表

	7:15	8:00	9:00	12:00	17:00
月	MC 7:15- 8W カンファレンス ルーム	手術 8:00- 総合手術センター			
火		手術 8:00- 脳血管撮影 / 血管内手術	総合手術センター 9:00- IVR センター		
水	勉強会~総回診 7:15- 8W カンファレンスルーム		脳血管撮影 / 血管内手術 9:00- IVR センター		
木		手術 8:00- 総合手術センター			
金	MC 7:15- 8W カンファレンス ルーム	手術 8:00- 総合手術センター			
土					

【備考】MC: Morning Conference

- ① 基本的に研究医に準じたスケジュールで行動する（点滴・カルテ記載等）
- ② 希望に応じてスケジュールの変更可能

## 放射線科実習（画像診断学）

実習 M302-CM15

## Diagnostic Radiology(Clinical Clerkship)

科目責任者	井上 優介
教育担当	井上 優介*・藤井 馨*
実務経験のある教員	井上 優介：臨床医としての経験をもとに、診療現場における画像診断学について実践的な教育を行っている。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：○ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力：○ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：
授業の目的	<p>画像診断は体外から臓器の形態や機能、全身の様々な疾患を明らかにする。機器、情報技術、薬剤の進歩に支えられて急速な発展の途上にあり、臨床医療における役割を増し続けている。診断や治療効果判定にとどまらず、疾患の予知に基づく予防戦略、詳細な病態解析・治療効果予測による個別化医療の実現へと展開している。画像技術の治療応用であるインターベンショナルラジオロジー（IVR）の適用も広がっている。画像診断もIVRも、体の負担の少ない、患者に優しい技術であり、未来型医療の中核となる。</p> <p>本科目では、検査の現場に立って各種画像診断検査法の基礎と実際を学び、画像の成り立ちから安全管理までを理解する。画像判定法および主要疾患の画像所見を学び、診療の現場で自ら画像診断を実践する基礎を修得することを目指す。さらに、画像診断の能力、限界を理解し、安全上の問題も踏まえ、総合診断の中で画像診断を適切に位置づけて検査適応を判断できるようにする。また、IVRの実際と意義を理解する。</p>
定員	選択実習1～4の各期間それぞれ6名 選択実習5,6は受け入れなし
教育内容 教育方法	<p>CT、MRI、核医学検査を中心に、各種画像診断検査の現場において検査方法と安全管理について学ぶ。CT、MRI、核医学検査を中心に、画像診断検査法の原理・方法・問題点を理解し、各種疾患の画像所見を学び、画像判定方法、検査適応の決定法を修得する。実際の診療で撮影されたCTやMRIの画像について自ら読影報告書を作成した上で指導医の添削を受け、臨床医として画像診断を実践するための修練を行う。多くの画像に自らふれることを通して、画像診断の能力や役割についての理解を深める。血管造影、IVRなどの手技についても体験実習を行う。</p> <p>以下に具体的な実習プログラムを記載する。フィードバックは各実習後に速やかに行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 画像診断実習：臨床画像を自ら観察した上で小講義を受け、質疑を行う。読影の方法や主要疾患の画像所見、臨床における画像診断の位置づけを学習する。</li> <li>・ 読影報告書作成実習：自ら臨床症例の画像を読影して報告書を作成する。作成した報告書をもとに指導医の添削および指導を受けて、実践的な読影能力を磨く。</li> <li>・ 検査室実習：各種画像検査について、検査室で検査の実施方法を学習する。希望者は放射線管理区域に入って見学する。</li> <li>・ 検査体験実習：MRIや血管造影・IVRを中心に、検査等の実施について体験的な実習を行う。</li> <li>・ 症例カンファレンス：日々の読影の中の教育的症例、問題症例のカンファレンスに出席する。</li> <li>・ プレゼンテーション：指定された症例について自らプレゼンテーションする。</li> <li>・ 教科書学習支援：準備学習教材「画像診断コンパクトナビ」に準拠して単元毎に学習し、小テストで知識・理解を確認する。</li> </ul>

<p><b>準備学習 (予習・復習)</b></p>	<p>〈予習〉 以下の講義内容を配布資料・ノートで復習する。これらの資料は随時確認できるよう実習にも持参する。 第4学年「画像・検査診断系（放射線科学）」 以下の本を通読する。 画像診断コンパクトナビ 百島祐貴（医学教育出版社） 関心に応じて、以下の本を読む。 「医学生・研修医のための 画像診断リファレンス」山下康行（医学書院） 勘ドコロ シリーズ（メジカルビュー社） できる！画像診断入門シリーズ（羊土社） 「標準放射線医学」第7版（医学書院） 「核医学ノート」久保敦司、木下文雄（金原出版）</p> <p>〈復習〉 学習ノートを作成し、当日中に再読する。疑問点は速やかに教員に質問すること。 1日当たりの準備学習時間は予習と復習を合わせて2時間を目安とする。</p>
<p><b>到達目標</b></p>	<p>(1) CT、MRI、核医学検査の検査方法・安全管理に関わる留意事項を解説できる。 (2) 画像解剖を理解し、主要な臓器・構造を画像上で同定できる。 (3) 代表的な疾患の画像所見を説明できる。 (4) CT、MRIの基本的な読影・診断を正しい手順で行える。 (5) CT、MRI、核医学検査の適応と臨床的における役割を解説できる。 (6) IVRの手技と適応を概説できる。</p>
<p><b>評価基準</b></p>	<p>実習中の質疑および実習態度（40%）、読影報告書（20%）、小テスト（20%）、プレゼンテーション（20%）による。 実習態度は教員およびメディカルスタッフが評価する。</p>
<p><b>実施場所</b></p>	<p>北里大学病院</p>
<p><b>初回集合場所・時間</b></p>	<p>大学病院本館 1F 放射線読影室・9:00</p>
<p><b>実習における注意事項</b></p>	<p>実習全般に言えることであるが、本コースでも自ら学ぶ姿勢が決定的に重要である。学ぶ教材となる画像情報は大量に存在し、有効に使えば後々まで役立つ知識、技能を身につけ、画像診断の楽しさを知ることができる。積極的な取り組みを期待したい。</p>

2023年度医学部6年生放射線科(画像診断)選択実習

第1週

	月	火	水	木	金
8:30~8:45		カンファランス	カンファランス	カンファランス	カンファランス
8:45~9:00			教科書学習		教科書学習
9:00~10:30	ガイダンス等 井上	画像診断実習 腹部 原留	画像診断実習 頭部 浮洲	画像診断実習 胸部 岩崎	画像診断実習 頭部 浮洲
10:30~11:00		小講義	小講義	小講義	小講義
11:00~12:00		読影報告書作成実習 三井	読影報告書作成実習 浮洲	検査室実習 (MRI)	プレゼンテーション
12:00~13:00				MRI体験実習	
13:00~	プレゼンテーション準備等	プレゼンテーション準備等	プレゼンテーション準備等		断層解剖実習ガイダンス プレゼンテーション準備等

第2週

	月	火	水	木	金
8:30~8:45		カンファランス	カンファランス	カンファランス	カンファランス
8:45~9:00		教科書学習			教科書学習
9:00~10:30	画像診断実習 血管 三井	画像診断実習 腹部 原留	画像診断実習 救急 ウッドハムス	画像診断実習 頭部 浮洲	画像診断実習 頭部 浮洲
10:30~11:00	小講義	小講義	小講義	小講義	小講義
11:00~12:00	読影報告書作成実習 岩崎	模擬IVR実習 三井	読影報告書作成実習 浮洲	検査室実習 (CT)	プレゼンテーション
12:00~13:00					
13:00~	プレゼンテーション準備 断層解剖実習等	模擬IVR、プレゼンテー ション準備、断層解剖実習 等	プレゼンテーション準備 断層解剖実習等	プレゼンテーション準備 断層解剖実習等	プレゼンテーション準備 断層解剖実習等

第3週

	月	火	水	木	金
8:30~8:45		カンファランス	カンファランス	カンファランス	カンファランス
8:45~9:00		教科書学習			教科書学習
9:00~10:30	画像診断実習 運動器 藤井	画像診断実習 腹部 原留	画像診断実習 救急 ウッドハムス	画像診断実習 婦人科・泌尿器 岩崎	画像診断実習 核医学 井上
10:30~11:00	小講義	小講義	小講義	小講義	小講義
11:00~12:00	読影報告書作成実習 岩崎	検査室実習 (核医学)	放射線安全実習 井上	検査室実習 (一般撮影)	プレゼンテーション
12:00~13:00					
13:00~	プレゼンテーション準備 断層解剖実習等	プレゼンテーション準備 断層解剖実習等	プレゼンテーション準備 断層解剖実習等	プレゼンテーション準備 断層解剖実習等	

# 放射線科実習（放射線腫瘍学）

実習 M302-CM15

## Radiation Oncology(Clinical Clerkship)

科目責任者	石山 博條
教育担当	石山 博條*・川上 正悟*
実務経験のある教員	石山 博條：病院で放射線治療を実施している。 川上 正悟：病院で放射線治療を実施している。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：○ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：○ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：○
授業の目的	がん診療の基本的な考え方と放射線治療の原理について説明できる。 各種悪性腫瘍に対する放射線治療の適応と標準的な治療法を知る。 がん集学的治療に占める放射線治療の役割を説明できる。
定員	各期間 2名
教育内容 教育方法	1) 外来患者の診察を主体に、悪性腫瘍患者の病歴のとり方、診察のポイント、放射線治療の適応決定から放射線治療計画並びに治療効果の評価法等について実習する。 2) 患者背景因子と予後因子との関連性、各種がんの病態の把握、TNM 病期診断などの進め方についての理解を深める。 3) 各疾患の特徴に関連する課題を通し、治療方針について討議できる。
準備学習 (予習・復習)	以下の本を参考書として薦める。 参考書：やさしくわかる放射線治療学 公益財団法人 日本放射線腫瘍学会（監修） 予習に1時間、復習に1時間が必要。
到達目標	1) 各臓器の悪性腫瘍の特徴（病態、自然史など）を理解し、診療方針を説明できる。 2) 治療方針に関わる病期診断、予後因子ならびに患者背景因子について説明できる。 3) 放射線治療の主な適応疾患を列挙できる。 4) 主な臓器の悪性腫瘍に対する標準治療について概説できる。 5) 主な臓器の悪性腫瘍に対する放射線治療の役割と治療法について説明できる。 6) 治療効果の判定・評価について説明できる。 7) 悪性腫瘍患者の身体所見と病態との関連性を説明できる。
評価基準	1) 課題（50%） 2) 口頭試問（25%） 3) 医師国家試験の過去の関連問題（25%） 日常の学習姿勢を考慮する。
学外実習について	予定はないが、実習期間中の関連学会などの開催状況により学外実習を組み入れることがある。
初回集合場所・時間	本館放射線治療科外来カンファレンス室（地下1階）・午前9時
実習における注意事項	臨床実習に相応しい容姿を心がけ、社会人としての常識を持って行動する。 *診察現場での飲食、携帯電話の使用は厳禁である。 *やむを得ない事情で遅刻、欠席する場合には事前に外来診察室（内線 8452, 8402）まで連絡する。



### 週間スケジュール表(放射線腫瘍学コース)

曜日 / 時間	AM		PM		
	9:00	11:00	12:30	13:00	16:00
月	オリエンテーション (川上)		カンファレンス	放射線治療科外来 (川上)	
火	前立腺癌 SEED 治療 (石山)			前立腺癌 HDR 治療 (北野)	
水	小講義 / 治療計画実習 (川上)			放射線治療科外来 (石山)	
木	婦人科腫瘍治療 (石山・川上)			耳鼻科合同診察 (頭頸部腫瘍) (石山・川上)	
金	放射線治療科外来 (川上)			1 週間のまとめ・質疑応答 (川上)	

【備考】責任者を括弧内に記載したが、各週の状況に応じて適宜変更される。

実際の治療現場を見学する。可能であれば患者を 1～2 名受け持ち、初診時の見学から、治療計画作成・カンファレンスでのプレゼンテーション・治療中の経過観察までの一連の流れを体験する。それとは別に課題を 1 人 1 題出すので、作成の上、実習最終日に提出する。最終日には実習全体についての総括を行う。

# 耳鼻咽喉科・頭頸部外科実習

実習 M302-CM15

## Otolaryngology-Head and Neck Surgery(Clinical Clerkship)

科目責任者	山下 拓
教育担当	山下 拓*・細野 浩史*・宮本 俊輔*・清野 由輩*・松木 崇*・加納 孝一* 大原 卓哉*・堤 翔平*・畠山 香保*・新田 義洋*・田村 昌也*・山本 賢吾*
実務経験のある教員	山下拓・細野浩史・宮本俊輔・清野由輩・松木崇・加納孝一・大原卓哉・堤翔平 畠山香保・新田義洋・田村昌也・山本賢吾： 耳鼻咽喉科・頭頸部外科に関する臨床・研究実績を豊富に有し、各専門分野において臨床上の実務を意識した実習を行っている。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
教育内容	本実習では、先に行った耳鼻咽喉科・頭頸部外科実習の知識を基礎として、耳鼻咽喉科・頭頸部外科に関する検査・手術・外来および入院診療を理解し、患者に共感する心の育成、主要疾患に関する科学的根拠に基づいた診断・治療の進め方について学ぶ。
教育方法	(1) 医療面接・頭頸部診察・基本的診療手技を経験 (2) 受持患者の管理（面接、診察、処置、治療計画、IC、手術助手、退院指導等を含む） (3) 外来診療補助（面接、診察、検査計画、処置、治療計画、IC見学） (4) 耳鼻咽喉科検査補助（内視鏡、咽頭食道造影検査、聴覚平衡覚検査） (5) 手術助手および見学 (6) 担当症例の発表（パワーポイントによるプレゼンテーション） 各実習ごとに個別にフィードバックを行う。
授業の目的	医療人として、適切な医療接遇を身につけるとともに、患者の訴えの聴取法、耳鼻咽喉・頭頸部系疾患の検査、診断、治療の進め方の実際について理解を深める。また耳鼻咽喉・頭頸部系疾患は、五感（聴覚、嗅覚、味覚など）や重要機能（呼吸、音声言語、嚥下など）に関わる分野であり、人が人らしく生きるためのこれら重要な機能を疾患や治療によって失った患者の心情の理解や共感および対処を学ぶことも併せて行う。
到達目標	(1) 社会人としての身なり、ふるまいをし、適切な医療接遇ができる。 (2) 院内感染予防に配慮した行動ができる。 (3) 適切な医療接遇のもとに、病歴や耳鼻咽喉所見（耳・鼻腔・口腔・咽頭・頸部の所見）がとれる。 (4) 耳鼻咽喉科特殊検査の概略を説明できる。 (5) 耳鼻咽喉・頭頸部系の臨床症状および病歴から鑑別診断を挙げることができる。 (6) 主要疾患の診断の進め方、手術を含めた治療方法、疾患・治療に伴う機能障害について述べることができる。 (7) 患者の持つ医学的、社会的、心理的問題点に気づくことができる。 (8) チーム医療を理解し、チームの一員として適切に行動することができる。 (9) 症例についてまとめ、問題点を含めプレゼンテーションできる。
評価基準	(1) プレゼンテーション（50%）、実習態度（50%）を総合的に評価する。 (2) 欠席、遅刻、早退については評価が著しく下がるため、必ず届け出ること。緊急の場合はまず電話連絡すること。
準備学習（予習・復習）	耳鼻・咽喉・口腔系（耳鼻咽喉・頭頸部系診断・治療学）の講義内容を復習し、参考書により耳鼻咽喉科・頭頸部外科学の概要について理解不十分な点について整理してから実習に臨むこと。（2時間） 耳鼻咽喉科・頭頸部外科実習での経験を振り返り、理解不十分なところは整理してから実習に臨むこと。 手術前には手術書、解剖書を見てポイントを整理しておく。 実習中に行った診療、講義内容について復習を行い（2時間/日）、不明点は時をおかず、質問すること。

<b>初 回 集 合 場 所 ・ 時 間</b>	教育担当医へあらかじめ連絡し、確認すること。
<b>定 員 (受入可能人数)</b>	第1期間 7名 第2期間 7名 第3期間 7名 第4期間 7名 第5期間 7名 第6期間 7名
<b>実習における 注 意 事 項</b>	実習前に面接をするので、実習前までに教育担当医に連絡すること。 予習、復習を行うこと。
<b>参 考 書</b>	(1) 学生参考図書 『新耳鼻咽喉科学』切替一郎（南山堂） 『耳鼻咽喉・頭頸部手術アトラス上・下』小松崎篤、他編（医学書院） 『イラスト手術手技のコツ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科』村上泰、他編（東京医学社）

### 週間スケジュール表(例)

		午前	午後	特別プログラム	夜
第1～3週	月	手術見学 OR 外来見学 OR 教授回診	内視鏡検査 OR 補聴器外来 OR 自習	国家試験対策	
	火	手術見学 OR 外来見学	腫瘍外来 OR 自習	耳鼻科内視鏡実習 耳鏡実習	
	水	手術見学 OR 外来見学  KMC	鼻・喉頭外来 OR 自習  KMC	めまいリハビリ見学	
	木	手術見学 OR 外来見学 OR 嚥下回診	嚥下造影検査 OR 難聴外来 OR 自習	聴力検査見学	3週目 カンファレンス
	金	手術見学 OR 外来見学	小児外来 OR 自習	エコー見学 筋電図見学	

各週それぞれ違う担当医師について、実習を行う。担当医師の専門外来やカンファレンスおよび検査の見学を行う。

耳鼻科内視鏡実習・耳鏡実習では学生同士で実習し、また外来見学時に習得した技術で患者診察を行う。

第1週目に経験した症例を、第3週目にパワーポイントにて症例報告をする。

KMC(北里メディカルセンター)での実習も行うことができる。

# 眼科実習

実習 M302-CM15

## Ophthalmology(Clinical Clerkship)

科目責任者	庄司 信行
教育担当	庄司 信行*・龍井 苑子*・横関 祐佳子*
実務経験のある教員	庄司 信行ほか： 同じような疾患に対する治療であっても、経過に応じて異なる対応が必要であることや、そのような治療法に応じて生じる問題点などを臨床経験を踏まえて概説する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：○
授業の目的	1. チーム医療の一員として眼科医としての役割を理解し、良好な関係を築く。 2. 5年生時に習得した知識・手技をさらに定着させる。 3. 一般医として全身疾患と眼疾患の関係・眼科救急疾患の初期対応を理解する。
教育内容 教育方法	当科は5つの班（角膜屈折・白内障・緑内障・網膜硝子体・斜視神経）に分かれている。各班をスケジュール表のように3つのグループに別れ、1週ずつローテーションする。 1. 医療面接 2. 眼科診察 視診（瞳孔・眼球運動・結膜） 簡単な器具を用いる診察（視力・視野・対光反射検査、細隙灯顕微鏡・倒像鏡） 3. 外来診察補助 4. 受け持ち患者の管理 5. 眼科検査補助 6. 手術助手及び見学 7. 救急医療 実習に対する具体的なフィードバック方法：口頭試問で評価
受け入れ人数	各期間4人ずつ
準備学習 (予習・復習)	予習 1. 視覚機能系の資料を復習しておくこと。(1時間程度) 2. 興味のあることがらについては実習時に質問ができるように、事前に参考図書を用いて調べておく。(各1時間程度) 3. 国家試験対策用の問題集を一通り終了させておくこと。 復習 1. 受け持ちをした症例については、文献なども調べてレポートを作成する。
到達目標	眼科診察として眼位、眼球運動、瞳孔反応の評価ができる。 眼科診察として細隙灯顕微鏡を使い前眼部の評価ができる。 眼科診察として眼底写真、蛍光眼底造影検査、OCTの結果の評価ができる。 眼科診察として視野計の結果を評価ができる。
評価基準	実習態度50%・口頭試問50%で評価する。 なお、欠席は減点対象となる。
初回集合場所・時間	本館3F眼科外来カンファレンスルーム・8:45
実習における注意事項	より実践的な眼科学実習を行うので系別総合・臨床実習で学んだ知識を必要とする。
学外研修	選択実習期間中の1日、以下の施設での学外研修を行う（コロナの状況で中止になる可能性あり） 海老名総合病院 東芝林間病院 相模野病院 神奈川歯科大学附属横浜クリニック

# 2023年1月～3月 選択実習スケジュール

月		火		水		木		金	
7:40				MCC 7Eカンファレンスルーム					
8:30									
8:45	切イダンス(外渠カンファレンス)								
9:00	外来見学:問診とり (初診担当医)	緑内障手術(笠原 16535)		白内障手術(高木16531)	9:00～	網膜手術(石川 17236):助手		病棟(チーフ)	
12:00									
13:00		病棟(チーフ)	病棟(チーフ)					病棟(チーフ)	
17:00									
18:00									
7:40				MCC 7Eカンファレンスルーム					
8:30									
8:45									
9:00									
12:00	角膜手術:助手 (円谷 17092)	緑内障手術(笠原 16535)		10:30～11:30 庄司教授外来10番	10:30～11:30	斜視手術(高橋 17125):助手		白習	
13:00									
15:30	病棟(チーフ)	病棟(チーフ)							
17:00						ORT検査オリ13:30～(8429)			
18:00									
7:40				MCC 7Eカンファレンスルーム					
8:30									
8:45									
9:00									
12:00	病棟(チーフ)	緑内障手術(笠原 16535)		9:00～	9:00～	網膜手術(石川 17236):助手		回診(チーフ)7E診察室	
13:00									
17:00	病棟(チーフ)	病棟(チーフ)							
18:00			豚眼実習(ある時はアナウンス)						

MCC担当:チーフ

# 整形外科実習

実習 M302-CM15

## Orthopedics(Clinical Clerkship)

科目責任者	高相 晶士
教育担当	高相 晶士*・内山 勝文*・井上 玄*・中澤 俊之*・宮城 正行*・相川 淳* 見目 智紀*・井村 貴之*・福島 健介*・岩瀬 大*・小沼 賢治*・助川 浩士* 大竹 悠哉*・三村 悠祐*・池田 信介*・庄司 真太郎*
実務経験のある教員	高相 晶士ほか： 机学をふまえ、加えて実際の臨床経験をふまえ整形外科の実務の意義と保存・外科療法について概説する。さらに手術の臨床経験を深くふまえ、手術療法の意義と実際について概説する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力：○ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
授業の目的	整形外科の特徴を理解し、運動器疾患治療体系を参加型実習を通して修得する。 外科系科である整形外科を積極的に実体験することにより理解する。 整形外科の手技、診断、治療方法を修得し、整形外科臨床の実際を学ぶ。 医療世界の実際には整形外科疾患に遭遇することがきわめて多いことを念頭に置き、整形外科疾患の診断・治療を学ぶ。
定員	総受入数：42人 学内受入数：7人
教育内容	スタッフ-病棟医-研修医と共に、入院患者の病歴の聴取、診察、検査に参加し、治療計画の立案を行なう。回診、術前・術後のカンファレンスでのプレゼンテーションを行ない、また手術の助手としても参加する。 授業中に課題を回収したらなるべく早く規範解答を配布する。また可能ならば授業の中で解答を検討することとする。
準備学習(予習・復習)	教科書、及び講義資料を改めて見なおしておくこと。 5年生で行った実習の再整理を行っておくこと。 予習：講義に先立ち、推奨している教科書および大学から配られたテキストに目を通しておくことがのぞましい。 復習：講義後は資料やテキストに再度目を通すこと。 予習・復習あわせて1日あたり2時間の自主学習を要する。
到達目標	(1) 筋・骨格について正しい解剖を理解し解説できる。 (2) 筋・骨格の正しい役割を解説できる。 (3) 筋・骨格の異常を解説できる。 (4) x-p、CT、MRI、核医学検査の適応と診断が正しく行える。 (5) 筋・骨格の疾患の手術適応と保存療法の適応を判断できる。 (6) 骨折・外傷・関節・脊椎手術を説明できる。
評価基準	口頭試問(100%)
学外実施について	教育関連病院にて実習を行う場合がある。各病院に行く交通費は学生負担となる。学会・研究会に参加してもらうことも可能である。
初回集合場所・時間	大学病院 12階E 又は W カンファレンスルーム 7:30
その他注意事項	5年生にて薦めた整形外科の教科書を用い、予習と復習をすることが基本である。

第1週～第3週スケジュール表

曜日／時間	AM			PM				
	7:00	9:00	11:00	13:00	15:00	17:00	18:00	20:00
月		12W集合 外来・病棟実習		病棟実習・検査			病棟実習	
火	手術実習			手術実習			病棟実習	
水	術前・術後 カンファレンス	外来・病棟実習		病棟実習・検査			病棟実習	
木		手術実習		手術実習			病棟実習	
金		手術実習・外来実習		手術実習・外来実習			病棟実習	
土	休み							

Urology(Clinical Clerkship)

科目責任者	岩村 正嗣		
教育担当	岩村 正嗣*・松本 和将*・藤田 哲夫*		
実務経験のある教員	岩村正嗣、松本和将、藤田哲夫： 医学部、大学病院での教育、研究、臨床経験、海外留学の経験を活用し泌尿器科学について教授する。		
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療：◎ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：○		
授業の目的	系別総合、臨床実習で学んだ知識を元に、より実践的な泌尿器科学領域の医療の実践について正しく理解する。 診断に利用される検査法の意義を会得し、各疾患に対応した治療法の選択根拠について説明できる。 さらに、基本的手技について学び、行えるようにする。 KMCでの実習、泌尿器科診療所での実習により一般泌尿器科診療についても広い知識を得る。		
定員(受入可能人数)	各期間それぞれ 4人		
教育内容 教育方法	一般泌尿器科学、泌尿器科腫瘍学、小児泌尿器科学、腎不全・移植外科学を中心に病棟でのベットのサイド教育を受ける。 また手術に参加し、手術方法や周術期管理について学ぶ。 病棟実習として1週間実習する。具体的には、病棟医と1日(月～金)行動を共にする(希望者には移植担当医でも可)。 朝のラウンドや全体回診、処置、外科手技、手術の助手、術前・術後の管理、逆行性腎盂造影など泌尿器科特有の放射線検査について学ぶ。 実習期間のうち、1週間は北里大学メディカルセンター(KMC)での実習にあてる。 残り1週間は、泌尿器科診療所(おおくさ泌尿器・内科クリニック:OC)、スキルスラボでのダビンチシミュレーター、 外来実習、検査見学、病棟実習で担当にならなかった疾患の手術見学とする。最終週に口頭試問を行い実習を振り返る。		
	例	実習概要	学生A・B 学生C・D
	第1週	KMCと病棟実習	KMC 病棟実習
	第2週	KMCと病棟実習	病棟実習 KMC
第3週	見学実習	OC/スキルスラボ	スキルスラボ/OC
準備学習(予習・復習)	〈予習〉 腹部診察 OSCEに習熟するとともに尿路疾患の診断方針を立案できる知識を腎尿路系、診断・治療学の資料から得ておくこと(2時間)。 〈復習〉 担当患者の疾患につき、一般的な病態、診断法、治療法につき学習しておくこと。 担当患者に施行される術式について理解しておくこと(3時間)。		
到達目標	1. 腎尿路系、診断・治療学の知識と5年臨床実習より得た知見を臨床で生かすことができる。 2. 臨床医として立ち振る舞いの端緒を習得し、実践できる。		
評価基準	患者への接し方、カルテ作成、実習態度(大学、KMC、診療所)(25%) 現場(病棟、外来、手術場、検査室)での口頭試問(25%) 手術参加時の外科手技(無菌操作、手洗い、ガウンテクニック等)(25%) レポートの提出内容(25%)		



<b>実施場所</b>	大学病院泌尿器科（東館 6S 病棟、本館泌尿器科外来） KMC 泌尿器科 おおくさ泌尿器・内科クリニック スキルスラボ
<b>初回集合場所・時間</b>	大学病院東館 6S カンファレンスルーム・AM 8:30
<b>実習における注意事項</b>	患者様に対して誠実な対応を心がけること。 身だしなみには注意すること。

第1期間（4名）

臨床実習予定表

2023年 12月 4日		5日		6日		7日		8日	
時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容
8:40~	自己紹介 (88名カンファレンス) 茶席 某急患科、内院963チームまで	8:00~	病棟実習 もしくは KMC実習	7:30~	症例検討会 (西院会議室No.5)	7:30~	抄読会 (本館臨床講義室) 場所：変更なし(事前日に 必ず確認する事	8:00~	病棟実習 もしくは KMC実習
9:00~	病棟実習 各病棟医			8:00~	病棟実習 各病棟医 もしくは KMC実習	8:00~	病棟実習 各病棟医 もしくは KMC実習		
14:00~	オリエンテーション (88名カンファレンス)								
12月 11日		12日		13日		14日		15日	
時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容
8:00~	病棟実習 もしくは KMC実習	8:00~	病棟実習 各病棟医 もしくは KMC実習	7:30~	症例検討会 (西院会議室No.5)	7:30~	抄読会 (本館臨床講義室No.3-No.4) 場所：変更なし(事前日に 必ず確認する事	8:00~	病棟実習 各病棟医 もしくは KMC実習
				8:00~	病棟実習 各病棟医 もしくは KMC実習	8:00~	病棟実習 各病棟医 もしくは KMC実習		
12月 18日		19日		20日		21日		22日	
時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容
8:30~	おおきクリニック実習 もしくは 病棟実習	8:30~	おおきクリニック実習 もしくは 病棟実習	7:30~	症例検討会 (西院会議室No.5)	7:30~	抄読会 (本館臨床講義室No.3-No.4) 場所：変更なし(事前日に 必ず確認する事	8:00~	外来実習 岩村敬授
14:00~	ダビデシミュレーター (病棟実習班) 各病棟医	14:00~	ダビデシミュレーター (病棟実習班) 各病棟医	8:00~	手術見学	8:00~	手術見学 16:00~ 口頭試問 (88名カンファレンス)	13:00~	検査見学 チーフ 症例レポート提出 土曜PM12講義室にて チーフに提出

- オリエンテーション時の集合は時間厳守。遅刻は、評価の観点の対象となります。
- カリキュラムの時間等変更することがあるため毎日、確認すること。
- 学生用PHSで常に連絡可にしておくこと
- 担当教員に無断で手術室から離れると滅点の対象となります。

第2期間（4名）

臨床実習予定表

2023年 1月 1日		2日		3日		4日		5日	
時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容
						7:30~	抄読会 (本館臨床講義室)	9:00~	病棟実習 各病棟医 もしくは KMC実習
						8:40~	自己紹介		
						9:00~	病棟実習 各病棟医 もしくは KMC実習		
						14:00~	オリエンテーション (88名カンファレンス)		
1月 8日		9日		10日		11日		12日	
時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容
		8:00~	病棟実習 各病棟医 もしくは KMC実習	7:30~	症例検討会 (西院会議室No.5)	7:30~	抄読会 (本館臨床講義室No.3-No.4) 場所：変更なし(事前日に 必ず確認する事	8:00~	病棟実習 各病棟医 もしくは KMC実習
				8:00~	病棟実習 各病棟医 もしくは KMC実習	8:00~	病棟実習 各病棟医 もしくは KMC実習		
1月 15日		16日		17日		18日		19日	
時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容
8:30~	おおきクリニック実習 もしくは 病棟実習	8:30~	おおきクリニック実習 もしくは 病棟実習	7:30~	症例検討会 (西院会議室No.5)	7:30~	抄読会 (本館臨床講義室No.3-No.4) 場所：変更なし(事前日に 必ず確認する事	8:00~	外来実習 岩村敬授
14:00~	ダビデシミュレーター (病棟実習班) 各病棟医	14:00~	ダビデシミュレーター (病棟実習班) 各病棟医	8:00~	手術見学	8:00~	手術見学 16:00~ 口頭試問 (88名カンファレンス)	13:00~	検査見学 チーフ 症例レポート提出 土曜PM12講義室にて チーフに提出

- オリエンテーション時の集合は時間厳守。遅刻は、評価の観点の対象となります。
- カリキュラムの時間等変更することがあるため毎日、確認すること。
- 学生用PHSで常に連絡可にしておくこと
- 担当教員に無断で手術室から離れると滅点の対象となります。

第3期間 (4名)

臨床実習予定表

月		火		水		木		金	
1月22日		23日		24日		25日		26日	
時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容
8:40~	自己紹介 (8Sカンファレンス) 某色連絡、内線7663チームまで	8:00~	病棟実習 もしくは KMC実習	7:30~	症例検討会 (西総会議室No.5)	7:30~	抄読会 (本館臨床講義室) 場所: 変更なし(午前) 必ず確認する事		
	チーム		各病棟医		各病棟医		各病棟医		
9:00~	病棟実習 各病棟医			8:00~	病棟実習 各病棟医	8:00~	病棟実習 各病棟医		
14:00~	オリエンテーション (8Sカンファレンス)								
	担当								
1月29日		30日		31日		2月1日		2日	
時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容
8:00~	病棟実習 もしくは KMC実習	8:00~	病棟実習 もしくは KMC実習	7:30~	症例検討会 (西総会議室No.5)	7:30~	抄読会 (本館臨床講義室No.3-No.4) 場所: 変更なし(午前) 必ず確認する事	8:00~	病棟実習 もしくは KMC実習
	各病棟医		各病棟医		各病棟医		各病棟医		各病棟医
				8:00~	病棟実習 もしくは KMC実習	8:00~	病棟実習 もしくは KMC実習		
2月6日		6日		7日		8日		9日	
時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容
		8:30~	おおくクリニック実習 もしくは 病棟実習	7:30~	症例検討会 (西総会議室No.5)	7:30~	抄読会 (本館臨床講義室No.3-No.4) 場所: 変更なし(午前) 必ず確認する事	8:00~	外来実習
			各病棟医		各病棟医		各病棟医		岩村敬視
		14:00~	ダビデンシミュレーター (病棟実習班)	8:00~	手術見学	8:00~	手術見学	13:00~	検査見学
			各病棟医			16:00~	口頭試問 (8Sカンファレンス)		チーム
									症例レポート提出 土曜PM12時までに チームに提出

- オリエンテーション時の集合は時間厳守。遅刻は、評価の観点対象となります。
- カリキュラムの時間等変更することがあるため毎日、確認すること。
- 学生用PCなどで常に連絡がとれておくこと
- 担当教員に無断で手術室から離れると減点の対象になります。

第4期間 (4名)

臨床実習予定表

月		火		水		木		金	
2024年4月1日		2日		3日		4日		5日	
時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容
8:40~	自己紹介 (8Sカンファレンス) 某色連絡、内線7663チームまで	8:00~	病棟実習 もしくは KMC実習	7:30~	症例検討会 (西総会議室No.5)	7:30~	抄読会 (本館臨床講義室) 場所: 変更なし(午前) 必ず確認する事	9:00~	病棟実習 もしくは KMC実習
	チーム		各病棟医		各病棟医		各病棟医		各病棟医
9:00~	病棟実習 各病棟医			8:00~	病棟実習 各病棟医	8:00~	病棟実習 各病棟医		
14:00~	オリエンテーション (8Sカンファレンス)								
	担当								
6日		9日		10日		11日		12日	
時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容
8:00~	病棟実習 もしくは KMC実習	8:00~	病棟実習 もしくは KMC実習	7:30~	症例検討会 (西総会議室No.5)	7:30~	抄読会 (本館臨床講義室No.3-No.4) 場所: 変更なし(午前) 必ず確認する事	8:00~	病棟実習 もしくは KMC実習
	各病棟医		各病棟医		各病棟医		各病棟医		各病棟医
				8:00~	病棟実習 もしくは KMC実習	8:00~	病棟実習 もしくは KMC実習		
15日		16日		17日		18日		19日	
時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容
8:30~	おおくクリニック実習 もしくは 病棟実習	8:30~	おおくクリニック実習 もしくは 病棟実習	7:30~	症例検討会 (西総会議室No.5)	7:30~	抄読会 (本館臨床講義室No.3-No.4) 場所: 変更なし(午前) 必ず確認する事	8:00~	外来実習
	各病棟医		各病棟医		各病棟医		各病棟医		岩村敬視
		14:00~	ダビデンシミュレーター (病棟実習班)	8:00~	手術見学	8:00~	手術見学	13:00~	検査見学
			各病棟医			16:00~	口頭試問 (8Sカンファレンス)		チーム
									症例レポート提出 土曜PM12時までに チームに提出

- オリエンテーション時の集合は時間厳守。遅刻は、評価の観点対象となります。
- カリキュラムの時間等変更することがあるため毎日、確認すること。
- 学生用PCなどで常に連絡がとれておくこと
- 担当教員に無断で手術室から離れると減点の対象になります。

第5期間（4名）

臨床実習予定表

月		火		水		木		金			
5月 4日		7日		8日		9日		10日			
時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容		
		8:40~	自己紹介 (BSカンファレンス) 緊急連絡、内線76637まで チーフ	7:30~	症例検討会 (西総会議室No.5)	7:30~	抄読会 (本館臨床講義室) 場所 変更なし(午前) 必ず確認する事	8:00~	病棟実習 もしくは KMC実習	各病棟	
		9:00~	病棟実習	各病棟	8:00~	病棟実習	各病棟	もしくは	KMC実習		
		14:00~	オリエンテーション (BSカンファレンス) 担当								
18日		14日		15日		16日		17日			
時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容		
8:00~	病棟実習 もしくは KMC実習	8:00~	病棟実習	各病棟	7:30~	症例検討会 (西総会議室No.5)	7:30~	抄読会 (本館臨床講義室NO.3・NO.4) 場所 変更なし(午前) 必ず確認する事	8:00~	病棟実習 もしくは KMC実習	各病棟
				8:00~	病棟実習	各病棟	8:00~	病棟実習	各病棟		
20日		21日		22日		23日		24日			
時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容		
8:30~	おおくクリニック実習 もしくは 病棟実習	8:30~	おおくクリニック実習 もしくは 病棟実習	7:30~	症例検討会 (西総会議室No.5)	7:30~	抄読会 (本館臨床講義室NO.3・NO.4) 場所 変更なし(午前) 必ず確認する事	8:00~	外来実習	岩村敬視	
14:00~	ダビデシミュレーター (病棟実習班) 各病棟	14:00~	ダビデシミュレーター (病棟実習班) 各病棟	8:00~	手術見学	8:00~	手術見学	13:00~	検査見学	チーフ	
						16:00~	口頭試問 (BSカンファレンス) 担当		症例レポート提出 土曜PM12時までに チーフに提出		

- オリエンテーション時の集合は時間厳守。遅刻は、評価の観点対象となります。
- カリキュラムの時間を変更することがあるため曜日、確認をすること。
- 学生用IPHで例年通り練習にておこなうこと
- 担当教員に無断で手術室から離れると減点の対象となります。

第6期間（4名）

臨床実習予定表

月		火		水		木		金			
5月 27日		28日		29日		30日		31日			
時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容		
8:40~	自己紹介 (BSカンファレンス) 緊急連絡、内線76637まで チーフ	8:00~	病棟実習	各病棟	7:30~	症例検討会 (西総会議室No.5)	7:30~	抄読会 (本館臨床講義室) 場所 変更なし(午前) 必ず確認する事	8:00~	病棟実習	各病棟
6月 3日		4日		5日		6日		7日			
時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容		
8:00~	病棟実習	各病棟	8:00~	病棟実習	各病棟	7:30~	抄読会 (本館臨床講義室NO.3・NO.4) 場所 変更なし(午前) 必ず確認する事	8:00~	病棟実習	各病棟	
10日		11日		12日		13日		14日			
時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容	時間	実習内容		
8:30~	おおくクリニック実習 もしくは 病棟実習	8:30~	おおくクリニック実習 もしくは 病棟実習	7:30~	症例検討会 (西総会議室No.5)	7:30~	抄読会 (本館臨床講義室NO.3・NO.4) 場所 変更なし(午前) 必ず確認する事	8:00~	外来実習	岩村敬視	
14:00~	ダビデシミュレーター (病棟実習班) 各病棟	14:00~	ダビデシミュレーター (病棟実習班) 各病棟	8:00~	手術見学	8:00~	手術見学	13:00~	検査見学	チーフ	
						16:00~	口頭試問 (BSカンファレンス) 担当		症例レポート提出 土曜PM12時までに チーフに提出		

- オリエンテーション時の集合は時間厳守。遅刻は、評価の観点対象となります。
- カリキュラムの時間を変更することがあるため曜日、確認をすること。
- 学生用IPHで例年通り練習にておこなうこと
- 担当教員に無断で手術室から離れると減点の対象となります。

## Dermatology (Clinical Clerkship)

科目責任者	天羽 康之
教育担当	天羽 康之*・小原 宏哉*
実務経験のある教員	天羽 康之ほか： 臨床経験を踏まえ、視診・触診を通して皮疹の的確な表現、適切な問診のとり方を教授し、病棟実習では皮膚科特有の軟膏療法、処置法を学び、患者との接し方を指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：○ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：○
授業の目的	皮膚はその構造と機能からみた特異性より身体内外からの影響を受け、様々な病変を呈する。皮膚疾患と全身の関係は密接で、皮膚単独の疾患のみならず、ときに全身疾患の部分症状として、ときに他の内臓病変の結果として生じる皮膚病変があり、“皮膚は全身をあらわす窓”となり得る。一つの皮膚病変をどこまで深く掘り下げて考えられるか、皮膚疾患を理解する中で追求してほしい。
定員	第1期間：3人 第2期間：3人 第3期間：3人 第4期間：3人 第5期間：3人 第6期間：3人
教育内容 教育方法	視診・触診を通して皮疹の的確な表現を学ぶ。皮疹の性状により、適切な問診のとり方を学ぶ。診断に必要な検査法を選択してその手技について学ぶ。皮疹より適切な鑑別疾患を挙げ、診断までのプロセスを組み立てる。病棟実習では創部の消毒・ガーゼ交換や軟膏の外用療法、処置法を学び、患者との接し方、診療録の作成について学ぶ。実習中、他施設での学外実習も予定している。 フィードバック方法：レポートについては実習中に担当医師から説明、解説をします。
準備学習 (予習・復習)	第4学年の講義で学習した皮膚科学の基本的知識や第5学年の臨床講義で学習した実際の皮疹の見方、疾患の考え方を確認する。 更に今まで学んできた皮膚疾患を一層、深く掘り下げて考えられるように、教科書や参考図書、文献などをよく読んで理解を深めておく。 予習・復習として、皮膚科学の参考図書を一読しておくこと。必要時間は約1時間。
参考図書	(1) 教科書 『あたらしい皮膚科学』清水宏（中山書店） 『皮膚科学』上野賢一（金芳堂） (2) 学生参考図書 『実践 皮膚病変のみかた』（監修・編集）西岡清・片山一朗・勝岡憲生・川名誠司・齊藤隆三（日本医師会） 『皮膚病アトラス』西山茂夫（文光堂） …発疹のみかた、疾患の理解のための皮膚科図譜 (3) その他の参考図書 『Textbook of Dermatology』Rook. A. (Blackwell) …英文皮膚科学教科書 『Histopathology of the skin』Lever. W. F. (J. B. Lippincott) …英文皮膚病理学教科書
到達目標	医師として持つべき皮膚科学に対する基本的知識・能力を身につける。
評価基準	【共通評価部分】症例サマリーを含めたレポート（60%） 【当科独自の評価部分】回診時のプレゼンテーションなど（40%）
学外実施について	期間中、一部の実習は座間総合病院皮膚科、タナベ皮膚科医院、浅井皮膚科クリニック（横浜市保土ヶ谷区）等の施設にて学外実習を予定している。
初回集合時間・場所	8:50 本館 3F 皮膚科カンファレンスルーム

## 週間スケジュール表

### 《一週目》病棟実習

曜日／時間	AM		PM	
	9:00	12:00	14:00	17:00
月	病棟実習		第2・4週：病棟回診や褥瘡回診	
火	病棟実習		(A) 光線治療	(B) 外来手術
水	病棟実習		(A) 外来手術	(B) 光線治療
木	病棟実習（教授回診）		病理カンファレンス、臨床カンファレンス	
金	病棟実習		病棟実習・レポート作成	

### 《二週目》学外実習

曜日／時間	AM		PM	
	9:00	12:00	13:00	17:00
月	本病院、数ヶ所の他施設に分かれ、実習		本病院、数ヶ所の他施設に分かれ、実習	
火	本病院、数ヶ所の他施設に分かれ、実習		本病院、数ヶ所の他施設に分かれ、実習	
水	本病院、数ヶ所の他施設に分かれ、実習		本病院、数ヶ所の他施設に分かれ、実習	
木	病棟実習（教授回診）		病理カンファレンス、臨床カンファレンス	
金	本病院、数ヶ所の他施設に分かれ、実習		病棟実習または専門外来	

【備考】 他施設の状況により、学外実習が1週目や3週目となることや、院内実習となることもある。

### 《三週目》外来実習

曜日／時間	AM		PM	
	9:00	12:00	14:00	17:00
月	外来実習		専門外来	
火	外来実習		専門外来	
水	外来実習		専門外来	
木	病棟実習（教授回診）		病理カンファレンス、臨床カンファレンス	
金	外来実習		専門外来	

# 精神科実習

実習 M302-CM15

## Psychiatry(Clinical Clerkship)

科目責任者	稲田 健
教育担当	廣岡 孝陽*・村岡 寛之*・大石 智*・神谷 俊介*・山本 宏明 (KMC) *
実務経験のある教員	担当教員は、精神科スーパー救急病棟、精神科アウトリーチチームを有する大学病院で、精神科急性期治療および慢性期治療、リエゾン精神医学、老年精神医学、司法精神医学、児童精神医学に係る臨床経験、研究、教育（医学部を含む）等の実務経験を活用し、臨床実習を通じて医師として必要な精神医学の知識習得の助けを行う。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：○
授業の目的	選択実習では必修実習で精神科を実習したうえで、さらに実習を希望する者を対象とする。精神科の基本的な枠組み理解を深めること、より専門的な精神医療を実習することを目的とし、実習生の希望を尊重する。例えば、精神科入院および外来患者の診療、精神科リハビリテーション、精神科リエゾン、児童精神科臨床、動物介在療法などについて実習する。
定員	総受入数 12 名 第 1 期間 2 名 第 2 期間 2 名 第 3 期間 2 名 (KMC) 第 4 期間 2 名 第 5 期間 2 名 第 6 期間 2 名 (KMC)
教育内容 教育方法	1) 北里大学病院 リエゾン・精神科（児童） a. リエゾンのチーム医療を体験する。 b. リエゾンの精神科初診を体験する。症例によっては予診をとる。 c. 指導医の面接に同席する。 d. 指導医の指示の範囲で患者と面接をする。 e. 意識障害、症状性精神障害の治療を理解する。 f. リエゾン・コンサルテーション精神医学のクルズズを受ける。 g. 児童精神医学のクルズズを受ける。 h. 精神科（児童）患者の診察を見学する（希望者）。 2) 学内・学外実習精神科病院 a. 学外実習科病院または学内（北里大学病院）の予定に従って実習を行う。 b. 指導医と相談して主要な精神疾患（統合失調症、気分障害、認知症）患者 1 例を担当する。 c. 指導医の指示の範囲で担当患者の診療に参加する。 d. 学内・学外実習精神科病院の診療会議などに参加する。 e. 学内・学外実習精神科病院のリハビリテーションを見学する。
準備学習 (予習・復習)	第 3 学年系統講義（精神系診断・治療学）のテキストを読み復習を行う。(1-2 時間) 第 4 学年精神科実習の臨床講義で扱った内容およびテキストを読み復習を行う。(1-2 時間) 主要疾患についての疑問点や学習したい内容を明確にしておく。 更なる疑問点については、担当教員と討論すること。
到達目標	(1) 精神医学的評価と鑑別を含めた診断ができる。 (2) 他科との連携の実践を経験する。
評価基準	1) 学内・学外実習精神科病院で経験した患者のうち 1 例についてレポートを提出する。 担当患者の精神現象、鑑別診断、治療経過・方針を具体的に記し、医学論文を最低 2 つ引用し、考察として述べること。40% 2) 実習最終日に、担当した 1 症例を発表する（発表 15 分、質疑応答 5 分）。40% 3) 実習態度。20%

<b>初回集合場所・時間</b>	場所：北里大学病院 西館 2H 病棟 出入口付近 エレベーターホール前 時間：午前 8 時 30 分
------------------	---

## 日 程

	月	火	水	木	金
第 1 週	オリエンテーション 学内・外病院実習	学内・外病院実習	学内・外病院実習	学内・外病院実習	学内・外病院実習
第 2 週	学内・外病院実習	学内・外病院実習	学内・外病院実習	学内・外病院実習	学内・外病院実習
第 3 週	病棟/リエゾン実習 [廣岡/稲田]	病棟/リエゾン実習 ケース・カンファレンス または研究会 [廣岡/稲田]	病棟/リエゾン実習/ 外来実習 [廣岡/稲田]	病棟/リエゾン実習/ 外来実習 [廣岡/稲田]	レポート見直し 発表準備/ 評価試験 [廣岡/稲田]

- ※ 初回集合場所は北里大学病院 西館 2H 病棟の出入口付近 エレベーターホール前です。  
学外実習病院への集合ではないため、注意してください。
- ※ 第 3 週火曜日はケース・カンファレンス、研究会が隔週で開催されているため、参加します。  
集合場所：オリエンテーション時にアナウンスします。  
集合時間：ケース・カンファレンス・研究会は 17 時 45 分。
- ※ 最終日は、学内・外病院実習で担当した症例の発表と質疑応答があります。  
集合場所および時間はオリエンテーション時にアナウンスします。

## 学外実習病院

実習病院	指 導 医
北里大学メディカルセンター	山本 宏明 先生
相模ヶ丘病院	澤山 透 先生
鶴が丘ガーデンホスピタル	後藤 晶子 先生

- ※ 普段臨床実習で使用している白衣、上履き、筆記用具などを用意する。



# 麻酔科実習

実習 M302-CM15

## Anesthesiology(Clinical Clerkship)

科目責任者	岡本 浩嗣
教育担当	松田 弘美*・安藤 寿恵*
実務経験のある教員	岡本 浩嗣：臨床経験を踏まえ、麻酔科医の担っている全身管理（呼吸・循環・体液・代謝管理、集中治療や急性・慢性疼痛管理）をまず理解し習得できるよう指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：○ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力：○ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：○ 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：
授業の目的	麻酔科医は手術中の麻酔管理を施行するだけではなく、広く周術期の患者の全身管理すなわち呼吸・循環・体液・代謝管理を担っている。更に、集中治療や急性・慢性疼痛管理を行い、まさしくチーム医療の核として大切な役割を果たしている。このような麻酔科医の視点から全身管理を学ぶことを目的とする。
定員	学内受入数・学外受入数：各期間それぞれ3名
教育内容 教育方法	周術期患者管理、集中治療、痛みの治療をそれぞれの麻酔科医からなる医療チームに参加することを通して、麻酔科医の担っている全身管理をまず理解し習得できることを目指す。基本的な教育方法はベッドサイドでの質疑応答を中心としたオンサイトトレーニングを行うが、必要に応じて座学を追加する。なお、学外実習については、原則として行わない。希望により体験当直があり（学内）、当直業務を通して急性期医療の一端を学ぶ。フィードバックの方法：次の授業で与えられた課題の中での考え方や回答例について検討する。
準備学習 (予習・復習)	いままでに学習した麻酔科の内容、特に呼吸・気道管理、循環管理、痛みの管理、集中治療を予習・復習しておくこと（1時間程度）。
到達目標	①麻酔科医がチーム医療の中で果たす役割を理解し、概説できる。 ②術式に応じた麻酔方法を理解し、概説できる。 ③集中治療を理解し、概説できる。 ④疼痛治療を理解し、概説できる。 ⑤特殊麻酔（小児、心臓、産科等）を理解し、概説できる。
評価基準	評点は積極的な参加は加点対象とし、評価は最終週に行うプレゼンテーションの質（50%）と実習態度等（50%）を考慮した総合評価とする。 講師以上のスタッフが対応・評価する。
初回集合場所・時間	総合手術センター内多目的室 2・7:30AM

週間スケジュール表

曜日/時間	AM	PM	
月	手術室での実習(関田) 3週間のうち1週間は産科麻酔、ペイン、緩和ケア、集中治療での実習	手術室での実習(高橋) 3週間のうち1週間は産科麻酔、ペイン、緩和ケア、集中治療での実習	
火	手術室での実習(松田) 3週間のうち1週間は産科麻酔、ペイン、緩和ケア、集中治療での実習	手術室での実習(安藤) 3週間のうち1週間は産科麻酔、ペイン、緩和ケア、集中治療での実習	
水	手術室での実習(藤田) 3週間のうち1週間は産科麻酔、ペイン、緩和ケア、集中治療での実習	手術室での実習(吉野) 3週間のうち1週間は産科麻酔、ペイン、緩和ケア、集中治療での実習	
木	手術室での実習(金井) 3週間のうち1週間は産科麻酔、ペイン、緩和ケア、集中治療での実習	手術室での実習(日向) 3週間のうち1週間は産科麻酔、ペイン、緩和ケア、集中治療での実習	プレゼンテーション(3週目)(本田)
金	手術室での実習(荒) 3週間のうち1週間は産科麻酔、ペイン、緩和ケア、集中治療での実習	手術室での実習(西澤) 3週間のうち1週間は産科麻酔、ペイン、緩和ケア、集中治療での実習	
土			

【備考】 毎朝 7:45 のカンファレンスから出席してください。(各自、体調管理に気を配ること。)

# 病理実習

実習 M302-CM15

## Clinical Pathology(Clinical Clerkship)

科目責任者	村雲 芳樹・三枝 信
実務責任者	梶田 咲美乃*、梶本 昌孝*
担当者	村雲 芳樹*、三枝 信*、梶田 咲美乃*、一戸 昌明*、柴原 裕紀子*、眞山 到*、梶本 昌孝*
実務経験のある教員	村雲芳樹、三枝信、梶田咲美乃、一戸昌明、柴原裕紀子、眞山到、梶本昌孝 病理診断の臨床経験を踏まえ、治療方針を決定する上での病理診断の重要性を概説する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：◎ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：○
授業の目的	1) 病理解剖、外科手術症例の観察を通して、 <b>患者の病態を総合的にとらえ、問題点を考察する能力を養う。</b> 2) 病理解剖、術中迅速診断、生検診断、細胞診断の過程を理解経験し、 <b>学生として要求される程度の診断能力を得る。</b> 3) 分子病理学的事項を含む <b>臨床病理学的知識を幅広く習得する。</b>
定員	各回 2 人
教育内容 教育方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 学年 BSL (病理学) での実習内容をさらにおし進め、外科病理学を主眼とした実習を行う。具体的には、前日に病理組織標本を鏡し、当日の担当医とともに discussion をしながら病理解剖を行う。</li> <li>・ また、病理組織診断及び細胞診断のミニレクチャーを通じて、病理診断知識を身につける。</li> <li>・ 病理解剖に参加し、臓器処理などの剖検実技を体験する。</li> <li>・ 重要な病気の病理標本を学習し、幅広い病理学的知識を身につける</li> <li>・ 病院内で毎週開催されている定例あるいは拡大 CPC に参加する。</li> <li>・ 医学部研究室で、標本薄切、染色など自分で組織標本を作製したり、病理学的研究を見学する。</li> <li>・ 実習内容のフィードバックは最終日の口頭試問と筆記試験の中で行う。</li> </ul>
準備学習 (予習・復習)	<p>予習 (1 時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 年時の病理学臨床実習テキスト、2 年時の病理学総論テキスト、及び 2・3 年次の系列講義のテキストで、病理の知識の再確認を行っておくこと。</li> </ul> <p>復習 (2 時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習中に学んだ症例の臨床像、病理像について、テキストを読んで理解を深める。</li> </ul>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 主な臓器の癌の所見の取り方、取り扱い規約の基本、進行度、生物学的振る舞いを説明できる。</li> <li>2) 生検診断、細胞診断、術中迅速診断それぞれの目的、長所、限界を説明できる。</li> <li>3) 代表的な疾患について病理学的所見を説明できる。</li> <li>4) 自分で観察した生検・手術検体の病理診断報告書を作成できる。</li> <li>5) 各々の組織の異常がどのような機能障害を惹起し、病態を形成していくのかについて総合的に理解できる。</li> <li>6) 外科病理検体の基本的切り出しから病理標本作製までの過程を説明できる。</li> <li>7) 代表的な特殊染色法について説明できる。</li> <li>8) 免疫組織化学染色、分子病理学的検索の原理・意義を説明できる。</li> <li>9) 病理解剖見学を通じて亡くなった方への適切な配慮と振る舞いができる。</li> <li>10) 病院病理部の業務にかかわる様々な職種について説明できる。</li> <li>11) 病院全体や社会情勢の視点も加えたグローバルな視野での病理検査の重要性について理解できる。</li> <li>12) 検体取り違い防止などの医療安全対策の重要性を理解できる。</li> </ol>

評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習最終日に教員と面談し、評価を行う。(30%)</li> <li>・ 実習期間中、担当教員とのやり取りを通して、到達度、実習態度などを評価する。(30%)</li> <li>・ 最終日に、組織像などについての試験を行う。(40%)</li> </ul>
初回集合場所・時間	本館3階病院病理部学生実習室・初日の午前9時
実習における注意事項	この実習で扱う検体は、実際に現在進行形で診察が行われている患者さんからのものです。その扱い（ガラス標本、個人情報など）には充分注意すること。
病理学週間スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 月曜～金曜を通じて、その日の外科病理診断担当医に付き、標本の鏡検、手術材料の切り出し、術中迅速診断を行う。同時に、担当医の指導の下に、診断報告書記載の練習も行う。</li> <li>2) 病理解剖がある時には、助手として剖検作業に加わる。</li> <li>3) 水曜日朝と木曜日夕方の抄読会、リサーチトークに参加。 火曜日の午後の病理部グロスカンファレンスに参加。 金曜日の研修医CPCや、他科と共催しているカンファレンスにも出席する。</li> <li>4) 学生用に用意された、教育用標本ファイルを学習し、国家試験の準備に役立てる。</li> <li>5) 原則として、実習は17時で終了とする（カンファレンスがあるときはこの限りでない）（スケジュール表も参照のこと）。</li> <li>6) この他、学生の興味・意欲に応じて標本を追加する。</li> </ol>
参考図書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 教科書 『ロビンス 基礎病理学』原書10版 丸善出版 2018 (人体病理について基本的な事項が包括的に記載してある)</li> <li>2) 参考図書 『組織病理アトラス』第6版 文光堂 (臓器別に代表的な疾患の病理所見を豊富な写真とともに解説)</li> <li>3) その他の図書 各種の癌取り扱い規約 金原出版 (各学会が臓器別に、臨床と病理の癌の記載法を決めている。カルテの理解には必須。実習室に常備、図書館にもあり) 『外科病理学』第5版 深山正久 森永正二郎 / 編集主幹 文光堂 (よく見る疾患から稀なものまで、その病理所見が書かれている。卒後の病理の研修には必須。)</li> </ol>

2023年度 5・6年生クリクラ予定表

1週目

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
800					
900	オリエンテーション				
1000	ブローベ	ブローベ	ブローベ	ブローベ	ブローベ
1100					
1200					
1300	切り出し		切り出し	切り出し	切り出し
		グロスカンファ			
1400					
1500	課題時間 (重点標本診る)	課題時間 (重点標本診る)	課題時間 (重点標本診る)	課題時間 (重点標本診る)	課題時間 (重点標本診る)
1600	生検を渡す	生検を渡す	生検を渡す	生検を渡す	生検を渡す
1700					
1800					

2023年度 5・6年生クリクラ予定表

2週目

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
800					
900	プローベ	プローベ	薄切 (医学部5階)	プローベ	プローベ
1000					
1100					
1200	(Hatched area)				
1300	切り出し	切り出し	切り出し	切り出し	切り出し
		グロスカンファ			
1400	プローベ	脳切り(あれば)	HE染色をする (医学部5階)	課題時間 (重点標本診る)	課題時間 (重点標本診る)
1500		包埋(病理部)			
		課題時間 (重点標本診る)			
1600	臓器切りだし VIP説明(病理部)		生検を渡す	生検を渡す	生検を渡す
1700	生検を渡す				
1800					

2023年度 5・6年生クリクラ予定表

3週目

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
800					
900	プローベ	プローベ	プローベ	プローベ	プローベ
1000					
1100					
1200					
1300	切り出し		切り出し	切り出し	切り出し
1400		グロスカンファ			
1500	重点標本 解説	重点標本 解説	重点標本 解説	総括(村雲)	テストと 個々にまとめ
1600	または自習	または自習	または自習		生検を渡す
1700					
1800					

重点標本解説	期間	解説日	担当者
5M 第1クール	12/4-12/22	12/18-12/20	栃本
5M 第2クール	1/4-1/19	1/15-1/17	眞山
5M 第3クール	1/22-2/9	2/5-2/7	柴原
6M 第4クール	4/1-4/19	4/15-4/17	一戸/梶田
6M 第5クール	5/7-5/24	5/20-5/22	気仙(一戸/梶田)
6M 第6クール	5/27-6/14	6/10-/6/12	中川(一戸/梶田)

# 総合診療医学実習

実習 M302-CM15

## General Medicine(Clinical Clerkship)

科目責任者	青山 直善
教育担当	青山 直善*・東野 俊洋*・五野 由佳理*・星山 隆行*・星山 綾子* 岸原 淳*・大畠 康宏*
実務経験のある教員	青山 直善ほか： 地域診療や在宅診療を実際に体験してもらう。また、病院総合診療医として、内科的なあらゆる徴候に対応できるように外来診療を見学してもらい実際にカルテを書いて、プロブレムリストを立案し、どのように解決していくか検討会を実施して解説している。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療：◎ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：○
授業の目的	地域包括ケアシステムを実践する総合診療および大学院としての総合診療の一端を経験し、全人的な臨床医学に必要な知識と技能および患者中心の医療を実践する行動技法を修得する。
定員	各期間に2名までとする。
教育内容 教育方法	教育内容 (1)外来診療にて、医療面接、身体診察（許容範囲内）を実施する。 (2)内科救急指針を念頭においた診療を実施することの意義を概説する。 (3)総合診療病棟で大学病院から地域診療に移行する患者の診療を見学する。 (4)地域診療や在宅診療を介して、地域包括ケアシステムの意義と必要性、高齢者医療の一端を経験し、今後の医療に重要な分野であること、また患者中心の医療を実践する行動技法を概説する。 教育方法 (1)大学病院内科総合外来および学外実習施設の当該外来で、Post-CC-OSCEを意識した医療面接、身体診察（許容範囲内）を実施する。 (2)大学病院総合診療病棟で、地域診療に移行していく患者の診療を経験する。 (3)学外実習にて、地域診療、在宅医療を経験する。 最終日にレポートを提出してもらい、学生と質疑応答を含め検討会を実施して、その中で学生にフィードバックをしている。
準備学習 (予習・復習)	予習：内科学総論、内科各論の講義、臨床実習について総復習しておく。とくに医療面接や身体所見、病態生理については理解しておくとする。スムーズな実習が可能である(2時間)。 復習：外来における一般的な医療面接・身体所見、診断推論（臨床推論）、在宅医療の実践について復習しておく(2時間)。
到達目標	(1) 外来初診患者に、医療面接、身体診察を実施して、臨床推論を念頭においた診療録の作成および検査を含めた診断計画ができるようになる。 (2) 初療における内科救急指針の重要性を述べることができる。 (3) 地域包括ケアシステムの必要性と役割、および患者中心の医療を実践する行動技法の重要性を認識する。
評価基準	実習中の態度（学外実習も含む）、発言、行動（50%）、レポート（50%）を総合的に判断する。欠席は減点する。
初回集合場所・時間	本館1階内科総合外来総合診療部カンファレンスルームに午前8時30分に集合。実習初日から、学外実習を実施する可能性があるため、事前オリエンテーションを適宜実施する。
学外実習	広瀬病院、みその生活支援クリニック、さんりつ皮膚科・在宅クリニック、そうわクリニック、グランハート悠々園にて地域および在宅診療。座間総合病院で外来および病棟実習。まちだ丘の上病院では総合診療について全般的に実習する。



<b>その他 注意事項</b>	携帯する実習器具：聴診器 学外実習では訪問診療に同行、外来、病棟診療を実施するため、施設には遅刻することなく班員全員で向かうこと。また、診療に相応しい服装、見出しなみ、行動をとるよう留意する。
---------------------	---

### 実習スケジュール

	月	火	水	木	金
1週目	*午前9時00分: オリエンテーション 大学病院内科総合外来	座間総合病院 総合診療科	大学病院	座間総合病院 総合診療科	そうわクリニック
2週目	広瀬病院	そうわクリニック	みその生活支援 クリニック	まちだ丘の上病院	まちだ丘の上病院
3週目	大学病院	さんりつ皮膚科・在宅 クリニック 大学病院	グランハート悠々園	さんりつ皮膚科・在宅 クリニック 大学病院	大学病院

## Legal Medicine(Clinical Clerkship)

科目責任者	佐藤 文子
教育担当	佐藤 文子*・入江 渉*
実務経験のある教員	佐藤 文子ほか： 実務経験を基に法医学解剖の方法、死体現象より死後経過時間を導き出す方法、死体検案書の書き方について指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学：◎ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：◎ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：○
授業の目的	医師が臨床の現場に出た際に、法医学的な診断法、法医学的な見方が必要となることが少なくない。たとえば、内因性急死の診断、異状死体の届け出義務、死体検案書の書き方、創傷を巡って的法的問題などである。法医学解剖における肉眼的所見、組織学的所見の取り方、諸検査（アルコール検査・薬毒物検査など）の方法、検査を行う意義について学ぶ。外因死事例（交通事故死、労働災害死など）では、創傷を巡る社会的側面について勉強すると共に、創傷所見の記載のしかたを学習する。実際の法医学解剖事例に立ち会い、死体検案書の書き方、死因の種類、死後経過時間、死亡推定時刻の判定方法を体験する。
教育内容 教育方法	法医学解剖に立ち会い、法医学解剖の方法、死体現象より死後経過時間を導き出す方法、死体検案書の書き方について学習する。 実習の終了までに、経験した法医学解剖例について、レポートを作成し、学習した成果についてプレゼンテーションを行う。 プレゼンテーション内容についての質疑応答を通し、理解度の確認・評価を行う。また同時に実習全般の総評を行う。
準備学習 (予習・復習)	予習：第4学年で学習した法医学の教科書・講義資料等を再読しておくこと（1時間）。 復習：自分が経験した法医学解剖例について、第4学年で学習した法医学の教科書・講義資料等にて復習を行うこと（2時間）。
到達目標	1. 法医学解剖に立ち会い、法医学解剖の意義を学び、手順を説明できる。ご遺体に対して畏敬の念を持って解剖、検案に立ち会うことができる。知り得た個人情報を外に漏らさない。 2. 実際の法医学検案事例、死後経過時間の推定方法、法医学的診断方法を学び、死体検案書の作成の仕方を説明できる。 3. 病理組織標本作成の過程を学び、その意義について説明できる。 4. 病理組織標本を鏡検し、所見の取り方を学習する。 5. 学生が自ら立ち会った法医学解剖例について学習し、死因について考察することができる。 6. 担当症例の病態と関連する文献を検索し、理解を深めることができる。医師やスタッフとコミュニケーションをとり、疑問点を解決することができる。 7. 解剖例から学習したことを、わかりやすくプレゼンテーションできる。
評価基準	実習中の学ぶ姿勢（40%）、レポート（20%）及びプレゼンテーションの内容（40%）にて総合的に評価を行う。
定員	第1期間：2名 第2期間：2名 第3期間：2名 第4期間：2名 第5期間：2名 第6期間：0名
その他 注意事項	実習日は、午前8時50分までに、M3号館1階の法医学解剖室に集合すること。 神奈川県中央地区の異状死体を扱うため、守秘義務を厳守すること。 やむを得ない理由にて、遅刻・欠席をする場合は、法医学解剖室に事前に連絡をすること（042-778-8744）。
参考図書	『標準法医学』第8版 池田典昭、木下博之 編（医学書院） 『法医学』改訂4版 福島弘文 監修（南山堂） 『新訂 死体の視かた』渡辺博司、齋藤一之 著（東京法令出版）

曜日／時間	午前	午後
月	検案解剖見学 佐藤	検案解剖見学 佐藤
火	検案解剖見学 入江	検案解剖見学 入江
水	検案解剖見学 佐藤 (or入江)	検案解剖見学 佐藤 (or入江) ・落合
木	検案解剖見学 佐藤・落合	検案解剖見学 佐藤・落合
金	検案解剖見学 入江・佐々木	検案解剖見学 入江・佐々木

\*第1週午前8時50分より、オリエンテーションを行う。

\*第2-3週の空いている時間に、切り出し、検鏡、症例のまとめ等を行う。

\*第3週の木曜or金曜日に症例のプレゼンテーションを行う。

\*検案解剖見学は佐藤もしくは入江が指導を行う。

Oriental Medicine(Clinical Clerkship)

教育指導責任者	星野 卓之*
教育担当	伊東 秀憲*
実務経験のある教員	星野 卓之ほか： 日本東洋医学会認定漢方専門医などとしての臨床経験を踏まえて、漢方治療の実際、鍼灸治療の実際、生薬調剤、生薬管理などについて実習を行う。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療： 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：○ 6. 医療の質と安全： 9. 国際貢献：
授業の目的	漢方医学（漢方薬、鍼灸）の理解と診療体験 現在、医師の約9割が日常診療に漢方薬を使用している。 また、鍼灸治療は腰痛・膝痛・肩こりなどの治療手段のひとつとして幅広く普及している。 したがって将来医師となった時のために、学生時代に漢方や鍼灸の基本を理解し、診療体験をしておくことは大変有意義である。 北里大学には東洋医学総合研究所・漢方鍼灸治療センターがあることから、学生時代に漢方や鍼灸を体験学習できる環境にある。 本格的な漢方医学を体験することで漢方や鍼灸の適応を理解し、将来医師となった時にこれらを治療の選択肢として考慮しうるようになることを教育目標とする。
受け入れ期間と人数	選択実習1（第1期間）：1名 選択実習2（第2期間）：1名 選択実習3（第3期間）：1名 選択実習4（第4期間）：1名 選択実習5（第5期間）：1名 選択実習6（第6期間）：1名
準備学習（予習・復習）	予習：第2学年もしくは第3学年で受けた東洋医学講義の復習をしておく（1時間）。 復習：discussionにおける質疑応答内容などを踏まえて、西洋医学と対比した東洋医学の特質を整理する（1時間）。
教育内容 教育方法	【教育内容】 漢方外来では、患者の症状や症候、漢方独自の疾病概念に基づく診断のプロセスを学習する。 また鍼灸外来では、鍼灸治療の適応疾患と治療法について学習する。 薬剤部では漢方治療に用いられる生薬の種類や品質管理・調剤・服用法などを体験学習する。 【教育方法】 ・ 漢方外来見学を主とし、カンファレンス、勉強会に参加する。 ・ 腹診DVDやシミュレーターなどから、腹診手技を学ぶとともに所見についての理解を深める。 ・ 図書室の利用、DVDより知識を深める。カルテから処方に至る考え方を学ぶ。 また、随時修学の理解度をチェックしていく。 フィードバック方法：実習期間中に頻回にdiscussionの機会を設け、学生からの質問に対する回答、学生の考え方へのコメントを通じたフィードバックを行なう。
到達目標	1. 漢方医学の特質を理解するために、「証」の考え方について学び、西洋医学との違いを理解できるようにする。 2. 医療現場で漢方薬を処方するときに備え、代表的な漢方方剤の効能・効果が理解できるようにする。 3. 鍼灸医学の特質を理解するために、鍼灸治療の適応と基本的な効能が理解できるようにする。 4. 漢方薬の特徴を理解するため、生薬と漢方薬の関係、主な生薬の効能や副作用を理解できるようにする。

評価基準	教育指導責任者と漢方医学の必要性・特徴について discussion を行う：25% 実習期間中に指導者から指示された1症例につき症例サマリーを作成する：25% 症例サマリーを発表し、東洋医学総合研究所の医師と漢方医学的観点からの discussion を行う：50%
初回集合場所・時間	集合場所：白金キャンパス アネックス棟2階 東洋医学総合研究所・漢方鍼灸治療センター管理事務室（もしくは1階総合受付） 集合時間：午前8:30
実習における注意事項	身だしなみに注意、清潔な白衣を着用。 実習中（外来陪席中）電子辞書・パソコン・スマートフォン等は原則使用禁止。
その他注意点	漢方鍼灸治療センターは2023年度4月より北里研究所の一部門に改組されることになっており、更に2023年度中に月曜終日休・土曜終日外来となる可能性がある。その場合には実習日は火曜～土曜となる。

### 予定スケジュール

第1週	午前	午後
月曜日	オリエンテーション・腹診ビデオ視聴	古典講義（星野）、生薬講義（緒方） 新患検討会
火曜日	外来陪席（森）	外来陪席（鈴木）
水曜日	臨床研講義（日向）	外来陪席（星野）
木曜日	センター長外来陪席	センター長外来陪席
金曜日	センター長外来陪席	発表原稿作成

第2週	午前	午後
月曜日	DVD 視聴（東洋医学セミナー）	古典講義（星野）、EBM 講義（若杉）、 新患検討会
火曜日	外来陪席（森）	外来陪席（伊藤剛）
水曜日	臨床研講義（伊藤直樹）	鍼灸外来（川鍋）
木曜日	鍼灸外来陪席	センター長外来陪席
金曜日	センター長外来陪席	発表原稿作成

第3週	午前	午後
月曜日	発表原稿チェック	鍼灸講義（伊東）、EBM 講義（関根）、 新患検討会
火曜日	外来陪席（森）	外来陪席（鈴木）
水曜日	臨床研講義（遠藤）	鍼灸外来陪席（伊東）
木曜日	センター長外来陪席	センター長外来陪席
金曜日	発表準備	症例発表・質疑応答

# 臨床解剖学実習

実習 M302-CM15

## Clinical Anatomy (Clinical Clerkship)

科目責任者	助川 浩士
教育担当	助川 浩士*
実務経験のある教員	助川 浩士 臨床経験を踏まえ、手術手技、検査手技について概説する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力：○ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：
授業の目的	第2学年に行った解剖学実習をさらに発展させて、病気や障害の病態解明を目的とした解剖、手術や検査など臨床の手技に必要な解剖を行い医師になるための準備を行う。また、臨床解剖実習を通じて医療安全の理解を深める。
受け入れ期間と人数	期間：3期間（原則 解剖学実習と同期間） 定員：各期間2名まで
準備学習（予習・復習）	担当教員とテーマを協議し、テーマに沿って教科書、手術手技書、和論文、英語論文で調べ準備する（1時間）。実習期間内にも準備学習の時間を設ける。行った実習についてスライド作成、レポート作成を行いまとめと復習とする（1時間）。
教育内容 教育方法	1) 新鮮凍結屍体、ホルマリン固定屍体、その他の固定屍体を使用し、病気や障害の病態解明を目的とした解剖、手術や検査を施行するにあたり必要な解剖を行う。 2) 担当教員とテーマを設定し、その内容を教科書、手術手技書、和論文、英語論文などで調べ、解剖の計画を立てる。 3) 計画に沿って解剖を行い、病態解明の考察、手術、検査における安全性・問題点を検討する。 4) 手術中と同じ手法で、神経や血管の剥離、神経縫合、腱縫合、骨接合術を実際に行う。 5) 参考になる実際の手術があれば、手術（整形外科に限る）に参加・見学する。 6) 大学院生の研究の助手を行い、基礎研究を体験する。 7) 実習成果をレポートの提出、プレゼンテーション、口頭試問などで評価を受ける。 次回の実習で作成しているスライドやレポートを確認・コメント・修正し、フィードバックを行う。
到達目標	臨床解剖を通じて病気や障害の病態解明に迫る。 臨床解剖を通じて手術や検査手技を習得し、安全性や危険性を理解する。 新規術式や検査方法を模索する。 第2学年で行った系統解剖の理解を深める。 医療事故がなぜ起こるのかを臨床解剖を通じて理解する。 解剖計画を立て、実行できる能力を身に付ける。
評価基準	実習態度 50% レポート プレゼンテーション 口頭試問 50%（実習内容によって決定する。）
初回集合場所・時間	解剖実習室内（北里 Clinical Anatomy Lab.）
実習における注意事項	ご遺体に対する倫理事項が遵守できること。 新鮮凍結屍体を使用する場合は、解剖に適した筋・骨・関節・神経の解剖を主に行う。消化器、肺実質や眼表面など解剖に適さない部位もある。その場合はホルマリン固定屍体の使用させていただく。 臨床医、大学院生も使用させて頂く場合があるので、解剖部位やテーマが変更になることがある。

## 臨床解剖学 選択実習 週間予定

### 1週目

	午前 (9:00～)	午後 (13:00～)
月	ガイダンス	臨床解剖実習
火	課題の整理と予習	解剖学実習の見学・参加
水	課題の整理と予習・スライド作成	
木	課題の整理と予習	臨床解剖実習 (手術参加・見学)
金	課題の整理と予習	臨床解剖実習

### 2週目

	午前 (9:00～)	午後 (13:00～)
月	課題の整理と予習	臨床解剖実習
火	課題の整理と予習	解剖学実習の見学・参加
水	課題の整理と予習・スライド作成	
木	課題の整理と予習	臨床解剖実習 (手術参加・見学)
金	課題の整理と予習	臨床解剖実習

### 3週目

	午前 (9:00～)	午後 (13:00～)
月	課題の整理と予習	臨床解剖実習
火	課題の整理と予習	解剖学実習の見学・参加
水	課題の整理と予習	スライド作成
木	課題の整理と予習	臨床解剖実習 (手術参加・見学)
金	課題の整理と予習	プレゼンテーション (実習最終日)

# 臨床実習 (KMC) 循環器内科

実習 M302-CM15

## Clinical Clerkship(KMC)

科目責任者	阿古 潤哉
教育担当	阿古 潤哉*・佐藤 大輔*
実務経験のある教員	阿古 潤哉・佐藤 大輔： 実務経験を基に各専門領域について診療参加型臨床実習により指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
教育内容 教育方法	患者診察方法から始まる診断学、その診断からの確定診断に至るための検査計画と検査結果の解釈、その最終診断から治療計画を立て、退院後の生活習慣指導までを実習を通して学習する。授業形態は基本的に実習を主体とする。実習が不可能な場合に限り講義、演習で代用する。 循環器診断および治療に欠かせないカテーテル検査・治療症例は循環器内科に頻繁に求められる冠動脈形成術、四肢動脈形成術、電気生理検査およびアブレーション、ペースメーカー植え込み等を見学実習する。見学実習中、適宜担当医師より口頭試問し振り返りとフィードバックを行う。 ①緊急搬入から救急センターでの初期診断、カテーテル検査から治療、集中治療室管理、心臓リハビリテーション、生理検査室、薬剤部、栄養科まで患者教育を経て退院に至るまで、場合によっては病診連携室を通じて、社会的要因の追求とバックアップ体制まで、循環器内科学を通して、地域医療について循環器チームと共に実習する。 ②毎朝の症例検討会、シネアンギオ検討会、回診を通じて、担当外の症例についても循環器疾患の診断と入院加療について担当医と共に実習する。 ③希望者には夜間緊急コールや緊急カテーテル検査の際、オンコール実習を行う。 ④当院の特徴である動物介在療法を見学し、循環器診療にどのように関わっているか実習する。
受入れ人数	2名まで
準備学習	臨床実習における講義・実習の内容を復習し、循環器疾患の理解を深めておく。おおむね予習と復習に1時間程度を要する。
到達目標	当院の循環器内科は鴻巣北本桶川地域医療機関と密接な関係をもち、近隣家庭医からの紹介患者を、一次、二次、三次救急の区別なく受け入れ、適切なトリアージを行っている。当院での実習を通じて、リアルワールドで循環器内科医がどのように活躍し、地域医療に貢献しているのかを理解できる。
評価方法	日々の実習姿勢の評価および必要に応じて実習レポートや口頭試問での評価 評価割合：日常発言および実習態度 100%
学外実習について	学外実習は担当症例にも左右されるが、場合によっては緊急搬送など他院に赴き、バイパス手術やアブレーション等を見学して学習する。 また、近隣都市で有名教授の講演会や症例検討会が催される際は帯同する。
初回集合場所・時間	8時30分 5B病棟検診会室集合 初日は9時00分 南館2階 人事課
実習における注意事項	当科の特徴は、患者がまず受診をする実地開業医から始まり、救急科、生理検査室、放射線科、集中治療室、ハートセンター外来、心臓リハビリテーションなど、他のメディカルスタッフとのシームレスな医療連携です。循環器の患者をより速く良くするために、北里の病院において質の高い循環器治療を行うために、皆と協力して治療にあたっています。お互いにリスペクトを忘れずに、忙しい中にも笑顔とあいさつを欠かさずに実習してください。



【週間スケジュール表】

曜日/時間	8:30~	9:30~	13:30 ~ 17:00
月	朝会 回診	外来実習（佐藤大輔）	EPS/救急外来（佐藤大輔）
火	朝会 回診	カテーテル検査（佐藤大輔）	カテーテル検査・治療（佐藤大輔）
水	朝会 回診	外来実習（佐藤大輔）	ペースメーカー外来（佐藤大輔）
木	朝会 回診	生理検査実習（藤井）	救急外来（加藤彩美）
金	朝会 回診	外来実習（加藤彩美）	救急外来（加藤彩美）
土	休み		

\* 毎朝 8:30 より5B 病棟カンファレンスルームにて朝会、当直報告、シネアングリオカンファレンス等施行後に回診を行う。

\* 火曜はカテーテル室で実習

\* 木曜日は生理検査室にて、心電図、ABI、頸動脈&心臓エコーの実習です。経食道エコーも適宜見学してもらいます。

\* 救急車搬入時には適宜、研修医とともに救急外来に赴き、心臓救急について実習する。

# 臨床実習 (KMC) 腎臓内科

実習 M302-CM15

## Clinical Clerkship(KMC)

科目責任者	竹内 康雄
教育担当	竹内 康雄*・長場 泰*
実務経験のある教員	竹内 康雄・長場 泰： 実務経験を基に各専門領域について診療参加型臨床実習により指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
教育内容 教育方法	①腎臓内科の選択実習3週間の内、1週間をKMC腎臓内科にて実習を行う。 ②外来診療から入院診療までの一連の医療行為を指導医とともに。地域支援病院であるため専門にとらわれない一次～二次救急診療も実習に含まれる。 ③フィードバック：講義中に質問を受けつけ解決する。小テストは同日に模範解答を提示する。
受入れ人数	2名
準備学習	内科診療に必要な知識技術の復習。基本的には他の内科実習と同じ。 予習：尿路系テキスト内容の再確認、医療記録の記載方法を事前に習得しておく。30分程度。 復習：経験した各症例に対し臨床的考察を試みる。30分程度。
到達目標	腎臓内科の医療チームの一員として、基本的な知識に基づいて実践的な診断治療を経験し、本当に使える知識技術を習得できる。
評価方法	指導医および医療チームによる多面的評価を行い、本院実習と合わせ総合評価。 評価：講義および試問 60%、小テスト 20%、症例プレゼンテーション 20%
学外実習について	学内他診療科や近隣施設の見学希望があれば可能です。
初回集合場所・時間	初日 9:00 KMC病院2階 事務室総務課。 2日目を降、9:00 腎センター。
実習における注意事項	KMCと相模原間は連絡シャトルバスあり。病院付属宿舎利用可能。

### 【週間スケジュール表】

曜日/時間	AM	PM
	9:00~12:00	13:00~17:00
月	腎センター（長場泰、島田芳隆）	病棟実習（長場泰） 内科合同カンファ（長場泰）
火	腎センター（長場泰、島田芳隆）	病棟実習（長場泰）
水	腎生検（長場泰、島田芳隆）	回診（長場泰）
木	外来実習（長場泰、島田芳隆）	病棟実習（長場泰）
金	外来実習（長場泰、島田芳隆）	病棟実習（長場泰）

# 臨床実習 (KMC) 外科

実習 M302-CM15

## Clinical Clerkship(KMC)

科目責任者	比企 直樹
教育担当	比企 直樹*・海津 貴史*
実務経験のある教員	比企 直樹・海津 貴史： 実務経験を基に各専門領域について診療参加型臨床実習により指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
教育内容 教育方法	1) 病棟主治医・受持医と共に患者を受持ち、問診・診察・処置を実践し、毎朝のチャートカンファレンスでプレゼンテーションを行う。 2) 診断・手術に必要な問診・身体所見・検査結果に関して、その必要性和内容を理解し、治療方針決定につなげる。 3) 外科、消化器内科、放射線科等との合同カンファレンス(カンサーボード)に参加する。 4) 手術前カンファレンス等で、受持患者のプレゼンテーションを行う。 5) 手術に参加し、手術手順、清潔操作、切開・剥離・止血・縫合などの操作の実際を理解し実践する。 6) 切除検体の取扱い、病理診断の実際を病理部において学習する。(病理部との共同教育内容*1)。 7) 外科検体を使用した臨床研究の実際、および癌診断に関する特殊検査をバイオメディカル棟で見学する(研究センターとの共同教育内容*2)。 8) 術後の全身管理、輸液・鎮痛剤等の指示、観察項目、合併症とその対応など、それぞれを理解し実践する。 9) 術後の病理結果から、その後の方針に関して計画をたてる。 10) 地域医療支援病院ならではの、緊急手術患者に対する、外来診察→診断→手術決定と術前管理→手術→術後管理等の一連の過程を受持医と共に実践する。 11) 受持患者およびその疾患についてのレポートと感想を作成し提出する。 緩和ケアチーム回診、病院内多職種によるチーム医療等に参加する*3)。 ：上記の各実習ごとにその場で個別にフィードバックを行い、解答へ到達とその理解につなげる。
受入れ人数	各期間のうち中間の1週間、各1～2名(大学外科の一部としての選択ローテーション)
準備学習	1) 予習：4年生迄の外科講義内容：術前・術後管理、外科疾患の診断・治療等の知識の確認・復習しておく。さらに4年生迄に経験した外科実習内容：病棟実習、手術室実習等の内容も復習しておく。特に診察、静脈採血、手洗い、ガウンテクニック、導尿、縫合など。 2) 復習：当日実習した項目に関して、当日のうちに疑問点を主治医・受持医・指導医への質問や教科書等で学習し、きちんと理解する。 予習・復習 1～2時間程度/日
到達目標	北里大学メディカルセンター外科チームの一員として医療を共に実践し、外科疾患における診断・外科治療の適応決定の過程、実際の手術治療・周術期管理、術後方針の決定などを理解しカンファレンスで説明出来る。また外科病理・研究等の実際について見学し理解できる。
評価方法	1) 実習への積極性 2) 受持患者、または他の外科患者への責任感・態度 3) 術前・術後管理の理解と実践：1) から 3) を実習態度として評価(70%) 4) レポート内容、口頭試問等から疾患や患者の理解度を評価(30%) ：北里大学メディカルセンター外科への単独実習では無いため、これらを北里大学病院実習と合わせて総合判断する
学外実習について	外科と密接に関連する KMC 病理部・研究センターとのコラボレーションによって、臨床病理および臨床研究の実際を見学・学習し、臨床と基礎・研究との連携を学ぶ。

初回集合場所・時間	8時15分 4B病棟カンファレンスルーム 初日は9時00分 南館2階 人事課
実習における注意事項	外科チームの一員として、受持医と同様の責任感を持って診療にあたること。 その日の疑問は必ずその日のうちに解決するようにし、分からないことは必ず医師等に質問すること。その為、外科教科書等を必ず持参すること。 診療行為（末梢留置、採血、縫合など）も行うことがあるため、基本手技に関しても復習をしてから臨むこと。

2023年度 外科選択実習週間予定						
		月	火	水	木	金
AM		患者診察、採血等				
	8:15	チャートカンファレンス(受持患者プレゼンテーション)				
	9:00		手術実習	手術実習	臨床病理実習*	手術実習、病棟回診・実習
		手術実習、病棟回診・実習	(又は回診、病棟実習)	(又は回診、病棟実習)	(病理部)	:千野慎一郎、浜野貴文
	10:00	:千野慎一郎、浜野貴文	:海津貴史、近藤康史、 浜野貴文、藤尾俊允他	:海津貴史、浜野貴文、 丸山正裕、藤尾俊允他	:山崎 尊(4月より交代予定)	丸山正裕、藤尾俊允他 又は外来見学
		丸山正裕、藤尾俊允他				
	11:00	又は外来見学	又は外来見学	又は外来見学		:浜野貴文、丸山正裕、藤尾俊允他
	:海津貴史、近藤康史 他	千野慎一郎、丸山正裕他	:近藤康史、他			
PM	12:00	昼休み				
	13:00	回診、病棟実習、手術実習:	手術実習	手術実習	臨床研究見学**	緩和ケアチーム回診
		:千野慎一郎、浜野貴文	(又は回診、病棟実習)	(又は回診、病棟実習)	(研究センター)	他
	14:00	丸山正裕、藤尾俊允他	:海津貴史、近藤康史、 浜野貴文、藤尾俊允他	:海津貴史、浜野貴文、 丸山正裕、藤尾俊允他	:小林寛忠、福山 隆	手術実習、病棟回診・実習
		又は外来見学	又は外来見学	又は外来見学		:千野慎一郎、浜野貴文
	15:00	:海津貴史、近藤康史 他	千野慎一郎、丸山正裕他	:近藤康史、他		丸山正裕、藤尾俊允他 又は外来見学
				術前カンファ(毎週)		:浜野貴文、丸山正裕、藤尾俊允他
16:00			合同カンファ(第1, 3, 5週/毎週)			
17:00						

病棟実習は期間中全時間で行う。

一般的予定であり、予定が変更となる場合がある。

\*、\*\*: 病理部、研究センターの指導者の指示に従う。又、曜日が変更になることもある。

# 臨床実習 (KMC) 脳神経外科

実習 M302-CM15

## Clinical Clerkship(KMC)

科目責任者	隈部 俊宏
教育担当	岡 秀宏*・近藤 宏治*・久須美 真理*
実務経験のある教員	岡 秀宏・近藤 宏治・久須 美真理： 実務経験を基に各専門領域について診療参加型臨床実習により指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
教育内容 教育方法	1～2名程度の受け持ち患者を主治医と共に診療を担当し、外来診療・救急診療・手術現場を体験する。特に良性腫瘍・悪性腫瘍、血管障害、脊椎脊髓疾患、奇形・水頭症等を中心実習ごとにその場で個別にフィードバックを行い、解答へ到達とその理解につなげる。
受入れ人数	各期間3週のうち2週間 1名
準備学習	臨床講義、実習内容の復習 予習・復習あわせて1日あたり2時間の自主学習を要する等
到達目標	神経疾患の診療現場を実体験することにより、診断の進め方・治療法を選択・外科的治療の適応の判断できる。外科的治療の実際においては周術期の管理・手術現場を体験できる。
評価方法	症例検討会での発表60%、レポートの提出40%
初回集合場所・時間	KMC 初日月曜日は11時15分に医学部玄関(病院側)に集合 (岡教授からオリエンテーション) その後11時30分発のシャトルでKMC入り 実習期間中：6A病棟 カンファレンスルーム

### 【週間スケジュール表】(例)

曜日/時間	AM	PM
	8:30～12:00	13:00～18:00
月	医学部でオリエンテーション	病棟・救急診療・術前検討 (岡、近藤、久須美)
火	手術(岡、近藤、久須美)	手術(岡、近藤、久須美)
水	外来・救急診療 (岡、久須美)	リハビリカンファレンス(6A病棟) 検査 血管撮影等 教授回診・術前検討(岡、近藤、久須美)
木	手術(岡、近藤、久須美)	手術(岡、近藤、久須美)
金	症例検討(近藤、久須美)	13時シャトルで本院へ 小テスト

- ・1～2名の受け持ち患者を担当する
- ・外来診療では、初診患者の病歴聴取、診察、検査予約などを診察医の指導のもとに実施します。
- ・救急患者来院時には随時コールします
- ・金曜に受け持ち患者の症例検討、発表を行います。

# 臨床実習 (KMC) 精神科

実習 M302-CM15

## Clinical Clerkship(KMC)

科目責任者	稲田 健
教育担当	山本 宏明*
実務経験のある教員	山本宏明：総合病院でのリエゾン・コンサルテーション診療をはじめとする精神科実務経験をともに臨床実習の指導を行う。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療：◎ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：○
教育内容 教育方法	実習期間の第1、2週は北里大学メディカルセンター（KMC：北本キャンパス）で実習。第3週は北里大学病院（相模原キャンパス）で実習を行う。 北里大学メディカルセンターでは、コンサルテーション・リエゾン精神科診療を体験する。 ・ 身体治療で入院中の患者に対する精神医学的支援を体験する。 ・ 犬を用いた動物介在療法を見学、体験する。
受入れ人数	第3期間、第6期間：各2名
準備学習	第3学年系統講義（精神系診断・治療学）の復習、第4学年精神科実習の臨牀講義内容の復習。主要疾患、特にせん妄や意識障害についての復習。30分～1時間程度
到達目標	コンサルテーション・リエゾン精神医療の基礎と実際を理解できる。 意識障害、症状性精神障害の基礎と実際を理解できる。 地域医療を支援する中規模病院における診療の実際に触れ、医療に携わる上で必要な基本姿勢を理解できる。
評価方法	実習参加態度40%、レポート30%、第3週に行う課題発表30%を併せて評価する。
初回集合場所・時間	北里大学病院（相模原キャンパス）、精神科カンファレンスルーム AM9時
実習における注意事項	※第1週目の月曜日朝は、北里大学病院でオリエンテーションに参加。 その後、大学病院前発、メディカルセンター行きシャトルバスにて北本キャンパスに移動し、同日午後よりKMCで実習。 ・ 第1週の月曜日午後～金曜日、第2週目の月曜日～金曜日はKMCで実習。第3週目は北里大学病院で実習。 ・ シャトルバスは定員に限りがあります。自身で事前に確認し予約をしてください。 ・ 実習期間中、部屋数に限りがありますが事前申し込みにてKMC寮の使用が可能です。 希望の学生は早めにKMC教務課に連絡して予約をしてください

### 【週間スケジュール表】

曜日/時間	AM	PM
	9:00～12:00	13:00～17:00
月	第1週：大学病院（オリエンテーション） 第2週：KMC リエゾン診療	リエゾン診療
火	リエゾン診療（症例把握、クルズス）	
水	外来診療	動物介在療法
木	リエゾン診療（症例把握、レポート作成）	
金	リエゾン診療	緩和ケアチーム回診

# 臨床実習 (KMC) 産婦人科

実習 M302-CM15

## Clinical Clerkship(KMC)

科目責任者	落合 大吾・加藤 一喜
教育担当	加藤 一喜*・久嶋 則行*
実務経験のある教員	加藤 一喜・久嶋 則行： 実務経験を基に各専門領域について診療参加型臨床実習により指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
教育内容 教育方法	<p>当院の産婦人科実習・医療と北里大学病院産婦人科における医療との違いとして次の点が挙げられる。</p> <p>本院の無痛分娩を主体とした計画分娩と当院の自然経過を重視した妊娠分娩管理と産後うつ、虐待等予防目的とした産後ケア</p> <p>悪性腫瘍治療主体の本院と、女性が常日頃からかかえるトラブルを主体に地域関連型の外来診療と治療、腹腔鏡手術による婦人科良性疾患の治療</p> <p>当院での教育内容として、下記の事項を主に学習する。</p> <p>当院での教育内容として、下記の事項を主に学習する。</p> <p>① 無痛分娩ではない自然経過の分娩を、分娩全経過にわたり理解する。分娩後、その経過をふりかえり正常 / 異常分娩の経過をフィードバックする。</p> <p>② 腹腔鏡手術による卵巣および子宮疾患の治療を理解する。術後経過を観察する中で適応 / 術式の選択、外来フォローの方法をフィードバックする。</p> <p>③ 地域主体型の外来診療のありかたを学ぶ。外来終了後本院の医療とは異なる一般的な疾患についてふりかえり、フィードバックを行う。</p>
受入れ人数	2名ずつ 当院の規模に応じた人数に絞ることで良好な教育を目指します。
準備学習	生殖機能・妊娠分娩系 I 及び II の内容を復習し、産婦人科各病態の概要のみならず治療法までも含めて理解を深めておくこと。 実習で見学、経験した疾患や検査法に関しては、産婦人科講義のプリントや教科書の関連箇所を通してしておくこと。予習・復習 1～2時間程度/日
到達目標	北里大学病院産婦人科は神奈川県周産期及び悪性腫瘍の基幹病院であり、北里大学メディカルセンター産婦人科は埼玉県地域医療支援病院である。それぞれの役割により求められる医療は異なり特徴を持った医療をおこなっている。両者が扱う産科・婦人科疾患及び手術などの違いを経験することで、産婦人科医療全般に関して理解できる
評価方法	実習レポート 50% 実習態度 50% 欠席は減点対象とする
初回集合場所・時間	原則として初日 9:00 南館 2F 事務部教務課 その後オリエンテーションを行います。
実習における注意事項	女性のプライバシーに触れる実習であるため、服装・身なりを整えて患者さんに不快感を与えないように配慮を行ってください。

【週間スケジュール表】（例）

曜日/時間	AM	PM
	9 : 00 ~ 12 : 00	13 : 00 ~ 17 : 00
月	産科外来実習 初診外来実習（指導医） 分娩があるときには分娩実習	手術実習（久嶋・他指導医） 分娩があるときには分娩実習
火	初診外来実習（久嶋） 産科外来実習 分娩があるときには分娩実習	産褥 2 週間健診 分娩があるときには分娩実習
水	8:15 手術症例カンファレンス北 5F 手術実習（久嶋・他指導医） 分娩があるときには分娩実習	手術実習（久嶋・他指導医） 分娩があるときには分娩実習
木	8:15 小児科カンファレンス 北 5F 初診外来実習（久嶋・他指導医） 産科外来実習 分娩があるときには分娩実習	産褥一ヶ月検診 分娩があるときには分娩実習
金	初診外来実習（指導医） 産科外来実習 分娩があるときには分娩実習	手術実習（久嶋・他指導医） 分娩があるときには分娩実習



# 臨床実習 (KMC) 小児科

実習 M302-CM15

## Clinical Clerkship(KMC)

科目責任者	石倉 健司
教育担当	石倉 健司*・坂東 由紀*
実務経験のある教員	石倉 健司・坂東 由紀： 実務経験を基に各専門領域について診療参加型臨床実習により指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
教育内容 教育方法	①外来診療における診察の基本を学び、問診、所見の取り方や診断プロセスを理解する。 ②地域で子供が安心して健康維持できる仕組みと小児のプライマリケアの基本について学ぶ。 ③予防接種外来に参加し、乳児期からのスケジュールについて理解する。 ④こどもと会話ができ、信頼関係を結ぶことを学習する。 ⑤入院患者を受持ち医とともに担当し、診断や治療方針、家族への説明、コメディカルとのコミュニケーションの方法を理解する。 ⑥正常新生児のチェック項目について体得する。 ⑦周産期の胎児・母体情報と新生児期に発症する病態を経験する。 ⑧日直または当直医とともに小児1～2次救急対応の基本を体験する。 ⑨周産期診療との連携を学び、希望者には産婦人科 外来見学や手術見学などを実践する。 ⑩動物介在医療の実践を見学し、小児入院患者の療養環境についての問題を考える。  以下のコースを選択できる。 【小児科病棟・外来研修】 小児病棟・外来診療 【小児科病棟・周産期研修】 小児病棟・外来診療 / 産科病棟・分娩室・新生児室  コミュニケーション、見学実習内容等について適宜口頭試問しフィードバックする。
受入れ人数	全期間：1名
準備学習	小児の成長・発達の基本、小児期の感染症について、概略を復習する。 日本や世界の小児医療に関してどのような社会的な問題が発生しているか調査しておく。 小児医療全般について特に学びたい項目などがあれば事前に事務局へ連絡すること。 予習・復習 1～2時間程度/日
到達目標	小児科診療チームの一員として、小児医療の基本となるこどもの健康に関連する課題を把握し、幅広い視野で理解を深めるために診療実技や基本的臨床を体験習得できる。
評価方法	科目責任者と最終日に面接・口頭試問を行い、レポートを提出する。(30%) 上級医、病棟でのスタッフからの評価とカルテ記載内容、診療実技のチェックを受ける。(30%) 実習態度、疾患の理解、積極性などを総合的に評価し、判断する。(40%) ※大学病院小児科と連携して実習を行っているため、評価についても大学病院と協議する。
学外実習について	学外ではないが、以下施設でも実習を行う。 院内保育園；KMC 院内保育園オレンジハウスで保育士とともに小児の生活を体験する。 病児保育室；KMC 内病児保育室で軽症病児の一日の生活を体験する。  地域医師会、埼玉小児医療センターでの教育フォーラムなどの開催がある場合には参加する。
初回集合場所・時間	宿舎などの関係から、後日事務局と連絡。 初日 9:00 南館2階 人事課
実習における注意事項	小児病棟では感染症対策が重要なので、各自自身のワクチン接種歴、抗体価などを確認する。 実習中に発熱、下痢・嘔吐などが自覚される場合には速やかに報告すること。

曜日/時間	AM	PM
	8:20~12:00	13:00~18:00
月	外来実習（小児科担当医） 問診・診察・検査・診療録記載	病棟実習 症例検討 サインアウト（坂東由紀）
火	回診 新生児チェック 採血手技見学・補助 外来実習	予防接種（石館） 手技・問診 研修 症例検討・カンファレンス
水	回診 新生児チェック 採血手技見学・補助 外来実習（坂東由紀）	病棟チームカンファレンス（坂東由紀） 発達外来 見学実習 病棟 新患担当まとめ
木	回診 新生児チェック 病棟 担当患者のまとめ	新生児 1 ヶ月検診 計測補助コ ミュニケーション実習 （コメディカル）
金	回診 新生児チェック 採血手技見学・補助 外来実習	アレルギー外来（坂東由紀） 病棟の新患担当まとめとフィードバック

# 臨床実習 (KMC) 耳鼻咽喉科

実習 M302-CM15

## Clinical Clerkship(KMC)

科目責任者	山下 拓
教育担当	山下 拓*・大橋 健太郎*
実務経験のある教員	山下 拓・大橋 健太郎： 実務経験を基に各専門領域について診療参加型臨床実習により指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
教育内容 教育方法	北里大学病院で学ぶ耳鼻咽喉科・頭頸部外科学実習の一部、特に大学病院で学べない地域医療、実践に即した医療を研修する。 外来診療・病院実習・手術見学を通して臨床の基礎を実体験する。 嚥下カンファレンス・睡眠呼吸障害カンファレンスを通してチーム医療の重要性を学ぶ。 実習内容等について適宜口頭試問等により確認・フィードバックする。
受入れ人数	各期間1～3日間 希望によりアレンジする。各1～2名
準備学習	5年次の臨床実習における臨床講義実習の内容を復習する。 全身疾患における耳鼻咽喉科領域への関連について整理しておく。 耳鏡・鼻鏡所見の取り方を復習しておく事が望ましい。 予習・復習 1～2時間程度/日
到達目標	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学を学ぶにあたり、特に地域医療を中心に接する事で耳鼻咽喉科の役割と急性疾患に対する治療を理解できる。
評価方法	実習レポート(30%)及び口頭試問(70%)
学外実習について	希望があれば近隣医療機関への訪問見学を考慮する。
初回集合場所・時間	初日は8時45分 南館2階 人事課 その後、耳鼻咽喉科外来へ案内する(大橋副部長の指示に従う)
実習における注意事項	通学手段、宿泊希望の有無については事前に連絡する事。

### 【週間スケジュール表】

曜日/時間	AM	PM
月	9:00-12:00 外来見学(大橋健太郎)	13:30-14:30 病棟回診(大橋健太郎) 14:30-15:00 オリエンテーション(大橋健太郎) 15:00-16:30 鼻疾患と地域医療(大木幹文)
火	9:00-12:00 手術見学(大橋健太郎)	13:30-14:00 病棟回診(大橋健太郎) 14:00-15:30 アレルギー外来(大木幹文) 16:00-17:00 耳疾患と地域医療(大橋健太郎)
水	9:00-12:00 手術見学(大橋健太郎)	13:30-14:00 病棟回診(大橋健太郎) 14:00-15:00 食道造影・嚥下カンファレンス (大橋健太郎) 15:00-16:00 睡眠呼吸障害カンファレンス(大木幹文) 16:00-16:30 総括(大橋健太郎)

# 臨床実習 (KMC) 泌尿器科

実習 M302-CM15

## Clinical Clerkship(KMC)

科目責任者	岩村 正嗣
教育担当	田岡 佳憲*・藤田 哲夫*・立花 貴史*
実務経験のある教員	実務経験を基に各専門領域について診療参加型臨床実習により指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
教育内容 教育方法	外来実習と病棟実習を通じて、一般泌尿器科疾患や泌尿器科悪性腫瘍について学ぶと共に、地域医療の実践について学ぶ。 手術に参加し、手術方法や周術期管理について学ぶ。 尿路結石症治療を見学することにより、原理、適応、治療方法、合併症について学ぶ フィードバック方法：口頭試問で評価する。
受入れ人数	各期間の1週間2名まで
準備学習	各種泌尿器科疾患に関して、系別総合、臨床実習で学んだ知識を整理しておくこと。施行される術式について理解しておくこと。 予習 復習あわせて2時間を要する。
到達目標	地域医療の中核病院における泌尿器科の役割について学び、各種泌尿器科疾患の診断に利用される検査方法の意義と治療方法の選択根拠について、幅広い知識を習得できる。さらに、基本的手技について理解できる。
評価方法	各種泌尿器科疾患の知識習得に関して、実習態度と現場での口頭試問にて評価する。 評価割合：実習態度50%、口頭試問50%
初回集合場所・時間	南館2階 人事課 9時00分
実習における注意事項	身だしなみと自身の健康管理に注意する。

### 【週間スケジュール表】(例)

曜日/時間	AM	PM
	9:00~12:00	13:00~17:00
月	手術(立花 貴史)	検査(藤田 哲夫) 病棟実習
火	外来実習(田岡 佳憲) 病棟実習	検査(田岡 佳憲) 病棟実習
水	外来実習(藤田 哲夫) 病棟実習	検査(立花 貴史) 病棟実習
木	手術(田岡 佳憲、藤田 哲夫、立花 貴史)	手術(田岡 佳憲、藤田 哲夫、立花 貴史) カンファレンス
金	外来実習(立花 貴史) 病棟実習	検査・尿路結石症治療(立花 貴史) 病棟実習

臨床実習 (KMC) 消化器内科・腎臓内科・内分泌代謝内科 実習 M302-CM15  
Clinical Clerkship(KMC)

科目責任者	教育委員長
教育担当	渡邊 真彰 (消内) *・長場 泰 (腎内) * 高田 哲秀*・小田 慧*・辻 諭 (内分泌代謝内科) *
実務経験のある教員	渡邊 真彰・長場 泰・高田 哲秀・小田 慧・辻 諭： 臨床における実務経験を基に各専門領域について診療参加型臨床実習により指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：○
教育内容 教育方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内視鏡検査の見学、救急患者への対応等メンターの下で診断治療を学ぶ</li> <li>・外来診療から入院診療までの一連の医療行為を指導医とともに。地域支援病院であるため専門にとられない一次～二次救急診療を中心に実習を行う。</li> <li>・外来診療：糖尿病および、内分泌疾患の外来診療見学を行う。可能ならば、紹介初診患者の外来での問診、診療録の作成を行う。</li> <li>・入院診療：数名の入院患者を担当する。担当患者の診察（問診、身体診察）を行い、担当医と病態や今後の治療方針につきアセスメントを行い、診療録の記載を毎日行う。緊急入院症例については、可能な限り、診察や検査の介助および見学を担当医と共に行う。</li> <li>・糖尿病カンファレンス：各職種から構成される糖尿病チームカンファレンスに参加し、担当患者のプレゼンテーションを行う。また、各職種の患者への関わり方、指導方法や指導内容について学び、チーム医療の実際および重要性について学ぶ。</li> </ul> <p>フィードバック：講義中に質問を受けつけ解決する。小テストは同日に模範解答を提示する。</p>
受入れ人数	第1・3期間 2名を上限で受入可能
準備学習	<p>【消化器内科】</p> <p>予習：第3・4学年及び成書による学習を行っておくこと。30分程度。 復習：内科診療に必要な知識技術の復習。30分程度。</p> <p>【腎臓内科】</p> <p>予習：尿路系テキスト内容の再確認、医療記録の記載方法を事前に習得しておく。30分程度。 復習：経験した各症例に対し臨床的考察を試みる。30分程度。</p> <p>【内分泌・代謝内科】</p> <p>予習：1時間程度、糖尿病の病態、臨床経過、合併症についての知識の再確認（内分泌代謝系の講義内容等）。各種糖尿病治療薬の薬理作用、および一般名について予習を行う。各種内分泌疾患における鑑別診断、およびホルモン負荷試験の意義などにつき確認する。（デキサメサゾン抑制試験、下垂体3者負荷試験等） 復習：1時間程度、受け持ち患者の病態、使用薬剤の確認などを行い、可能ならば治療方針などにつきエビデンスの有無などの文献的考察を行う。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化器疾患の診断治療の基礎を習得できる。</li> <li>・プライマリケア実践のため、基本的な知識に基づいて実践的な診断治療を経験し、本当に使える知識技術を習得できる。</li> <li>・糖尿病の病態、臨床経過について学び、問診や診察により患者の病歴や病態を把握して、カンファレンスで治療方針等についてプレゼンテーションが出来る。甲状腺 疾患等の内分泌疾患を理解するため、実際の診察、問診をして病態が理解できる。</li> </ul>

<p><b>評価方法</b></p>	<p>指導医および医療チームによる多面的評価を行い、他診療科と合わせ総合評価。  <b>【消化器内科】</b>  メンターによる個人の評価とプレゼンテーション時の評価レポートにて行う  評価：講義および試問 60%、小テスト 20%、症例プレゼンテーション 20%  <b>【腎臓内科】</b>  メンターによる個人の評価とプレゼンテーション時の評価レポートにて行う  評価：講義および試問 60%、小テスト 20%、症例プレゼンテーション 20%  <b>【内分泌・代謝内科】</b>  受け持ち患者のカンファレンスでのプレゼンテーションを行い、病歴および病態把握が出来ているかについて判定する（40%）。症例のレポートにおいては、病態の把握および治療方針を選択した理由につき考察されているかについて評価する（40%）。外来での問診技能、診療録記載についても評価する（20%）。</p>
<p><b>学外実習について</b></p>	<p>腎臓内科：学内他診療科や近隣施設の見学希望があれば可能です。</p>
<p><b>初回集合場所・時間</b></p>	<p>初日 9:00 KMC2 階 事務室人事課  オリエンテーション後 内視鏡室  腎臓内科実習中、9:00 腎センター  内分泌代謝内科実習中、9:00 北館3階 3N 病棟</p>
<p><b>実習における注意事項</b></p>	<p>KMC と相模原間は連絡シャトルバスあり。病院付属宿舍利用可能。  医師の前にまず人間としての行動を重んじる。  外来見学や問診業務を行う上で、医療者として相応しい身だしなみに気を付ける。</p>

【週間スケジュール表】-消化器内科-

曜日/時間	AM	PM
	9:00 ~ 12:00	13:00 ~ 17:00
月	内視鏡（大塚）	ラジオ波、肝生検など（渡邊）
火	内視鏡（金子）	検査（金子・黒須）
水	内視鏡（渡邊）	検査（黒須）
木	内視鏡（黒須）	検査（金子・黒須）
金	内視鏡（専攻医）	病棟（専攻医）

【週間スケジュール表】-腎臓内科-

曜日/時間	AM	PM
	9:00~12:00	13:00~17:00
月	腎センター（長場泰、島田芳隆）	病棟実習（長場泰） 内科合同カンファ（長場泰）
火	腎センター（長場泰、島田芳隆）	病棟実習（長場泰）
水	腎生検（長場泰、島田芳隆）	回診（長場泰）
木	外来実習（長場泰、島田芳隆）	病棟実習（長場泰）
金	外来実習（長場泰、島田芳隆）	病棟実習（長場泰）

【週間スケジュール表】-内分泌代謝内科-

曜日/時間	AM	PM
	9:00 ~ 12:00	13:00 ~ 17:00
月	9:00~オリエンテーション、 担当患者紹介（高田、小田）	病棟実習
火	外来診療見学 患者問診 病歴聴取 （高田）	病棟実習
水	外来診療見学 患者問診 病歴聴取 （小田）	病棟実習
木	10:00~病棟カンファレンス、 病棟回診 （高田、小田）	14:00~糖尿病教室見学 16:15~糖尿病カンファレンス （高田）
金	外来診療見学 患者問診 病歴聴取 （高田）	15:00~糖尿病教室見学 16:00~症例のまとめ、発表

# 臨床実習（北研）脳神経内科

実習 M302-CM15

## Clinical Clerkship (北研)

科目責任者	西山 和利
教育担当	飯ヶ谷 美峰*・梁 正淵*
実務経験のある教員	飯ヶ谷 美峰・梁 正淵： 実務経験を基に各専門領域について診療参加型臨床実習により指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
教育内容 教育方法	講義・臨床実習を通じて神経内科学の基本的な症候、神経学的診察方法、検査法、診断法、治療法について、代表的疾患をできるかぎり実際に体験し、学習する。各人が受持ち患者をもち、毎日の回診、診察、検査、治療等に参加し、最後に担当した症例についての個別回診を行う。さらに、興味を覚えたテーマについて自分で調べ、試問開始までにレポートを作成する。 部長による試問:実習最終日(金曜午後)に行われる。実習成果については試問時にフィードバックされる。
受入れ人数	各期間1名
準備学習	1) 第3学年時に修了した「神経系診断・治療学」の知識の再確認を行う(1-2時間)、 2) OSCE 臨床実習診察法マニュアルを再読する(1時間)、 3) OSCE 用の神経診察の動画を視聴し、神経学的所見の取り方を再確認する(1時間)
到達目標	これまで講義等で学んだ脳神経内科の診断・治療について、実際の症例で経験し、臨床で役立つ基礎知識等を習得できる。
評価方法	A: クルズスでのディスカッション 10% B: 症例についてのレポート 40% C: 部長試問 50%
初回集合場所・時間	初日: 8時30分 病院棟4階 事務部人事課前
実習における注意事項	服装等、身支度に注意してください。また、患者、病院スタッフ等に対して、品格のある対応をしてください。

### 【週間スケジュール表】

曜日/時間	AM		PM	
	9:00 ~ 12:00		13:00 ~ 17:00	
月	高齢者医療支援チーム回診見学(梁)		脳波検査見学 病棟実習(飯ヶ谷)	
火	病棟実習(梁)		病棟実習	
水	内科ミーティング(8時4F 事務部前会議室) 脳神経内科回診 もの忘れ外来見学(飯ヶ谷)		病棟実習	
木	筋電図検査見学		病棟実習(梁)	
金	頭痛外来見学(飯ヶ谷)		脳神経内科外来見学 レポート提出	



# 臨床実習（北研）循環器内科

実習 M302-CM15

## Clinical Clerkship (北研)

科目責任者	阿古 潤哉
教育担当	阿古 潤哉*・東條 大輝*・他循内スタッフ
実務経験のある教員	阿古 潤哉・東條 大輝・他循内スタッフ： 実務経験を基に各専門領域について診療参加型臨床実習により指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：○ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：○ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：○
教育内容 教育方法	講義・臨床実習を通じて循環器病学の基本的な症候、検査法、診断法、治療法について、代表的疾患をできるかぎり実際に体験し、学習する。各人が受持ち患者をもち、毎日の回診、診察、検査、治療等に参加し、最後に担当した症例についての個別回診を行う。さらに、興味を覚えたテーマについて自分で調べ、レポートを作成する。 カンファレンス、回診時などに適宜部長から、それ以外の時間適宜指導医からフィードバックします。
受入れ人数	各期間1名
準備学習	予習・復習に2時間を要する。
到達目標	今までの講義、実習を通じて学んだ循環器病学を実際の患者、種々の検査などを集中的に学習することによってさらに深め、実際に役立つ基礎的知識・技量として習得できる。
評価方法	研修態度、プレゼンテーション内容などを総合的に鑑みて評価いたします。 強いて言えば50%：50%程度。
初回集合場所・時間	初日月曜日 8:00am、7階病棟カンファレンスルーム
実習における注意事項	服装をはじめ身支度には十分に留意して下さい。

### 【週間スケジュール表】

曜日/時間	AM		PM	
	8:30	~ 12:00	13:00	~ 17:00
月	循内ミーティング/OT[東條大輝] オリエンテーション、心エコー[石田三和]		心エコー検討会	
火	心カ[石田弘毅]		外来見学[心不全外来]、部長回診	
水	心カ[石田弘毅]		トレッドミル[福澤美穂]、心電図読影、心不全 チームカンファレンス	
木	心カ[石田弘毅]			
金	心筋ソフ[石田弘毅]			

# 臨床実習（北研）腎臓内科

実習 M302-CM15

## Clinical Clerkship (北研)

科目責任者	竹内 康雄
教育担当	竹内 康雄*・福田 誠一*・高畑 尚*
実務経験のある教員	竹内 康雄・福田 誠一・高畑 尚： 実務経験を基に各専門領域について診療参加型臨床実習により指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学：◎ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療：◎ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：
教育内容 教育方法	講義・臨床実習を通じて実際の入院症例を受け持ち、基本的な診察等を通じて、腎臓内科学における疾患徴候、検査法等の診断法、治療法について学習する。また、受け持った症例について、レポートを作成する。
受入れ人数	第1、第3期間1名まで
準備学習	これまでの腎臓内科の講義・実習の確認・復習 予習・復習は本学の腎臓内科実習と同様におこなうこと。 予習・復習に150分を充てること。
到達目標	これまで講義等で学んだ腎臓内科の診断・治療について、実際の症例で経験し、臨床で役立つ基礎知識等を習得できる。
評価方法	実習姿勢（50%）や症例レポート（50%）
初回集合場所・時間	初日：8時30分 病院棟4階 事務部人事課前
実習における注意事項	服装等、身支度に注意してください。また、患者、病院スタッフ等に対して、品格のある対応をしてください。 カンファレンス、回診時などに適宜部長から、それ以外の時間適宜指導医からフィードバックします。

### 【週間スケジュール表】

曜日/時間	AM	PM
	9:00 ~ 12:00	13:00 ~ 17:00
月	透析および病棟実習	病棟実習、腎臓内科ミーティング (症例があれば腎生検)
火	病棟実習 (希望時外来見学)	病棟実習 (症例があれば腎生検)
水	透析および病棟実習	病棟実習
木	病棟実習	
金	透析および病棟実習	病棟実習

# 臨床実習（北研）内分泌代謝内科

実習 M302-CM15

## Clinical Clerkship (北研)

科目責任者	宮塚 健
教育担当	宮塚 健*、山田 悟*
実務経験のある教員	宮塚 健：臨床経験と研修指導経験を活かし、クリニカルクラークシップをコーディネートする。 山田 悟：慶應義塾大学医学部非常勤講師として学生教育に従事してきており、臨床経験や研修指導経験も豊富である。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：○ 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：
教育内容 教育方法	実際に入院症例を受け持ち、検査法やその結果の解釈、治療法およびその作用機序と可能性のある有害作用、背景となる臨床試験と文献検索について知識として身につけたり、経験したりする。症例レポートの添削、カンファレンスプレゼンテーション等を通じて学生にフィードバックを行う。
受入れ人数	第1～3期間で1名
準備学習	第4学年時の内分泌代謝内科の授業内容を理解しておくこと。 予習：30分程度 復習：2時間程度
到達目標	臨床実習としてこれまで講義等で学んだ内分泌代謝学の診療について実際の症例で経験し、将来の実臨床の現場で役立つような検査法、治療法を身につける。また、文献検索の演習を通じて、将来的に情報収集能力を高められる。なお、受け持った症例についてはレポート（書式自由）を作成する。
評価方法	実習態度（70%）および症例レポート（30%）
初回集合場所・時間	朝7時50分、病院棟4階医局前
実習における注意事項	患者を診療するにふさわしい服装、髪型等を心掛けていただきたい（アクセサリー・フレグランスについても同様）。

### 【週間スケジュール表】

曜日/時間	AM		PM	
	8:30	～ 12:00	13:00	～ 17:00
月	外来見学・病棟診察		病棟診察・文献検索	
火	病棟診察・文献検索		NST見学*・外来見学	
水	病棟診察・文献検索		糖尿病教室見学*・医療面接見学*	
木	病棟診察・文献検索		病棟診察・文献検索	
金	病棟診察・文献検索		CPX見学**・カンファレンスプレゼンテーション	

\* 週によって曜日が異なることがある

\* 隔週の実施になっている

# 臨床実習（北研）呼吸器内科

実習 M302-CM15

## Clinical Clerkship (北研)

科目責任者	猶木 克彦
教育担当	猶木 克彦*・中山 莊平*
実務経験のある教員	猶木 克彦・中山 莊平： 実務経験を基に各専門領域について診療参加型臨床実習により指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：○ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：○ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：○
教育内容 教育方法	講義・臨床実習を通じて入院症例を担当し、診察や診療録の記載を通じて、治療方針を立てる訓練をする。退院に至るまでの経過を経験し、地域医療の学習に結びつける。 病棟回診、病棟カンファレンスでのプレゼンテーション。気管支鏡検査の見学。希望により呼吸器内科外来見学も可。 回診時の症例のプレゼンテーションやカルテチェック時に良い点、改善点をフィードバックし、双方向のコミュニケーションにより能力アップを図る。
受入れ人数	第2期間 1名まで
準備学習	講義・実習の内容を復習し、呼吸器疾患の理解を深めておく。 症例は厳選した少数を担当してもらい、文献等を準備し十分な予習時間を実習時間内に設ける。復習時にはクリニカルケーススタディやガイドラインなどテーマを与え文献検索してもらうことで、指導医とともに理解を深めていく。 予習・復習あわせて1日あたり2時間の自主学習を要する。
到達目標	呼吸器内科の診断・治療の過程を実際の症例で体験し、コモンディージーズの簡単な治療計画を立てられる。
評価方法	実習姿勢、プレゼンテーションの評価およびカルテチェック 実習態度・プレゼンテーション試験（50%）、カルテ・サマリー記載（50%）
学外実習について	期間中、適当な研究会等があれば指導者が帯同し参加させる。あるいはWeb会議の紹介をする。
初回集合場所・時間	初日は8時30分 病院棟4階 事務部人事課
実習における注意事項	病院では多職種のスタッフとともに患者の治療にあたります。医師と患者だけでなく、周囲の多くのスタッフとも挨拶を欠かさないようにしてください。

【週間スケジュール表】

曜日/時間	AM		PM	
	9:00	~ 12:00	13:00	~ 17:00
月	病棟実習 ■ 指導医からの説明 ■ 担当患者の割り当て・紹介		13:30~気管支鏡検査 1階透視室 16:00~ 呼吸器内科部長回診（中山） （10階病棟スタート） 17:30~ 呼吸器内科カンファレンス	
火	病棟実習		病棟実習 16:30~ カルテ記載チェック（中山）	
水	8:00~ 内科事務連絡会（4階応接会議室） 9:00~ 病棟実習		病棟実習 16:00~ カルテ記載チェック（中山）	
木	病棟実習		病棟実習 16:00~ カルテ記載チェック（中山）	
金	病棟実習		病棟実習 16:00~ カルテ記載チェック（中山）	

# 臨床実習（北研）外科

実習 M302-CM15

## Clinical Clerkship (北研)

科目責任者	比企 直樹
教育担当	比企 直樹*・石井 良幸*
実務経験のある教員	比企 直樹・石井 良幸： 実務経験を基に各専門領域について診療参加型臨床実習により指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：○ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
教育内容 教育方法	1, 講義・臨床実習を通じて病棟主治医・担当医と共に患者を受け持ち、診察や検査、処置、インフォームド・コンセントなどを協働して実施する。 2, 受持患者の周術期における検査、身体所見およびそれらの結果について理解し説明する。 3, 受持患者の周術期合併症について理解し説明すると共に主治医・担当医と協働して治療を実践する。 4, 外科（術前）カンファレンスにおいて、受持患者の疾患、病状、治療方針、術式について説明する。 5, 外科 mortality・morbidity (M&M) カンファレンスに参加し、周術期管理および医療安全・危機管理について理解する。 6, 内科・外科合同カンファレンスに参加し積極的に自分の意見を発言する。 7, 手術に助手として参加し、清潔操作、臓器の取扱、手術手技（切開・剥離・切離・止血・縫合など）、手術機器の取扱を理解し主治医・担当医と協働して実践する。 8, 切除検体の取扱・処理を主治医・担当医と協働して実践する。 9, 外科病理カンファレンスにおいて、マクロ検体の所見およびミクロの病理組織診断を理解し後治療および予後について説明する。 10, 外科抄読会に参加し上級医と協働して発表すると共に、外科における臨床・基礎研究を理解する。 11, 受持患者の疾患（病因・診断・治療・予後）に関するレポートを作成する。 12, 他職種合同のチーム医療である緩和ケアチームや栄養サポートチーム（NST）などに参加する。 13, 実習最終日にレポート提出、口頭試問を行って評価する。 14, カンファレンスでのプレゼン時、手術参加の際などに適宜指導医よりフィードバックを行う。
受入れ人数	第1～3期間（1期：3週間）の各期間において1名（北里大学北里研究所病院単独プログラム：希望制）
準備学習	予習 1, 4年生までの外科講義内容（周術期管理、外科疾患の診断・治療など）の知識を確認・復習しておく。 2, 5年生での外科実習内容（病棟実習、手術室実習など）の知識を確認・復習しておく。 復習 実習（手術・検査・処置）で経験したことを、教科書や文献を参照して知識の整理を行い、受け持ち患者についてはレポートとしてまとめる。 予習には1時間、復習には2時間程度を必要とする。
到達目標	都市型病院である北里大学北里研究所病院の一員として、外科疾患（一般・消化器外科、呼吸器外科、乳腺・甲状腺外科、血管外科）について理解し、診断から治療方針、手術治療、周術期管理、患者に対する倫理的姿勢について学び、品格を持って外科チーム医療が実践できる。
評価方法	1, 疾患の病因と診断（検査）、治療、予後について理解していること 2, 周術期管理と術式を理解していること 3, 受持患者に対する責任感と倫理的姿勢が示されていること 4, 実習への積極性と自己研鑽の姿勢がみられること 実習態度 70%、レポート 15%、口頭試問 15%

<b>学外実習について</b>	学外での実習予定はないが、実習期間内に他院見学（手術）の希望があれば、本部と協議の上検討する。この他、内科外科カンファレンスや外科病理カンファレンス、緩和チームや栄養サポートチームの回診に参加し、院内チーム医療を経験する。また、抄読会に参加し、最新の臨床研究あるいは基礎研究について理解する。
<b>初回集合場所・時間</b>	初日：午前 9 時 00 分、病院 4 階（管理棟）、事務部人事課 以降：午前 8 時 30 分、病院 5 階（病棟）、カンファレンス・ルーム
<b>実習における注意事項</b>	主治医・担当医と同様の責任感を持ち、実習（学生）とせず医師としての品格を持って患者の診療を行う。患者に接する場合（問診や処置など）には、単独ではなく上級医と共に面談する。不明点や疑問点があれば、そのままにせず上級医に相談し解決する（報告・連絡・相談の実践）。積極的に診療に参加（発言）すると共に、自己研鑽を欠かさない。

【週間スケジュール表】

曜日/時間	A M		P M	
	8 : 30	～ 12 : 00	13 : 00	～ 17 : 00
月	病棟回診(8:30)(矢部信成、小木曾匡) 病棟実習(矢部信成、小木曾匡)または 手術実習(神谷紀輝、矢部信成、小木曾匡)		病棟実習(矢部信成、前田日菜子、小木曾匡) または手術実習(神谷紀輝、矢部信成、前田日菜子、小木曾匡)または外来実習(石井良幸)	
火	外科内科カンファレンス(毎週、7:30) 病理カンファレンス(第4週、8:00) M&Mカンファレンス(第1週、8:00) ビデオカンファレンス(第2週、8:00) 抄読会(第3週、8:00)  病棟回診(8:30)(石井良幸、矢部信成、迫裕之) 病棟実習(石井良幸、矢部信成、迫裕之)または 手術実習(石井良幸、矢部信成、迫裕之)		病棟実習(石井良幸、矢部信成、迫裕之)または 手術実習(石井良幸、矢部信成、迫裕之)	
水	病棟回診(8:30)(神谷紀輝、五月女恵一)病棟実習(神谷紀輝、五月女恵一)または 手術実習(神谷紀輝)		病棟実習または 手術実習(神谷紀輝、迫裕之、小木曾匡)または 内視鏡検査(石井良幸、矢部信成)	
木	病棟回診(8:30)(石井良幸、矢部信成、前田日菜子、小木曾匡) 病棟実習(石井良幸、矢部信成、前田日菜子、小木曾匡)または 手術実習(石井良幸、五月女恵一、矢部信成、前田日菜子、小木曾匡)		NST 回診または緩和チーム回診(隔週13:00)(迫裕之)、病棟実習(石井良幸、矢部信成、迫裕之、小木曾匡)または手術実習(石井良幸、矢部信成、迫裕之、小木曾匡)	
金	外科(術前)カンファレンス(毎週、7:30) 病棟回診(8:30)(五月女恵一、迫裕之、前田日菜子、小木曾匡)病棟実習(五月女恵一、迫裕之、前田日菜子、小木曾匡)または手術実習(五月女恵一、迫裕之、前田日菜子、小木曾匡)または外来実習(石井良幸)		病棟実習(五月女恵一、迫裕之、前田日菜子、小木曾匡)または 手術実習(五月女恵一、迫裕之、前田日菜子、五月女恵一、小木曾匡)	

\* 1、実習が7:30開始の場合は、実習終了時刻は1時間早くなります(16:00終了)。

\* 2、基本的に後期研修医(D4)と協働して診療(実習)にあたります。

# 臨床実習（北研）整形外科

実習 M302-CM15

## Clinical Clerkship (北研)

科目責任者	高相 晶士
教育担当	高相 晶士*・金子 博徳*・高野 盛登*・岩間 友*
実務経験のある教員	高相 晶士・金子 博徳・高野 盛登・岩間 友： 実務経験を基に各専門領域について診療参加型臨床実習により指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力：○ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
教育内容 教育方法	1. 講義・臨床実習を通じて整形外科疾患の診察や検査、処置、インフォームド・コンセントなどを説明、指導を行います。 2. 手術前術後カンファレンスにおいて、疾患、病状、治療方針、術式について指導を行います。 3. 手術に助手として参加し、清潔操作、手術手技（切開・止血・縫合など）、手術機器の取扱いを理解し主治医・担当医と協働して実践指導します 4. 調整出来れば、他職種合同のチーム医療であるリハビリ訓練チーム、感染ケアチームや栄養サポートチーム（NST）などに参加します。
受入れ人数	各期間において1名
準備学習	5年生までの整形外科講義や実習内容の知識を確認・復習しておく。 予習・復習あわせて1日あたり2時間の自主学習を必要とする。
到達目標	<b>北里大学北里研究所病院整形外科</b> は、専門医研修認定医療機関であり、外傷、疾患を問わずに整形外科全般に対応した研修が可能です。 一般整形外科のほか、人工関節センター、脊椎センター、スポーツ医学センターを有し、この分野に特化した専門性を有しています。 整形外科疾患を理解し、診断から治療方針、手術治療、周術期管理等に対してチーム医療が実践できる。
評価方法	疾患の理解度（50％）と日々の実習姿勢（50％）を評価します。
初回集合場所・時間	初日：午前8時20分 病院棟4階 人事課
実習における注意事項	主治医・担当医とコンタクトを取りながら、将来の医師としての品格を持って患者の診療を行ってください。 <b>対応する患者様の状況をよく考えて行動し、診療にあたって下さい。</b> カンファレンス、回診時などに適宜部長から、それ以外の時間適宜指導医からフィードバックします。



【週間スケジュール表】

曜日/時間	AM	PM
	8:30 ~ 12:00	13:00 ~ 17:00
月	病棟回診包交(岩間) 手術実習(膝グループ)	手術実習(脊椎グループ)または 外来実習(月村 金子 岩間)
火	手術実習(膝、外傷グループ) 外来実習(日方 高野 竹島)	手術実習(膝、外傷グループ)または 外来実習(スポーツ外来 小松)
水	整形外科(手術前術後)カンファレンス (毎週 7:30) 手術実習(脊椎 膝股関節グループ)	手術実習(脊椎グループ)または 外来実習(月村 金子 寺本)
木	病棟回診包交(岩間) 手術実習(膝股関節 外傷グループ)	手術実習(膝股関節 外傷グループ)
金	手術実習(脊椎 肩グループ)または 外来実習(金子 丸岩 岩間)	手術実習(外傷グループ) または 外来実習(日方 岩間)

\* 1, 実習が 7:30 開始の場合は、実習終了時刻は 1 時間早くなります(16:00 終了)。

# 臨床実習（北研）婦人科

実習 M302-CM15

## Clinical Clerkship (北研)

科目責任者	杉本 到
教育担当	杉本 到*、片倉 慧美*、深澤 裕子*
実務経験のある教員	杉本到ほか 慶應義塾大学病院などで実務経験を有し、教育プログラム作成などにも精通している
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理： 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：○ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：○ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
教育内容 教育方法	【臨床実習】内視鏡等の手術を通して、子宮・卵巣等の女性生殖器の解剖生理や子宮筋腫・子宮内膜症・卵巣嚢腫等の婦人科良性疾病の特徴や治療法を学ぶ。また体外受精等の高度生殖医療を通して、妊娠の機序や女性生殖器の機能、卵巣や子宮の薬剤に対する反応等を学ぶ。
受入れ人数	第1～6期間（第4期間を除く）で1名
準備学習	予習 1, 4年生までの産婦人科の講義内容の知識を確認・復習しておく。 2, 5年生での産婦人科の実習内容の知識を確認・復習しておく。 予習復習あわせて2時間
到達目標	北里大学北里研究所病院婦人科は、婦人科良性疾病に対する腹腔鏡手術と体外受精等の高度生殖医療（ART）を特徴としています。これらを通して婦人科疾患に対する理解できることと、その特殊性を理解できる。
評価方法	日々の実習姿勢の評価（60%）、症例レポート（40%）
初回集合場所・時間	8:30 婦人科外来
実習における注意事項	当院では妊婦検診や分娩は行っていません。また対応する患者様の特殊性をよく考え、特に身なりや言動には注意するようにして下さい。（当院における生殖医療で妊娠された方は、妊娠初期に他院へ紹介しています。）

### 【週間スケジュール表】

曜日/時間	AM		PM
	8:30	～ 12:00	13:00 ～ 17:00
月	外来実習（杉本） （採卵手術がある場合は手術実習）		特殊外来実習（不妊・杉本） 検査実習（卵管造影検査・子宮鏡検査など）
火	外来実習（片倉、深澤） （採卵手術がある場合は手術実習）		特殊外来実習（更年期・片倉） 検査実習（卵管造影検査・子宮鏡検査など）
水	外来実習（片倉） （採卵手術がある場合は手術実習）		手術実習（杉本、片倉、深澤） 16:00～ 症例カンファレンス
木	外来実習（杉本、深澤） （採卵手術がある場合は手術実習）		特殊外来実習（腹腔鏡・子宮内膜症） 検査実習（卵管造影検査・子宮鏡検査など）
金	外来実習（片倉、深澤） （採卵手術がある場合は手術実習）		手術実習（杉本、片倉、深澤）

# 総合講義

講義 M301-CC15

## Clinical Lectures

科目責任者	教育委員長
担当者	各教育研究単位の担当者
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学：◎ 2. コミュニケーション能力：○ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：◎ 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：
授業の目的	総合試験の解説講義及び各教育研究単位による講義を通して、これまで学習してきた医学教育における基礎知識及び専門知識を踏まえ、医師になる者として臨床実地に関する推論力、診断力等を身に付けることを目標とする。
教育内容	①総合試験解説 ②各単位による講義
教育方法	総合講義実施方針に基づき総合試験及び医師国家試験問題過去問等を交えながら講義・演習形式で授業を進める。 フィードバック：小テストにより講義内容の修得状況を確認する。小テストは解答を配布するの で自己採点して、間違ったところを復習すること。また小テストの平均値や得点 分布を掲示するので、自分の成績と照らし合わせ、学習の参考にすること。
準備学習 (予習・復習)	予習：予めこれまで各学年で学習してきた科目の内容に目を通しておき整理しておくこと。 復習：授業後は小テストに備え、講義中に配布したプリント等を復習しておくこと。 予習・復習の時間：予習は30分。復習は1時間。
参考図書	教科書、学生参考図書はこれまでの講義で使用してきたものを必要に応じて準備すること。
到達目標	医師になるにあたって必須の基本的知識を身につけ、これまで学習してきた基礎医学及び臨床医学の知識を踏まえ、正しい臨床推論、鑑別診断等を行うことができる。
評価基準	①医学部試験及び成績評価に関する規程第4条第1項による試験が実施されない科目の取 扱いを適用する。 ②全小テストの受験を必須とする（100%）。受験しなかった者は不合格とする。

## 第6学年 選択実習担当者一覧

### 消化器内科実習

草野 央	別當 朋広
小林 清典	和田 拓也
日高 央	古江 康明
池原 久朝	渡辺 真郁
横山 薫	岩崎 秀一郎
岩井 知久	金澤 潤
石戸 謙次	石崎 純郎
奥脇 興介	安達 快
渡邊 晃識	北原 言
窪田 幸介	花園 太郎
	堀井 敏喜

### 循環器内科実習

阿古 潤哉	石井 俊輔
庭野 慎一	橋本 拓弥
下浜 孝郎	北里 梨紗
小坂橋 俊美	池田 祐毅
目黒 健太郎	石末 成哉
深谷 英平	藤田 鉄平
南 尚賢	平松 慎右
前川 恵美	町田 陽二
亀田 良	箸方 健宏
佐藤 伸洋	飯田 祐一郎
郡山 恵子	藤吉 和博
中村 洋範	

### 脳神経内科実習

西山 和利	永井 俊行
飯塚 高浩	木村 文将
阿久津 二夫	白井 耕太郎
永井 真貴子	長島 誠
北村 英二	井島 大輔
金子 淳太郎	中村 幹昭
飯塚 雅貴	

### 血液内科実習

鈴木 隆浩	羽山 慧以
翁 祖誠	道下 雄介
鎌田 浩稔	横山 真喜
田寺 範行	泉山 和久

### 呼吸器内科実習

猶木 克彦	掛川 未希子
久保田 勝	楠原 政一郎
三藤 久	中原 喜朗
佐々木 治一郎	佐藤 崇
横場 正典	
矢内原 智子	

### 内分泌代謝内科実習

宮塚 健	鈴木 陽彦
市川 雷師	田口 朋
林 哲範	的場 健太
	廣瀬 正俊

### 腎臓内科実習

竹内 康雄	長場 泰
鎌田 真理子	守屋 利佳
青山 東五	阿部 哲也
内藤 正吉	宮阪 竜馬

### 膠原病・感染内科実習

山岡 邦宏	奥 健志
和田 達彦	有沼 良幸
松枝 佑	田中 知樹

### 外科実習

比企 直樹	内藤 剛
山下 継史	佐藤 武郎
新原 正大	山梨 高広
櫻谷 美貴子	三浦 啓壽
鷲尾 真理愛	古城 憲
中馬 基博	田中 俊道
隈元 雄介	横井 圭悟
海津 貴史	三階 貴史
田島 弘	仙石 紀彦
久保 任史	加藤 弘
西澤 伸恭	菊池 真理子
五十嵐 一晴	横田 光央
	田中 凜

### 産婦人科実習

加藤 一喜	落合 大吾
古川 正義	大西 庸子
本田 雅子	関口 和企
遠藤 真一	島岡 享生
阿部 翠	服部 響子
小島 郁	吉村 嘉広
時任 泉湖	五島 裕之
	山崎 優
	五十畑 仁志

### 小児科実習

石倉 健司	大岡 麻理
中西 秀彦	石田 宗司
平田 陽一郎	峰尾 恵梨
野々田 豊	山口 綾乃
伊藤 尚志	土岐 平
橘田 一輝	江波戸 孝輔
北川 篤史	小阪 裕佳子
本田 崇	菊永 佳織
高梨 学	田村 佑平
奥田 雄介	芹澤 陽菜

### 公衆衛生実習

堤 明純	引地 博之
渡辺 和広	松崎 慶一

### 臨床検査診断学実習

狩野 有作	中村 正樹
大谷 慎一	正木 嗣人

### 救命救急医学実習

浅利 靖	片岡 祐一
丸橋 孝昭	服部 潤
栗原 祐太郎	北村 遼一
増田 智成	笠原 峻
丸木 英雄	金 宗巧
長田 真由子	鈴木 航洋

## 第6学年 選択実習担当者一覧

### 形成外科・美容外科実習

武田 啓	杉本 佳香
根本 充	君塚 幸子
杉本 孝之	下村 実貴子
柏木 慎也	和唐 純平
熊澤 憲一	新美 雄大
	田中 瑞希

### 心臓血管外科実習

宮地 鑑	鹿田 文昭
鳥井 晋三	福隅 正臣
北村 律	藤岡 俊一郎
美島 利昭	泉二 佑輔

### 呼吸器外科実習

佐藤 之俊	内藤 雅仁
塩見 和	三窪 将史
園田 大	

### 脳神経外科実習

隈部 俊宏	小泉 寛之
秀 拓一郎	山本 大輔
犬飼 円	柴原 一陽
重枝 諒太	佐藤 澄人

### 放射線科実習：放射線腫瘍学実習

石山 博條	川上 正悟
関口 茜衣	

### 放射線科実習：画像診断学実習

井上 優介	藤井 馨
原留 弘樹	岩崎 和瑛
浮州 龍太郎	三井 康平
ウッドハムス 玲子	

### 耳鼻咽喉科・頭頸部外科実習

山下 拓	細野 浩史
長沼 英明	木村 朱里
鈴木 立俊	古木 綾子
落合 敦	古木 省吾
宮本 俊輔	初山 香保
清野 由輩	新田 義洋
松本 崇	
加納 孝一	
大原 卓哉	

### 眼科実習

庄司 信行	金山 俊介
石川 均	早川 秀輝
神谷 和孝	高橋 洋平
飯田 嘉彦	横関 祐佳子
柳田 智彦	石川 大起
笠原 正行	高木 堅太郎
佐藤 信之	櫻井 藍子
龍井 苑子	円谷 康佑

### 整形外科実習

高相 晶士	井村 貴之
内山 勝文	助川 浩士
井上 文	福島 健介
中澤 俊之	見目 智紀
小沼 賢治	岩瀬 大
松浦 晃正	三村 悠祐
宮城 正行	池田 信介
相川 淳	庄司 真太郎
大竹 悠哉	田澤 諒
村田 幸佑	
田中 慶秀	

### 泌尿器科実習

岩村 正嗣	北島 和樹
吉田 一成	高口 大
松本 和将	平野 修平
石井 大輔	志村 壮一郎
田畑 健一	森 亘平
津村 秀康	
池田 勝臣	

### 皮膚科実習

天羽 康之	小原 宏哉
増澤 真実子	白井 京美
安藝 良一	

### 精神科実習

稲田 健	新美 裕太
大石 智	神谷 俊介
澤山 恵波	廣岡 孝陽
星野 俊弥	朝倉 崇文
村岡 寛之	姜 善貴
	小川 陽子

### 麻酔科実習

岡本 浩嗣	日向 俊輔
新井 正康	杉村 憲亮
金井 昭文	西澤 義之
奥富 俊之	大塚 智久
黒岩 政之	吉野 和久
竹浪 民江	高橋 祐一郎
松田 弘美	箸方 紘子
安藤 寿恵	本田 崇紘
山下 敦	村松 明日香
藤田 那恵	伊藤 倫子
阪井 榮有子	荒 将智
関田 昭彦	近藤 弘晃

### 病理実習

三枝 信	松本 俊英
村雲 芳樹	櫻井 靖高
吉田 功	加藤 琢哉
一戸 昌明	眞山 到
梶田 咲美乃	
信太 昭子	

### 総合診療医学実習

青山 直善	星山 綾子
東野 俊洋	星山 隆行
五野 由佳理	岸原 淳
	大畠 康宏

## 第6学年 選択実習担当者一覧

### 東洋医学実習

鈴木 邦彦	川鍋 伊晃
星野 卓之	石毛 達也
花輪 壽彦	伊東 秀憲
伊藤 剛	緒方 千秋
森 裕紀子	若杉 安希乃
日向 須美子	関根 麻理子
伊藤 直樹	遠藤 真理

### 法医学実習

佐藤 文子	佐々木 千寿子
入江 渉	落合 恵理子

### 臨床解剖学

助川 浩士
-------

### KMC 循環器内科

佐藤 大輔	加藤 彩美
-------	-------

### KMC 腎臓内科

長場 泰	島田 芳隆
------	-------

### KMC 外科

海津 貴史	近藤 康史
千野 慎一郎	丸山 正裕
添野 貴文	藤尾 俊允

### KMC 脳神経外科

岡 秀宏	近藤 宏治
久須美 真理	

### KMC 精神科

山本 宏明
-------

### KMC 産婦人科

久嶋 則行
-------

### KMC 小児科

坂東 由紀
-------

### KMC 耳鼻咽喉科

大橋 健太郎
--------

### KMC 泌尿器科

田岡 佳憲	藤田 哲夫
立花 貴史	

### KMC 消化器内科・内分泌代謝内科・腎臓内科 (合同プログラム)

渡邊 真彰	大塚 俊和
金子 享	黒須 貴浩
高田 哲秀	小田 慧
馬場 泰	島田 芳隆

### 北研 脳神経内科

飯ヶ谷 美峰	梁 正淵
--------	------

### 北研 循環器内科

東條 大輝	石田 弘毅
石田 三和	福澤 美穂

### 北研 腎臓内科

福田 誠一	高畑 尚
-------	------

### 北研 内分泌代謝内科

山田 悟	永久 太一
------	-------

### 北研 呼吸器内科

鈴木 雄介	中山 荘平
-------	-------

### 北研 外科

石井 良幸	矢部 信成
迫 裕之	

### 北研 整形外科

金子 博徳	高野 盛人
-------	-------

### 北研 婦人科

杉本 到	深澤 祐子
------	-------

